

KWANSEI GAKUIN

履修心得

STUDY INFORMATION

2020

関西学院大学

"Mastery for Service"

School of Law and Politics

法

学

部

2020年度 法学部 履修登録スケジュール

【春学期】

	手続き
4月 1日(水) 8:50～	申込科目 受付 ☎ 詳細なスケジュールは P.10～確認すること
4月 7日(火)	授業開始
4月 7日(火) 8:50 ? 9日(木) 16:50	Web での本登録
4月 14日(火) 8:50 ? 15日(水) 16:50	Web での履修修正
4月 21日(火) 8:50～	教学 Web 「時間割照会」で履修内容(科目)確認
5月 25日(月) 8:50 ? 29日(金) 16:50	履修中止申請(春学期科目・通年科目) 各自 Web での履修中止申請 語学のクラス指定科目のみ事務室で受付

【秋学期】

	手続き
9月 10日(木) 9:00～	申込科目 受付 ☎ 詳細なスケジュールは P.12～確認すること
9月 23日(水)	授業開始
9月 23日(水) 8:50 ? 25日(金) 16:50	Web での本登録
9月 30日(水) 8:50 ? 10月 1日(木) 16:50	Web での履修修正
10月 6日(火) 8:50～	教学 Web 「時間割照会」で履修内容(科目)確認
11月 16日(月) 8:50 ? 20日(金) 16:50	履修中止申請(秋学期科目) 各自 Web での履修中止申請 語学のクラス指定科目のみ事務室で受付

Web 履修登録・修正時は、登録画面遷移後10分以上操作をしなければタイムアウトになります。
また、アクセスが集中した場合にはアクセス制限がかかることがあります。
これらを認識し、余裕をもって取り組んでください。

目 次

はじめに

履修・学習に関する Web サイト	1
海外渡航する場合には大学に届け出が必要です	4
「ダブルチャレンジ制度」登録システムについて	6
2020年度 申込科目スケジュール	10

概 要

1. 関西学院大学の理念・目的	15
2. Kwansai コンピテンシー	15
3. 2020年度 授業スケジュール	16
4. 授業科目の履修にあたって	18
5. 成績評価・試験規程（抜粋）	24
6. 履修・学習要覧 Web サイトの紹介	26
7. 一般注意事項	27
8. 早期卒業制度について	30
9. 卒業延期制度について	31

履修登録

I 履修登録手続きの流れ	33
II 履修登録の注意点	34
1. 卒業に必要な単位	34
2. 履修単位数制限	34
3. コース選択	35
4. クラス指定科目	36
5. 申込科目	37
(1) 法学部開講申込科目一覧	37
(2) 再履修登録	40
(3) 言語科目のクラス変更	41
(4) 英語の同時履修	41
6. 先修条件	41
7. 専門導入科目の履修制限	43
8. ペア履修科目	44
9. 専門科目のナンバリング	44
10. 留学プログラム、外国語インテンシブ・プログラム等 履修上の注意	44
11. 他学部履修	46
12. 同一名称科目等	47
13. 資格関連科目	49
14. 隔年開講科目	49

Ⅲ 全学開講科目	50
1. 2020年度 全学科目 開講一覧・予備登録（申込み）について	50
2. 2020年度 全学科目申込・履修についての諸注意	59

試験・レポート・成績評価

I 試験	73
II レポート	74
III 成績評価	77

《参考①》コース説明

司法特修コース	79
司法コース	80
企業法務コース	81
公共政策コース（経済学部連携）	82
国際法政コース	83
政治システムコース	84

《参考②》理念・目的・教育目標、チャペル、法学部内規

I 法学部の理念・目的・教育目標	85
II チャペルプログラム	87
III 法学部内規	88

はじめに

履修・学習に関する Web サイト
海外渡航する場合には大学に届け出が必要です
「ダブルチャレンジ制度」登録システムについて
2020年度 申込科目スケジュール

◎ 履修・学習に関する Web サイトには主に次の 4 つがあります ◎

履修・学習要覧 Web サイト https://www.kwansei.ac.jp/a_affairs/a_affairs_000660.html

【学部】2020年度 履修・学習要覧 Web サイト

いいね! 1 ツイート LINEで送る

このサイトは、関西学院大学の学部在学生に対して、履修・学習に関する基本的な事項を掲載しています。
 ■大学院生用■は下記リンクをご覧ください。

【大学院】履修・学習要覧Webサイト
 関連ページへのリンク

大学院生用はここをクリック

■主な掲載内容

大学学則
 授業スケジュール
 シラバス（授業実施要綱）
 暴風警報発令時の授業等取扱
 全学科目の紹介／各学部内規
 講義担当教員／オフィスアワー
 諸規程（成績評価・試験、学費、
 学位、留学、奨学金、各種施設使用
 など）

- もくじ（学部生用）
1. 大学、学部の理念・目的・教育目標
 2. 『Kwanseiコンピテンシー』およびDP（学位授与の方針）・CP（教育課程編成・実施の方針）
 3. 関西学院大学 学則
 4. 授業スケジュール・行事予定カレンダー
 5. 授業科目の履修にあたって
 6. 成績評価・試験規程
 7. 大学学部の授業・試験実施に関する警報発令及び交通機関の運行停止等の場合の取扱要領
 8. 全学科目の紹介
 9. 各学部内規
 10. シラバス（授業実施要綱）
 11. 教員等紹介
 12. オフィス・アワーについて
 13. 学費について
 14. 諸規程

授業スケジュール・
行事予定カレンダー

警報発令時の休講等の取り扱い

シラバス

教学 Web サービス <https://webinfo.kwansei.ac.jp/> (https→s が必要)

日立 太郎 (学部生/学生) 更新 ログアウト

警報発令、交通機関の運行停止等が発生した場合の対応について（大学 HP ヘリリンク）

事務室からの呼び出しがないか定期的にチェックしてください。

操作方法は「マニュアル」参照

履修登録 申込制科目申込

休講・補講 情報確認

授業スケジュール確認

- 主な機能
- 履修登録/申込制科目申込
 - 成績照会/履修中止
 - 時間割照会
 - 休講・補講・教室変更 情報確認
 - お知らせ閲覧
 - 個人呼び出し確認
 - ダブルチャレンジ申請
 - 学生情報登録申請 など
- メールでの確認
- 休講、補講、教室・時間割変更等のお知らせは、関学メール (@kwansei.ac.jp) にも送信されます。各自のパソコンまたはモバイル端末のメールアプリにより関学メールを利用することができますので必要に応じて各自で設定を行ってください。ただし、メールで受信できるのは本文のみです。添付ファイルは教学 Web サービスにアクセスして確認してください。

<教学 Web サービスの接続時間について>

教学 Web サービスの各機能の接続時間は以下の通りです。何も操作をしなれば、最後の操作から以下の時間を過ぎると自動的にログアウトされます。

- ・「お知らせ」10分・「教務」60分(*)・「キャリア」60分(*)
- *学部の抽選科目申込期間から履修修正期間までと、成績発表日は、接続時間が「10分」になります。

■アクセスが非常に集中した場合には、一時的にサービスを停止することがあります。アクセス集中が緩和され次第、サービスを再開します。

■教学 Web サービスの操作を終える際には、ブラウザの「×」ボタンではなく、教学 Web サービスの「閉じる」ボタンを押して画面を閉じるようにしてください。

■本運用は学部生だけでなく、大学院生にも適用されます。

情報システム Web サービス <https://webmail.kwansei.ac.jp/> (https→s が必要)



■主な機能

メール利用

(@kwansei.ac.jpのアドレス)
パスワード変更
印刷・ポイント確認
パブリックフォルダ閲覧
ファイルサーバへのアクセス
など

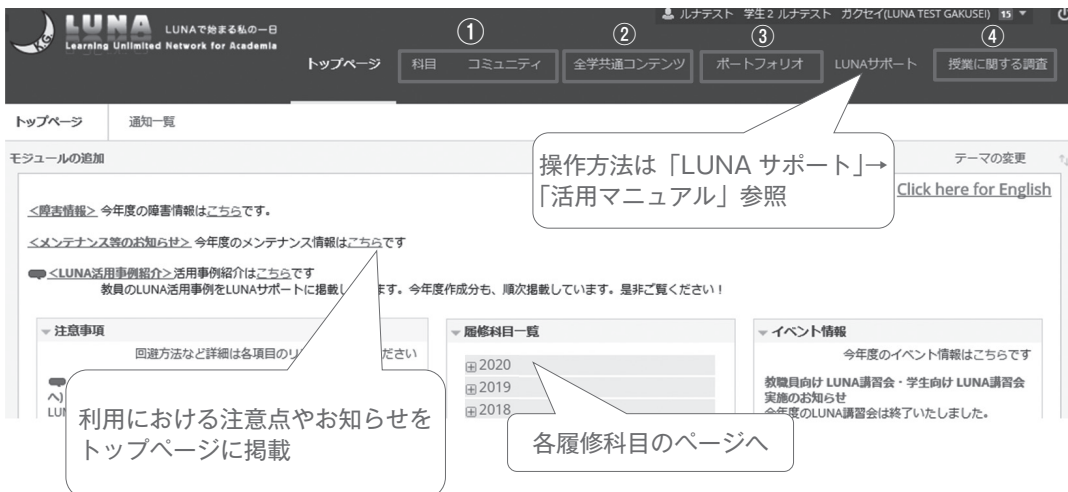
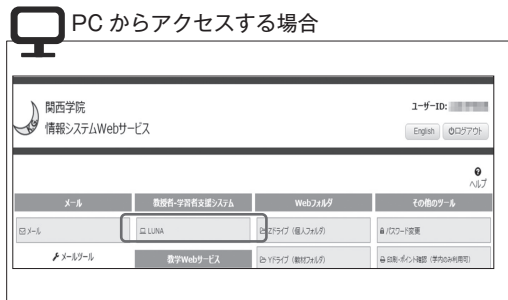
＜メールアプリからのメール利用について＞
・各自のパソコンまたはモバイル端末から、メールアプリにより関学メールを利用することができます。
利用にあたっては、情報環境機構 Web サイトの「ユーザーズガイド」を参照してください。
<https://ict.kwansei.ac.jp/guide/> (→メールアプリの設定)

LUNA (教授者-学習者支援システム) <https://luna.kwansei.ac.jp/> (https→s が必要)

LUNA では、科目やコミュニティを利用する学習支援システム、全学共通コンテンツ、ポートフォリオシステムを利用することができます。インターネットにつながった環境があれば、いつでもどこでも利用できます。

■アクセス方法

上記アドレスからログイン、もしくは情報システム Web サービスからアクセスしてください。
また、ポートフォリオ機能を利用する場合は、スマートフォン専用アプリをダウンロードすると、プッシュ通知等の機能を拡充できます (アプリの利用料は無料ですが、ダウンロードや利用時にかかる通信料は利用者負担になります)。



●主な機能

<p>①科目やコミュニティを利用する (PCのみ)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 教員からのお知らせを確認する ・ 教材をダウンロードする ・ 課題レポートを提出する ・ テストに解答する ・ 課題レポートおよびテストの点数や提出状況を確認する ・ 掲示板で教員や履修者とコミュニケーションをとる 	<p>②全学共通コンテンツを利用する (PCのみ)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 情報倫理 自習教材 ・ 留学定例報告書・協定校 ・ FactSheet閲覧サイト ・ 社会学部キーワード集 ・ 『いつでも中国語』 付属 CD
<p>③ポートフォリオを利用する (PC, モバイル)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ アンケートに回答する ・ 自分のことを知る ・ 目標をたてる ・ 学生生活を記録し振り返る ・ 蓄積された情報をダウンロードする 	<p>④学修行動と授業に関する調査に回答する (PCのみ)</p> <p>本調査は学生のみなさんの学修行動・成果の振り返り、授業の改善、教育内容・環境の整備を目的として実施し、学期ごとに、実施期間が設けられます。学生のみなさんの学修行動の振り返りのための記録になるものですので、責任ある真摯な態度で調査に協力してください。</p>

※利用する機能によっては、モバイル端末（スマートフォン、タブレット等）では正しく動作しません。

■K.G. ポートフォリオについて

本学のポートフォリオでは、パソコンやスマートフォンを利用し、GPA 等のスコア伸長、自身の強みチェック、目標設定とその振り返り、学修行動や成果の確認など直感的に把握ができます。さらに、各部署や授業担当者が上記の活動の記録の一部をみなさんのポートフォリオに登録するなど、バックアップやサポート体制があるのでいつでも気軽に始められます。

日々の活動をより実りあるものにし、将来の就職活動や大学院進学など、自分のこれからのキャリアを考える時に、強かにサポートしてくれる頼もしいツールです。皆さんのよりよい未来のために、是非、ポートフォリオを役立ててください。

●トップページ

ポートフォリオにログインすると、PC やスマートフォンなどの機器によって適切な表示に自動的に切り替わります。以下は PC での画面になります。スマートフォンの場合は左右別の画面構成となり、トップページが表示されます。

●ポートフォリオの記入内容について

ポートフォリオには、GPA のスコアなど、大学がポートフォリオにデータ提供している情報と、キャリアシート、目標など、学生のみなさんが新しく入力する情報の2種類があります。

どちらの情報も個人の情報が他の学生に開示されることはありません。ポートフォリオの情報は大学と共有され、みなさんの取り組みを支援するため、権限が与えられた教職員が厳格な管理の下、メニューの各機能の情報を参照することがあります。

— 3 —

海外渡航する場合には大学に届け出が必要です

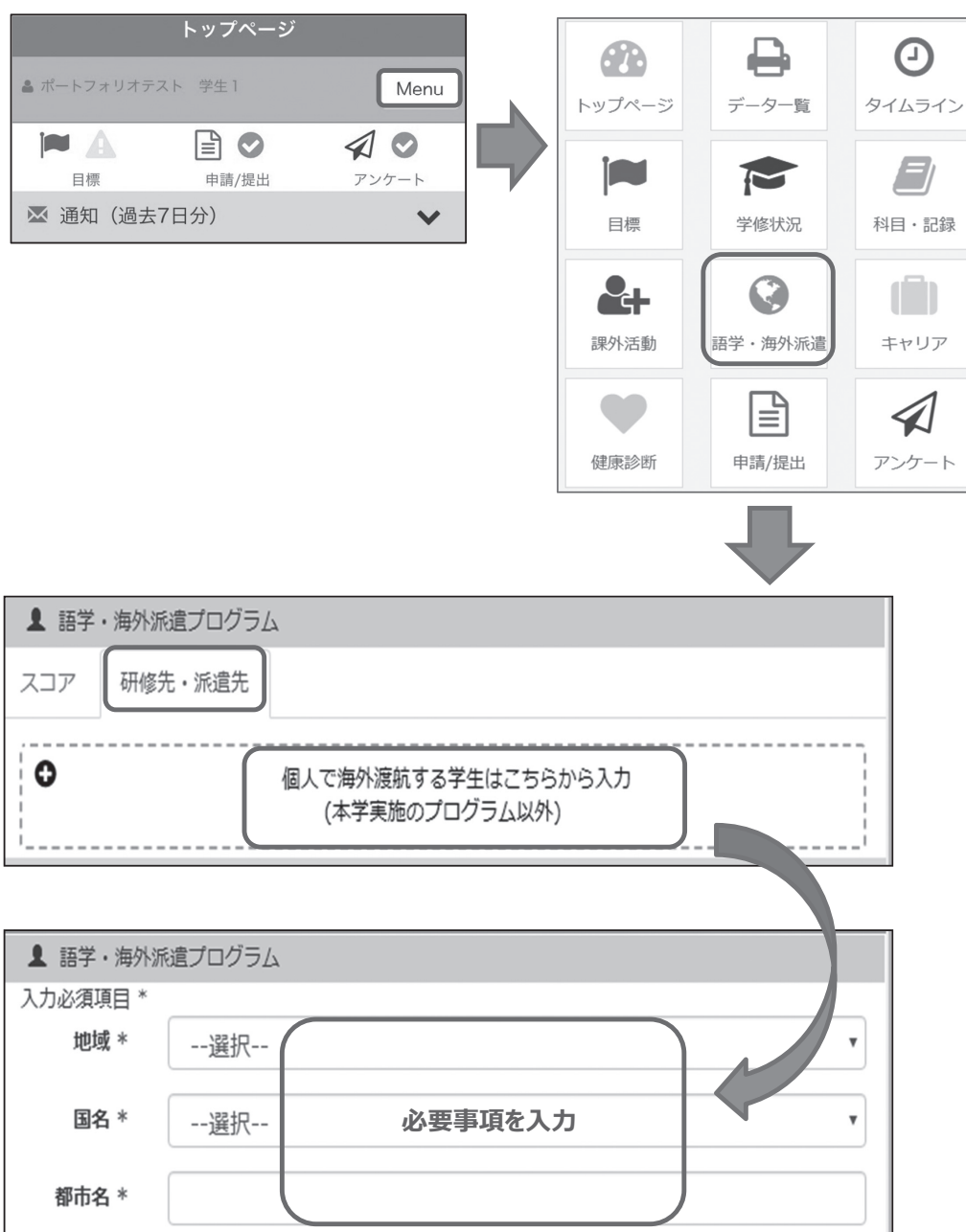
世界各地で発生するテロや自然災害等様々な問題への対応のために、関西学院大学では次の2点について把握することとし、有事発生時の対応に備えています。

- ① 大学主催以外のプログラム等で海外へ渡航する学生のみなさんの渡航状況（大学主催プログラムは国際連携機構、プログラム実施学部等で把握）
- ② 大学主催プログラムの留学等での休暇中の学生のみなさんの旅行状況

上記に該当する場合、ポートフォリオで海外渡航情報の登録をお願いします。（ポートフォリオアプリのダウンロードは本冊子2ページの「履修・学習に関するWebサイトには主に次の4つがあります」から確認ください。）

なお、本件は文部科学省「大学における海外留学に関する危機管理ガイドライン」に基づく対応であり、登録された個人情報は本目的の範囲外で利用することはありません。

<ポートフォリオからの入力方法>





平成26年度文部科学省「スーパーグローバル大学創成支援」採択事業
関西学院大学「グローバル・アカデミック・ポート」構想

Global
Academic
Port

創立以来、「世界市民」の育成をめざして国際教育を積極的に推進してきた関西学院大学。
 その豊富な実績と構想が認められ、平成26年度文部科学省の「スーパーグローバル大学創成支援事業」に採択されました。
 これを機に、多様性を学ぶ「国際性豊かな学術交流の港」を構築し「ダブルチャレンジ制度」を創設するなど、
 国や地域の垣根にとらわれず世界を駆け巡り、競い合い、支え合って協働できる「世界市民」を育てます。

挑め、新たな世界に！ **全学生が挑む「ダブルチャレンジ」**

全学生が所属学部の主専攻の学び（ホームチャレンジ）に加え、異なるものとの出会いの場「アウェイチャレンジ」に取り組み、グローバル人材に強く求められる「主体性」「タフネス」「多様性への理解」を深めます。アウェイチャレンジは以下の3つのプログラムから構成されています。是非、在学中の4年間を通じて多様な『チャレンジ』に取り組み、自らの可能性を拓いてください。

アウェイチャレンジ

国際ショナルプログラム

「国を越え、世界を知る」



海外の大学・フィールドでの挑戦や海外からの学生との共修を通して、グローバルな視野を身につけます。

例：交換留学、中期留学、外国語研修、インドネシア交流セミナー、国連セミナー、海外インターンシップ、海外フィールドワークなど

ホームチャレンジ



(各学部・専攻での学び)

アウェイチャレンジ

副専攻プログラム

「学部を出て、他分野を学ぶ」



主専攻とは異なる学問分野を体系的に学び、複眼的な視野を身につけます。

例：複数分野専攻制プログラム、
 複数分野専攻制特別プログラム<CCS>
 <国連・外交プログラム>

アウェイチャレンジ

ハンズオン・ラーニング・プログラム（実践型学習）

「キャンパスを出て、社会に学ぶ」



地域や企業、行政と連携した実践的なプログラムで思考力・行動力・学習姿勢を身につけます。

例：ハンズオン・インターンシップ実習、キャリアゼミ、社会探究実習、PBL特別演習など

詳しくは『「ダブルチャレンジ」プログラムガイド2020』で確認してください。

新生(1年生)には入学式で、2年生以上の学生には教務機構事務部や各学部・センター事務室で配布しています。



「ダブルチャレンジ制度」登録システムについて

【2018年度以降入学生対象・新入生（1年生）は秋学期から登録開始】

「ダブルチャレンジ制度」は、変化の激しいグローバル社会を生き抜くために欠かせない「主体性」「タフネス」「多様性への理解」「チャレンジ精神」等を育むための本学オリジナル制度で、本制度を利用した多様なチャレンジを強く推奨しています。

2018年度入学生より、各学期の履修登録に先立って、今後の大学生活で挑戦する（予定の）取組（プログラム・科目）を申請する必要があります。新入生（1年生）は秋学期から登録開始となります。（ダブルチャレンジ申請が完了しないと履修登録ができません！）

【申請にあたっての注意事項】

- 当該学期に申請可能なプログラム・科目は1件のみです。最も挑戦したいプログラム・科目を1つ選択して申請してください。
- この申請を行ったことで当該プログラム・科目の履修登録が終了する訳ではありません。この申請と履修登録は全く別のものです。
実際の科目の履修登録は、定められた期間に適宜申込・登録手続きを行ってください。
- 一旦登録後、申請内容に変更がある場合は随時変更が可能です。また変更の有無にかかわらず毎学期申請内容を確認する必要があります。
- 申請可能な科目は本冊子8ページ、「ダブルチャレンジ対象科目一覧」で確認してください。
インターナショナルプログラムのうち、国際教育・協力センター（CIEC）が提供するプログラムは「国際教育・協力プログラム募集要項 2020」を参照してください。

■申請画面入口（教学 Web サービス画面）

「履修登録」をクリックすると、申請画面に遷移します。

①最初の申請はこちらから履修登録を行うには住所情報の確認とダブルチャレンジへの登録手続きが必要です

②一旦申請した後申請変更をする場合はこちらから

■ 初回のダブルチャレンジ申請画面

初めて申請する場合「履修登録・確認学生情報登録申請（学生情報登録申請）」の画面より申請してください。

①プログラムの選択（プルダウンメニューより選択）

②科目の選択（プルダウンメニューより選択）

※自身が申請可能な科目は本冊子8ページ、「ダブルチャレンジ対象科目一覧」で確認してください。

③申請内容に誤りがないことを確認し、右下の「申請」ボタンを押下する。

登録完了画面で登録が完了したことを確認する。

■ 2回目以降の申請・確認方法（毎学期確認が必要です）

①以下の画面で登録内容を確認する。

②登録内容に変更がない場合は「確認」ボタンを押下、

登録内容を変更する場合は、修正の上、「申請」ボタンを押下する。

ダブルチャレンジ対象科目一覧

インターナショナルプログラム							
留学プログラム			国際ボランティア・フィールドスタディプログラム			融合プログラム	
提供部署	科目名称	期間	提供部署	科目名称	期間	提供部署	科目名称
国際教育・協力センター /CIEC	交換留学	1学期間～1年間	国際教育・協力センター /CIEC	国連ユースボランティア	5カ月間	国際教育・協力センター /CIEC	CCC Global Internship in Japan
	認定留学	1学期間～1年間		国際社会貢献活動	5カ月間		CCC Global Career Seminar in Japan
	長期留学 (学部科目履修型)	1学期間～1年間		中期海外インターンシップ	1学期間		インドネシア交流セミナーB
	英語中期留学	1学期間		短期海外インターンシップ(アメリカ)	約1カ月間	国際教育・協力センター (CIEC JEASP) 神学部	総合日本語科目 (KGU Summer School科目含む)
	フランス語中期留学	1学期間		短期海外インターンシップ(ベトナム)	約1カ月間		Theology in Dialogue
	スペイン語中期留学	1学期間		海外フィールドワーク	約1週間	Mission in DialogueB	
	外国語研修 (英語、中国語、朝鮮語、スペイン語)	約2週間～6週間		CCC Field Study in Canadian Business	約2週間	文学部	東アジア文化交流セミナーA
CCC Cross-Cultural Workshop	4週間	CCC Global Career Seminar in Canada	約1週間	社会学部	比較社会演習B		
言語教育研究センター	フランス語海外研修	4週間	インドネシア交流セミナーA	約2週間	総合政策学部	日本学総論 ※2019年度以降開講のみ対象	
	ドイツ語海外研修	4週間	海外異文化体験セミナー	約1週間	人間福祉学部	Human Welfare and International Development	
社会学部、 商学部、 国際学部	ダブルディグリー留学	1年～2.5年	インターンシップ準備演習 (オーストラリア)	約3週間	国際学部	グローバル化と福祉	
神学部	Mission in Dialogue A	約1週間	海外社会体験実習 (オーストラリア)	約6週間		Introduction to ASEAN : Society, Economy, and Politics A/B	
文学部	ドイツ語中期留学	4カ月半	海外社会体験実習 (マレーシア)	約4週間	国際学部	Introduction to ASEAN: Society, Economy, and Politics A/B (Short-term-Version)	
法学部	中国人民大学法学院交換留学プログラム	1学期間～1年間	海外社会体験実習 (タイ)	約2週間			
	エディンバラ大学春季法律英語研修	約3週間	マレー文化研究	約1.2週間			
商学部	ビジネスに活かせる海外短期研修プログラム	約1週間～約1カ月間	English through Sports	約2週間			
理工学部	海外理工学プログラムB (English for Science and Technology)	約1週間	国連・外交統括センター	国連・外交フィールドワーク	約10日間		
	海外理工学プログラムB (Python Program)	約3週間		国連セミナー	約10日間		
人間福祉学部 国際学部	社会起業英語中期留学	1学期間	文学部	東アジア文化交流セミナーB	5日間		
	英語中期留学	1学期間		美学芸術学資料研究7	約1週間		
	中国語中期留学	1学期間		異文化理解 (ドイツ) 2	約1週間		
	朝鮮語中期留学	1学期間		比較社会演習A	約1週間		
社会学部			海外社会調査A	約1週間			
			海外社会調査B	約1～2週間			
			法学・政治学グローバル演習A・B・C・D	約1～3週間			
	法学部			海外学習活動 (ウヅ大学)	1週間		
				海外学習活動 (ドイツインターンシップ)	約1カ月間		
				海外学習活動 (アジア地域の観光開発)	約1カ月間		
				海外学習活動 (アフリカ研究)	約1カ月間		
				海外学習活動 (グローバルリーダーの養成)	約1週間		
				海外理工学プログラムA (企業体験プログラム in シリコンバレー)	約1週間		
	経済学部			海外理工学プログラムB (Coral & Forest Study in Tropical Area)	約10日間		
				海外理工学プログラムB (Introduction to Scientific Diving)	約10日間		
				海外理工学プログラムB (Geoscience Program)	約1週間		
			海外理工学プログラムB (発酵醸造学)	約8日間			
人間福祉学部			ソノマ州立大学英語研修&フィールドワーク	約1カ月間			
			中国上海・蘇州フィールドワーク	約1週間			
			台湾フィールドワーク	約1週間			
			フィリピンフィールドワーク	10日間			
教育学部			社会起業フィールドワーク(海外)	約2週間			
			社会起業インターンシップ(国内・海外)	6週間			
			人間福祉グローバル演習A～H	約1～2週間			
			福祉社会フィールドワーク	約1週間			
国際学部			人間科学フィールドワーク	約2週間			
			海外ボランティア実習 (US"アシスタントティーチャー" ボランティア)	約2週間			
			海外ボランティア実習 (オーストラリア幼児教育プログラム)	約2週間			
			海外ボランティア実習 (セブ島ボランティア～Learn English & Volunteer with Children～)	約2週間			
		海外ボランティア実習 (台湾における環境教育・SDGs体験学習)	約10日間				
		EJフィールド・スタディー	約2週間				
		Introduction to Business in Asia : Innovation, Leadership, and Strategy	約2週間				

ハンズオン・ラーニング・プログラム		副専攻プログラム			
全学科目		学部独自科目			
開講部署	科目名	開講部署	科目名		
提供部署	プログラム名				
ハンズオン・ラーニングセンター	ハンズオン・インターンシップ実習	商学部	ビジネスプロジェクト	国際教育・協力センター/CIEC	複数分野専攻特別プログラム (CCS) ※2016年度以降入学生は募集停止
	ハンズオン・プラクティス	理工学部	臨海実験	国連・外交統括センター	複数分野専攻特別プログラム (国連・外交プログラム)
	社会探究実習Ⅰ・Ⅱ (広島・江田島平和FW)		地学実験A	各学部・言語教育研究センター	複数分野専攻特別プログラム
	社会探究実習Ⅰ・Ⅱ (瀬戸内海・豊島環境FW)		地球環境科学実験	文学部	文学部内副専攻プログラム
	社会探究実践演習Ⅰ・Ⅱ (篠山・今田コミュニティ・ガバナンスFW)	総合政策学部	里山実習	社会学部	社会調査士
	社会探究実践演習Ⅰ・Ⅱ (朝来・竹田城下町活性化PJ)		総合政策演習 (フィールドに出よう！五感で学ぶ、地域の環境)		認定心理士(心理調査)
	社会探究リサーチ・ベージンA (定置編)・B(定性編)		総合政策演習(パークマネジメント)	総合政策学部	建築士プログラム
	平和学特別演習「ヒロシマ」		都市政策演習 (松原まちづくりプロジェクト)		社会調査士 ※2018年度以前入学生対象
	キャリアゼミA・B・C		都市政策演習 (ゆるやかなつながりプロジェクト)		グローバルキャリアプログラム(GCap)
	霞が関セミナー		都市政策演習 (都市と建築空間フィールドスタディ)		
	ライフ・キャリアリーダーシップ実習		都市政策演習 (松原市竹田城跡に類らない観光まちづくり)		
	ライフ・キャリア発展演習		都市財政論 (西海市都市経営フィールドワーク) ※2018年度以前開講のみ対象		
	ライフ・キャリア実践演習		総合政策トピックスA		
	ライフデザインと仕事A (日本企業編)・B(外資系企業編)		環境測定実習		
	インターンシップ実習		国際発展政策課題研究B (グローバル化する社会でのサバイバル戦略を考える)		
	PBL特別演習002 (JETRO×産業研究所連携講座)		メディア制作演習(表現)		
	PBL特別演習004 (富士ゼロックス長津湖「志プロジェクト」)		メディア制作演習(社会情報デザイン)		
	PBL特別演習005 (アントレプレナー養成講座)		総合政策トピックスB (IT企業との連携による創造的発想に基づくプロジェクト演習)		
	PBL特別演習006 (公認会計士と進む企業のビジネス課題)		公共政策課題研究A ※2020年度以降開講のみ対象		
	PBL特別演習007 (阪急阪神HD(株)と挑む社会課題)	人間福祉学部	ソーシャルワーク実習		
	PBL特別演習008 (福島で学ぶ復興と原発問題)		精神保健福祉援助実習		
	PBL特別演習009 (三木市・旧市街地FW)		社会起業フィールドワーク(国内)		
	神学部	キリスト教社会実習	社会起業インターンシップ(国内・海外)		
		キリスト教と社会A・B	ソーシャルワーク・インターンシップ		
		教会と礼拝体験	医療ソーシャルワーク・インターンシップ		
	文学部	美学芸術学基礎実習	社会起業アド・バンスト・インターンシップ		
		地理学地域文化実習A・B	学校ソーシャルワーク実習		
		エクスカーションⅠ・Ⅱ	福祉社会フィールドワーク		
		臨床心理学実習A(心理実習)	人間科学フィールドワーク		
		日本文学特殊講義5(神戸文学館)	社会起業プラクティス		
	社会学部	社会調査実習	野外教育指導実習Ⅰ		
	法学部	国内フィールドワーク演習A・B・C・D	人間科学フィールドワーク入門		
		議員インターンシップ実習	ソーシャルワーク実習入門		
経済学部	キャリアワークショップ	日本のシニアビジネスの課題と展望			
	国内フィールドワーク演習A・B・C・D	野外教育実習A			
	国内フィールドワーク実習	野外教育実習B			
		野外教育指導実習Ⅱ			
教育学部		実地教育研究(実習)			
		地域社会探			
		教育課題探究実習			
国際学部		ベンチャービジネス創成			

【春学期】 2020年度 申込科目スケジュール 1/2

担当窓口	法 学 部	共通教育センター	スポーツ科学・健康科学教育プログラム室	ハンズオンラーニングセンター (Hol.C)	言語教育研究センター	国際教育・協力センター (CIEC)、日本語教育センター	教職教育研究センター
3/21 (土)							●免許取得のための他学 ▼8:30～12:20
3/23 (月)	履修関係書類・在学確認票配布 ▼9:30～16:50 第5別館 2号教室						●免許取得のための他学 部属修申込 ▼8:50～11:30 12:30～16:50
3/24 (火)	履修関係書類・在学確認票配布 ▼9:00～16:00 第5別館 2号教室						●免許取得のための他学 部属修申込 ▼8:50～11:30 12:30～16:50
3/25 (水)			《優先申込 受付》 対象：教育職員免許取得のために履修する必要がある3年生以上 対象科目 「体育方法学演習C」 「体育方法学演習C」のみ ▼ Web 受付のみ 3/24(火) 8:50～ 3/25(水) 16:50				●免許取得のための他学 部属修申込 ▼8:50～11:30 12:30～16:50
3/26 (木)							●免許取得のための他学 部属修申込 ▼8:50～11:30 12:30～16:50
3/27 (金)			《優先申込 履修者発表》 8:50 Web でのみ発表				●免許取得のための他学 部属修申込 ▼8:50～11:30 12:30～16:50
3/28 (土)							
3/30 (月)							
3/31 (火)							
4/1 (水)	申込科目受付 ※対象科目：P.37参照 ▼4/1(水) 8:50～4/3(金) 16:50 Web 受付のみ □履修者発表：4/4(土) 15:00 Web で発表	●情報科学科目のうち、戸吹科学生のための「情報技術概論1」を修了した学生に限り、AI 活用人材育成科目の「関学」学 1 013 ●京大復興学入門 ●総合コース807 ●連携講座006・008・009・014 ●スタディスキルセミナー ▼ Web 受付のみ 4/1(水) 8:50～ 4/3(金) 16:50	《一般申込 受付》 対象者：全学部生 対象科目：理学・スポーツ科学・健康科学科目 ▼ Web 受付のみ 4/1(水) 8:50～ 4/3(金) 16:50	●ライフ・キャリア概論 ●ライフレゾリエーションA ●ライフレゾリエーションB ●ライフレゾリエーションC ●ライフレゾリエーションD ●ライフレゾリエーションE ●ライフレゾリエーションF ●ライフレゾリエーションG ●ライフレゾリエーションH ●ライフレゾリエーションI ●ライフレゾリエーションJ ●ライフレゾリエーションK ●ライフレゾリエーションL ●ライフレゾリエーションM ●ライフレゾリエーションN ●ライフレゾリエーションO ●ライフレゾリエーションP ●ライフレゾリエーションQ ●ライフレゾリエーションR ●ライフレゾリエーションS ●ライフレゾリエーションT ●ライフレゾリエーションU ●ライフレゾリエーションV ●ライフレゾリエーションW ●ライフレゾリエーションX ●ライフレゾリエーションY ●ライフレゾリエーションZ	●Skills-based English Seminar ●Special English Seminar ●Language and Culture ●Culture and Society ●Academic Writing and Presentation ●Project-based Seminar in English ●フランス語インテンシブ初級Ⅲ、中級 ※1 ●ドイッ語インテンシブ初級Ⅲ、中級 ※1 ●フランス語アラカルト(聞く、話す) A ●日本語初級Ⅰ	●ビジネス日本語A ●ビジネス日本語B ●ビジネス日本語C ●日本語教育基礎演習 ●日本語教育基礎演習 ▼ Web 受付のみ 4/1(水) 8:50～ 4/3(金) 16:50	●博物館実習ナリエンター ▼13:30～14:30 4期202 ●教育実習2次登録(4年生) ▼6:50～11:30 12:30～16:50 ●教育実習2次登録(4年生) ▼8:50～11:30 12:30～16:50 ●教育実習2次登録(4年生) ▼8:50～11:30 12:30～16:50 《博物館実習履修者発表》 8:50 教職教育研究センター ●博物館実習履修申込 ▼8:50～11:30 12:30～16:50
4/2 (木)	※科目によっては2次募集(追加募集)を行う場合がある。対象科目・クラスは、教育学 Web サービス「お知らせ」で発表する。 ※以下の科目は申込期間・方法が異なる場合があるため、別途掲示等を確認すること。 ・職員インテリゲンシブ演習 ・国内フィールドワーク演習 ・法学・政治学グローバル演習	●神戸講座 集中講義科目のみのため、申込受付期間・履修者発表については、教育学 Web サービスでお知らせします。 ▼教務機構事務部	●EUIJ プログラム 《申込受付》 4/1(水)～4/13(月) 教務機構事務部 ※変更になる場合は、教育学 Web サービスでお知らせします。 受付時間 (全科目共通) (平日) 8:50～11:30 12:30～16:50 (土曜日) 8:50～12:20	●ライフレゾリエーションA ●ライフレゾリエーションB ●ライフレゾリエーションC ●ライフレゾリエーションD ●ライフレゾリエーションE ●ライフレゾリエーションF ●ライフレゾリエーションG ●ライフレゾリエーションH ●ライフレゾリエーションI ●ライフレゾリエーションJ ●ライフレゾリエーションK ●ライフレゾリエーションL ●ライフレゾリエーションM ●ライフレゾリエーションN ●ライフレゾリエーションO ●ライフレゾリエーションP ●ライフレゾリエーションQ ●ライフレゾリエーションR ●ライフレゾリエーションS ●ライフレゾリエーションT ●ライフレゾリエーションU ●ライフレゾリエーションV ●ライフレゾリエーションW ●ライフレゾリエーションX ●ライフレゾリエーションY ●ライフレゾリエーションZ	《英語スコアの事前登録が必要科目》 ●総合日本語科目 ●英語 Summer School(を含む) ●CCC Introductory to English ●Multicultural Studies ●English for Cross-Cultural Studies A ▼ Web 受付 & 事務室にスコア提出 4/1(水) 8:50～ 4/3(金) 16:50 ※申し込み最終日までに英語スコア表を国際教育・協力センター (CIEC) 事務室へ提出してください。ただし、すでに CIEC あるいは言語教育研究センターでスコア登録を行っている場合は再提出の提出は不要です。 《英語スコアの事前登録が不要な科目》 ●Topics in Canadian Studies ●国際情報分析 ●ロゼンバウムゼミ A、B ●グローバルゼミ A、B ●Web 受付のみ 4/1(水) 8:50～ 4/3(金) 16:50 ※その他プログラムの申込方法については「国際教育・協力プログラム募集要項」を参照のこと	●ビジネス日本語A ●ビジネス日本語B ●ビジネス日本語C ●日本語教育基礎演習 ●日本語教育基礎演習 ▼ Web 受付のみ 4/1(水) 8:50～ 4/3(金) 16:50	●博物館実習ナリエンター ▼13:30～14:30 4期202 ●教育実習2次登録(4年生) ▼6:50～11:30 12:30～16:50 ●教育実習2次登録(4年生) ▼8:50～11:30 12:30～16:50 ●教育実習2次登録(4年生) ▼8:50～11:30 12:30～16:50 《博物館実習履修者発表》 8:50 教職教育研究センター ●博物館実習履修申込 ▼8:50～11:30 12:30～16:50
4/3 (金)							

【秋学期】

2020年度 申込科目スケジュール

担当窓口	法 学 部	共通教育センター	スポーツ科学・健康科学教育プログラム室	ハンズオン・ラーニングセンター (Hol.C)	言語教育研究センター	国際教育・協力センター (CIEC)、日本語教育センター	教職教育研究センター
8/28 (金)							●免許状取得のための他学部履修申込 ▼9:00~11:30 12:30~16:00
8/29 (土)							●免許状取得のための他学部履修申込 ▼9:00~11:30 12:30~16:00
8/31 (月)							●免許状取得のための他学部履修申込 ▼9:00~11:30 12:30~16:00
9/1 (火)							●免許状取得のための他学部履修申込 ▼9:00~11:30 12:30~16:00
9/2 (水)							●免許状取得のための他学部履修申込 ▼9:00~11:30 12:30~16:00
9/3 (木)							●免許状取得のための他学部履修申込 ▼9:00~11:30 12:30~16:00
9/4 (金)							
9/5 (土)							
9/7 (月)							●教職実践演習申込 ▼Web 受付のみ 9/7(月) 9:00~9/8(火) 16:00
9/8 (火)							●教職実践演習申込 ▼Web 受付のみ 16:00まで
9/9 (水)							
9/10 (木)	申込科目 受付 ※対象科目：P.39参照 ▼9/10(木) 9:00~9/11(金) 16:50 Web 受付のみ □履修者発表：9/15(火) 8:50 Web で発表 ※科目によっては2次募集(追加募集)を行う場合がある。対象科目・クラスは教学 Web サービス「お知らせ」で発表する。 ※以下の科目は申込期間・方法が異なる場合があるため、別途掲示等を確認すること。 ・議員イノベーションシップ実習 ・法学・政治学グローバル演習 ・国際法政実践演習B 4 ・企業法務実践演習B 4	●情報科学科目のうち、 「文科系学生のための情報技術概論」 を履修全科目 ●AI活用人材育成科目の全科目 ●「四学」学 2 ●人権教育科目005・009・016・017 ●災害復興学 ●総合コース214 ●スタディスキールセミナー ▼Web 受付のみ 9/10(木) 9:00~9/11(金) 16:50	《優先申込 履修者発表》 9:00 Web でのみ発表 《一般申込 受付》 対象者：全学部生 対象科目： 健康科学科目 全科目 ▼Web 受付のみ 9/10(木) 9:00~9/11(金) 16:50	●ライフ・キャリア概論 ●ライフデザインと仕事B ●ライフ・キャリア入門演習 ●ライフ・キャリア実践演習 ●ハンズオン・プラクティス ●社会探究入門 ●社会探究リサーチ・ペーパーシットB ●社会探究実践演習Ⅰ・Ⅱ ●PBL 特別演習004 【志望プロジェクト】 ●アントレプレナー基礎講座 ●PBL 特別演習009 【三木市・旧市街地 FW】 ▼Web 受付のみ 9/10(木) 9:00~9/11(金) 16:50	●Skills-based English Language and Communication ●Culture and Society ●Academic Writing and Presentation ●Project-based Seminar in English ●フランス語インテンシブ初級Ⅲ・中級 ※1 ●ドイツ語インテンシブ初級Ⅲ・中級 ※1 ●フランス語アラカルト(聞く・話す) A ▼Web 受付のみ 9/10(木) 9:00~9/11(金) 16:50 ※1 フランス語インテンシブ初級Ⅲ・中級/ドイツ語インテンシブ初級Ⅲ・中級の履修条件特別措置希望者は言語教育研究センター事務局(教務センター)にて申込 9/10(木) 9:00~9/11(金) 16:50	《漢語コアの事前登録(必要科目)》 ●English for Cross-Cultural Studies B ●CCC Introduction to Multicultural Studies ●CCC Introduction to (Web登録)事前登録はコア専用(Webのみで可) 9/10(木) 9:00~9/11(金) 16:50 ※申し込み最終日までに英漢語コア表を国際教育・事務室へ提出してください いかなるしは言語教育・研究センターでスコア登録を行っている場合は再度の提出は不要です。 (漢語コアの事前登録(不要科目) Studies A, B ●国際情報分析 ●プロジェクトマネジメント ●グローバルセキュリティ入門 ▼Web 受付のみ 9/10(木) 9:00~9/11(金) 16:50 ※その他プログラムの申込方法については国際教育センターの募集要項を参照のこと	●ビジネス日本語A ●ビジネス日本語C ●日本語教育基礎 ●日本語教育基礎演習 ▼Web 受付のみ 9/10(木) 9:00~9/11(金) 16:50 《教職実践演習履修者発表》 9:00 Web でのみ発表 ●教職実践演習 追加申込 9/10(木) 9:00~9/11(金) 16:50 ※追加募集は抽選後定員に満たない場合にのみ行います。 ●教職実践演習 追加申込 ▼Web 受付のみ 16:50まで
9/11 (金)							

【秋学期】

2020年度 申込科目スケジュール

担当窓口	法 学 部	共通教育センター	スポーツ科学・健康科学教育プログラム室	ハンスオランダラーニングセンター (Hol.C)	言語教育研究センター	国際教育・協力センター (CIEC)、日本語教育センター	教職教育研究センター
9/12 (土)							
9/14 (月)							
9/15 (火)	《履修者発表》 8:50 Webでのみ発表	《履修者発表》 8:50 Webでのみ発表 ■追加申込対象科目は、教育学Webサービス「お知らせ」に発表（予定） ※追加募集は一般申込抽選後定員に満たない科目のみ行います。	《一般申込 履修者発表》 8:50 Webでのみ発表 ■追加申込対象科目は、教育学Webサービス「お知らせ」に発表（予定） ※追加募集は一般申込抽選後定員に満たないクラスがある場合にのみ行います。	《履修者発表》 8:50 Webでのみ発表 ■追加申込対象科目は、教育学Webサービス「お知らせ」に発表（予定） ※追加申込受付は抽選後定員に満たないクラスがある場合にのみ行います。	《履修者発表》 8:50 Webでのみ発表 ■追加申込対象科目は、教育学Webサービス「お知らせ」に発表（予定） ※追加申込受付は抽選後定員に満たないクラスがある場合にのみ行います。	《履修者発表》 8:50 Webでのみ発表 ■追加申込対象科目は、教育学Webサービス「お知らせ」に発表（予定） ※追加申込受付は抽選後定員に満たないクラスがある場合にのみ行います。	《追加申込 履修者発表》 8:50 Webでのみ発表
9/16 (水)	《追加申込 履修者発表》 8:50 Webでのみ発表	《履修者発表》 8:50 Webでのみ発表 ■追加申込対象科目は、教育学Webサービス「お知らせ」に発表（予定） ※追加募集は一般申込抽選後定員に満たない科目のみ行います。	《一般申込 履修者発表》 8:50 Webでのみ発表 ■追加申込対象科目は、教育学Webサービス「お知らせ」に発表（予定） ※追加募集は一般申込抽選後定員に満たないクラスがある場合にのみ行います。	《履修者発表》 8:50 Webでのみ発表 ■追加申込対象科目は、教育学Webサービス「お知らせ」に発表（予定） ※追加申込受付は抽選後定員に満たないクラスがある場合にのみ行います。	《履修者発表》 8:50 Webでのみ発表 ■追加申込対象科目は、教育学Webサービス「お知らせ」に発表（予定） ※追加申込受付は抽選後定員に満たないクラスがある場合にのみ行います。	《履修者発表》 8:50 Webでのみ発表 ■追加申込対象科目は、教育学Webサービス「お知らせ」に発表（予定） ※追加申込受付は抽選後定員に満たないクラスがある場合にのみ行います。	《追加申込 履修者発表》 8:50 Webでのみ発表
9/17 (木)	《追加申込 履修者発表》 8:50 Webでのみ発表	《履修者発表》 8:50 Webでのみ発表 ■追加申込対象科目は、教育学Webサービス「お知らせ」に発表（予定） ※追加募集は一般申込抽選後定員に満たない科目のみ行います。	《一般申込 履修者発表》 8:50 Webでのみ発表 ■追加申込対象科目は、教育学Webサービス「お知らせ」に発表（予定） ※追加募集は一般申込抽選後定員に満たないクラスがある場合にのみ行います。	《履修者発表》 8:50 Webでのみ発表 ■追加申込対象科目は、教育学Webサービス「お知らせ」に発表（予定） ※追加申込受付は抽選後定員に満たないクラスがある場合にのみ行います。	《履修者発表》 8:50 Webでのみ発表 ■追加申込対象科目は、教育学Webサービス「お知らせ」に発表（予定） ※追加申込受付は抽選後定員に満たないクラスがある場合にのみ行います。	《履修者発表》 8:50 Webでのみ発表 ■追加申込対象科目は、教育学Webサービス「お知らせ」に発表（予定） ※追加申込受付は抽選後定員に満たないクラスがある場合にのみ行います。	《追加申込 履修者発表》 8:50 Webでのみ発表
9/18 (金)							
9/19 (土)							
9/23 (水)	授業開始						
9月 9日 随時							

西宮市大学共通単位講座、EJUIプログラムは、Webでの申込はできない。
西宮市大学共通単位講座のセンター科目は、西宮市大学交流センターで実施される科目をさす。
国連・外交関連プログラムの申込スケジュールは教育学Web、各科目個別の募集要項等で案内。

概 要

1. 関西学院大学の理念・目的
2. Kwansai コンピテンシー
3. 2020年度 授業スケジュール
4. 授業科目の履修にあたって
5. 成績評価・試験規程（抜粋）
6. 履修・学習要覧 Web サイトの紹介
7. 一般注意事項
8. 早期卒業制度について
9. 卒業延期制度について

1. 関西学院大学の理念・目的

関西学院大学はその理念とするキリスト教主義に基づき、教育基本法および学校教育法の規定するところに従い、広く知識を授けるとともに深く専門の学芸を教授研究し、人格を陶冶することを目的とする。

本学初代学長（第4代院長）C.J.L. ベーツが提唱したスクールモットー“Mastery for Service（奉仕のための練達）”は、関西学院の建学の精神を簡潔に表現するものであり、「社会貢献のためにこそ実力を身につけよ」と解されている。本学は、知性を、そして自らが持つすべての豊かさを、隣人のために用いることを強調するとともに、創立当初から培われてきた国際性と社会貢献への使命感を身につけた世界市民の育成を重視する。

本学は、教育においては、全人的教養および専門的知識・技能を修得させるとともに、広く創造力、課題発見能力、課題解決能力そして実行力を培うことをめざす。また、研究においては、本学として特色ある基礎研究を強化しつつ、応用研究および先端的研究を発展充実させるとともに、研究成果を社会に還元して、社会貢献することをめざす。

2. Kwanseï コンピテンシー

関西学院は、キリスト教主義に基づく全人教育によって「“Mastery for Service” を体現する世界市民」を育成することを使命としています。その実現に向けて、すべての学生が卒業時に学部の特徴なく共通に身に付けるべき知識・能力・資質を「Kwansei コンピテンシー」と定め、これを大学の教育に通底するものとして位置づけます。

「Kwansei コンピテンシー」は、各学部の教育課程やそれを補完する全学科目等の「正課教育」だけでなく、クラブでのスポーツ・文化・芸術活動、ボランティア活動、寮生活等の「正課外教育」、さらには友人関係、教員・職員との交流、キャンパスの豊かな自然も含めた大学の多様な「環境」によっても育まれます。

（知識）

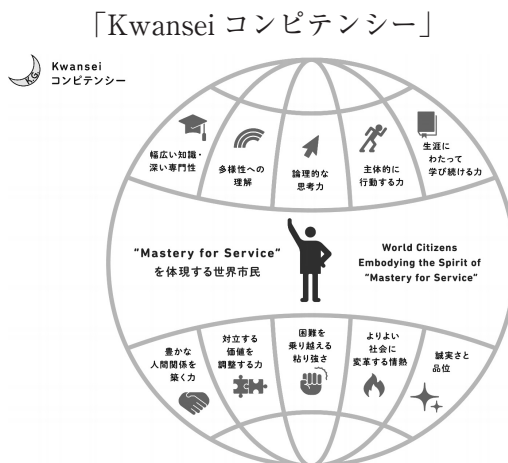
- 幅広い知識・深い専門性
- 多様性への理解

（資質）

- 困難を乗り越える粘り強さ
- よりよい社会に変革する情熱
- 誠実さと品位

（能力）

- 論理的な思考力
- 主体的に行動する力
- 生涯にわたって学び続ける力
- 豊かな人間関係を築く力
- 対立する価値を調整する力



関西学院は、幼稚園から大学・大学院までの教育を通じて、この学院に学ぶすべての者がこれらのコンピテンシーを段階的に身に付け、高めていくことをめざします。

3. 2020年度 授業スケジュール

概要

年・月	日・曜日	行事
2020年 4月	1日(水)～2日(木)	春学期入学式
	2日(木)～3日(金)	定期健康診断（聖和） ※詳細は、保健館 HP および学部掲示のポスターを確認すること。
	3日(金)・4日(土)・6日(月)	履修指導
	7日(火)	春学期・第1クォーター授業開始
	8日(水)～13日(月)	定期健康診断（神戸三田） 【対象者】 8・9日：女性、10・13日：男性
	8日(水)～21日(火)	定期健康診断（上ヶ原） 【対象者】 8～14日：女性、15～21日：男性※土日除く
	29日(水・祝)	授業実施日
5月	6日(水・休)	振替授業実施日（月曜日分）
	19日(火)・20日(水)	春季・大学合同チャペル【授業短縮】 第1時限終了 午前10時15分 第2時限開始 午前11時25分
	27日(水)	第1クォーター授業終了
	28日(木)	第2クォーター授業開始
	30日(土)	TOEIC® L&R IP 実施日 【対象者】 以下の学部の1年次生 (神・文・社・法・経済・商・理工・人間福祉・教育・国際) および国際学部の3年次生
7月	15日(水)	春学期・第2クォーター授業終了
	16日(木)	春学期補講日
	17日(金)～31日(金)	春学期定期試験・中間試験（予備日含む）
	23日(木・祝)・24日(金・祝)	春学期定期試験・中間試験実施日
8月	5日(水)・6日(木)	春学期追試験
	7日(金)～9月19日(土)	夏季休業

2020年度 授業日程（春学期）

		月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
		2020年 4月	13, 20, 27	7, 14, 21, 28	8, 15, 22, 29 (昭和の日)	9, 16, 23, 30
春 学 期	5月	6 (水：振替授業実施), 11, 18, 25	12, 19, 26	13, 20, 27	7, 14, 21, 28	1, 8, 15, 22, 29
	6月	1, 8, 15, 22, 29	2, 9, 16, 23, 30	3, 10, 17, 24	4, 11, 18, 25	5, 12, 19, 26
	7月	6, 13	7, 14	1, 8, 15	2, 9	3, 10

年・月	日・曜日	行事
9月	16日(水)	春学期卒業式
	17日(木)	秋学期入学式
	23日(水)	秋学期・第3クォーター授業開始
	28日(月・創立記念日)	授業実施日
10月	15日(木)・16日(金)	秋季・大学合同チャペル【授業短縮】 第1時限終了 午前10時15分 第2時限開始 午前11時25分
11月	3日(火・祝)	授業実施日
	10日(火)	第3クォーター授業終了
	11日(水)	第4クォーター授業開始
	23日(月・祝)	授業実施日
12月	5日(土)	TOEIC® L&R IP 実施日 【対象者】以下の学部 ² の2年次生 (神・文・社・法・経済・商・理工・人間福祉・教育)
	7日(月)	大学合同アドベントチャペル【授業短縮】 第1時限終了 午前10時15分 第2時限開始 午前11時25分
	23日(水)	冬季休業前授業終了
	24日(木)～1月5日(火)	冬季休業
2021年 1月	6日(水)	冬季休業明け授業開始 振替授業実施日(月曜日分)
	12日(火)	秋学期・第4クォーター授業終了
	13日(水)	秋学期補講日
	14日(木)～28日(木)	秋学期定期試験(予備日含む)
2月	12日(金)・13日(土)・15日(月)	秋学期追試験(予備日含む)
	16日(火)～3月31日(水)	春季休業
3月	18日(木)	秋学期卒業式

※ TOEIC はエデュケーション・テスト・サービス (ETS) の登録商標です。
この印刷物は ETS の検討を受けまたその承認を得たものではありません。

2020年度 授業日程 (秋学期)

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	
秋 学 期	9月	28 (創立記念日)	29	23, 30	24	25
	10月	5, 12, 19, 26	6, 13, 20, 27	7, 14, 21, 28	1, 8, 15, 22, 29	2, 9, 16, 23, 30
	11月	2, 9, 16, 23 (勤労感謝の日), 30	3 (文化の日), 10, 17, 24	4, 11, 18, 25	5, 12, 19, 26	6, 13, 20, 27
	12月	7, 14, 21	1, 8, 15, 22	2, 9, 16, 23	3, 10, 17	4, 11, 18
	2021年 1月	6 (水: 振替授業実施)	12		7	8

4. 授業科目の履修にあたって

本学のカリキュラム（教育課程）は、「大学学則」および「学部内規」に基づいて体系的につくられている。本学を卒業するためには、このカリキュラムに沿って単位を修得しなければならない。履修にあたっての詳細な説明および手続については、本冊子を熟読すること。

1. 単位

大学では単位制がとられている。各授業科目は学則で単位数が定められており、一つの授業科目を所定の期間履修し、最終評価において合格することにより単位が与えられる。

文部科学省令である「大学設置基準」の第21条および本学の学則第18条では、「1単位の授業科目を45時間の学修を必要とする内容をもって構成することを標準」と定めている。また学則第18条において、講義科目及び演習科目については15時間の授業をもって1単位とし、言語教育科目、実験科目、実習科目及び実技科目については、30時間の授業をもって1単位とすると定めている。つまり、講義科目及び演習科目については30時間、言語教育科目、実験科目、実習科目及び実技科目については15時間の授業外学習が必要である。

なお、卒業に必要な単位数は学部により異なるので本冊子を参照すること。

2. 履修基準年度

各授業科目には、単位とともに履修基準年度が定められている。履修基準年度とはその授業科目を履修できる最低学年度を表すものである。

履修基準年度1年・・・第1・2・3・4学年度生が履修できる。

履修基準年度2年・・・第2・3・4学年度生が履修できる。

履修基準年度3年・・・第3・4学年度生が履修できる。

履修基準年度4年・・・第4学年度生が履修できる。

3. 授業時間

毎週1回あたりの授業時間は90分であるが、制度上これを“2時間”としている。

4. 授業時間帯等

(1)本学における授業・試験等の時間帯は次のとおりである。

(i)通常授業、定期試験・中間試験、補講・集中講義^(※)時間帯

第1時限	9:00～10:30
チャペルアワー	10:35～11:05
第2時限	11:10～12:40
昼食時休憩	12:40～13:30
第3時限	13:30～15:00
第4時限	15:10～16:40
第5時限	16:50～18:20

※ただし夏季・冬季・春季休業期間中の集中講義の時間帯は表(iii)による。

(ii)追試験時間帯

第1時限	9:00～10:00
第2時限	10:20～11:20
第3時限	12:10～13:10
第4時限	13:30～14:30
第5時限	14:50～15:50

(iii)夏季・冬季・春季休業期間中の集中講義の時間帯

第1時限	9:10～10:40
第2時限	10:50～12:20
第3時限	13:10～14:40
第4時限	14:50～16:20
第5時限	16:30～18:00

※集中講義の時間帯は科目により異なることがある。異なる場合はシラバスや履修の手引き等に明記されるので確認すること。

(2)キャンパス間の移動を伴う履修

キャンパス	取り扱い
西宮上ヶ原・西宮聖和 ⇔ 神戸三田	連続した授業の履修は不可
西宮上ヶ原 ⇔ 西宮聖和	連続した授業の履修は不可 ただし、チャペルアワーを挟んだ1時限目と2時限目および昼休みを挟んだ2時限目と3時限目の連続履修については可能とする。

(3)暴風警報・特別警報発令、交通機関運行遅延など不測の場合の措置については、大学学部の授業・試験実施に関する警報発令及び交通機関の運行停止等の場合の取扱要領（抜粋）を参照すること。

大学学部の授業・試験実施に関する警報発令及び交通機関の運行停止等の場合の取扱要領（抜粋）

この取扱要領は、警報発令及び交通機関の運行停止等の場合の、学部における授業・試験実施について定めるものである。

- 別表のいずれかの地域・市町村に暴風警報、特別警報（大雨、暴風、高潮、波浪、暴風雪、大雪）が発令されている間は授業・試験を行わない。なお、取り扱いの詳細は第2項以下に定める。また、中止となった定期試験・中間試験については原則として試験予備日に振り替えて実施する。
- 暴風警報、特別警報が発令された場合の授業・試験実施については次のとおりとする。
授業・試験実施キャンパス〈西宮上ヶ原・西宮聖和〉

6:00までに別表の地域全ての暴風警報、特別警報が解除されたとき	平常通り授業・試験を行う。
8:00までに解除されたとき	第2時限から授業・試験を行う。
10:30までに解除されたとき	第3時限から授業・試験を行う。
12:00までに解除されたとき	第4時限から授業・試験を行う。
12:00を過ぎても解除されないとき	全日休講・全日試験中止とする。

授業・試験実施キャンパス〈神戸三田〉

6:00の時点で解除されないとき	全日休講・全日試験中止とする。
------------------	-----------------

- 翌日の6:00以降の暴風警報、特別警報の発令が見込まれる場合は、学長の判断により、第2項に準じて休講・試験中止とする時限を決定することがある。
- 特別警報に位置付ける警報（津波、火山、地震（地震動））が発令された場合は学長の判断による。
- 交通機関の運行遅延・停止が発生した場合あるいは運行停止が予告された場合は、対象路線・運行開始予定時刻等を考慮のうえ、措置するキャンパスを含めた対応を学長の判断により決定する。
- 本取扱要領に定めのない事態については、学長の判断による。
- この取扱要領の改廃は、大学評議会において決定する。

（略）

別表

	地域	市町村
兵庫県	阪 神	神戸市、尼崎市、西宮市、芦屋市、伊丹市、宝塚市、川西市、三田市、猪名川町
	北 播 丹 波	西脇市、篠山市、丹波市、多可町
	播磨南東部	明石市、加古川市、三木市、高砂市、小野市、加西市、加東市、稲美町、播磨町
大阪府	大 阪 市	大阪市
	北 大 阪	豊中市、池田市、吹田市、高槻市、茨木市、箕面市、摂津市、島本町、豊能町、能勢町
	東 部 大 阪	守口市、枚方市、八尾市、寝屋川市、大東市、柏原市、門真市、東大阪市、四條畷市、交野市
	南 河 内	富田林市、河内長野市、松原市、羽曳野市、藤井寺市、大阪狭山市、太子町、河南町、千早赤阪村
	泉 州	堺市、岸和田市、泉大津市、貝塚市、泉佐野市、和泉市、高石市、泉南市、阪南市、忠岡町、熊取町、田尻町、岬町

5. 成績評価・試験

履修した授業科目は、その学修の成果について試験（定期試験、中間試験および追試験）や平常評価（レポート、勉学態度等）など授業担当者の教育方針および評価方針に基づいて、成績評価が行われる（シラバス参照）。成績評価・試験については、成績評価・試験規程（抜粋）〈後掲〉を参照すること。

なお、定期試験はすべて、授業を開講しているキャンパスにて受験すること。

6. GPA 制度

(1) 制度と設定基準

本学では Grade Point Average（以下、GPA という）制度を実施している。本制度は、各自が履修した科目の成績評価に対して、一定の Grade Point（以下、GP という）を与え、その合計の加重平均を GPA として提示する成績評価方法である。この制度を通じて、学生自身が自分にとって必要とする科目が何かを考えること、自己の履修を管理し、学習成果がどのレベルに位置するかを把握し、さらなる勉学意欲を高めるための指標とすることが重要である。GPA は、各自の成績表・成績証明書に掲載する。本学での GP の設定基準と、GPA 算出式は以下のとおりである。

なお、2019年度より制度内容を変更したため、2018年度以前入学生と2019年度以降入学生で異なる運用となるので注意すること。

【GP の設定基準】

・2018年度以前入学生

100～90点又は S 評価の場合の GP は 4
 89～80点又は A 評価の場合の GP は 3
 79～70点又は B 評価の場合の GP は 2
 69～60点又は C 評価の場合の GP は 1
 59～ 0点又は F 評価の場合の GP は 0

・2019年度以降入学生

100～90点又は S 評価の場合の GP は 4.0
 89～85点又は A + 評価の場合の GP は 3.5
 84～80点又は A 評価の場合の GP は 3.0
 79～75点又は B + 評価の場合の GP は 2.5
 74～70点又は B 評価の場合の GP は 2.0
 69～65点又は C + 評価の場合の GP は 1.5
 64～60点又は C 評価の場合の GP は 1.0
 59～ 0点又は F 評価の場合の GP は 0

【GPA 算出式】

$$\text{GPA} = \frac{[(\text{科目の単位数}) \times (\text{その科目の評価のGP})] \text{の総和}}{(\text{履修登録した単位数}) \text{の総和}}$$

なお、GPA の算定対象には、卒業に必要な単位であるかどうかなどにかかわらず本学で開設している全ての科目が含まれる。ただし、認定する科目については、GP を与えず、GPA の算定対象科目としない場合もある。

(2)履修の中止

本制度の主旨に則り、授業開始約 2 カ月後の時点において、各学部等が定めた科目において、所定の手続き（教学 Web サービスで申請）をすることにより履修の中止をすることができる制度も併せて設けている。

(3)成績優秀者の顕彰

成績優秀者は、学期毎に掲示により顕彰している（顕彰する基準等については各学部にて異なる）。また、学期ごとの顕彰とあわせて、GPA 上位 5 % の者に対し、第 2・3・4 学年度末に顕彰している。第 2・3 学年度末には 1 年間、第 4 学年度末には 4 年間の GPA について顕彰している。特に、4 年間の GPA 上位 5 % の卒業生には、卒業式に学長名の GPA 表彰状を授与する。その他、学部によっては、成績優秀者に対して履修単位数制限の緩和措置を行っている場合があるので、履修単位数制限、履修登録のページなどで確認すること。

7. 授業科目の内容

各科目の授業目的、到達目標、授業計画、授業時間外学習、成績評価（種別・割合・評価基準等）などは、シラバスで公開されている。授業科目の履修にあたり十分に活用すること。シラバスは、教学 Web サービス (<https://webinfo.kwansei.ac.jp/>) で閲覧できる。

なお、シラバスの内容は授業の進行にあわせて変更することがあるので、必ず授業中の担当者の指示あるいは学部等の掲示板で確認すること。

8. 授業に関する調査

「学修行動と授業に関する調査」は、次の 3 点を目的として実施している。①学生の学修行動・成果の振り返り、②授業の改善、③教育内容・環境の整備。学生は責任ある態度で回答することが求められる。調査の方法は授業により異なり、授業中にアンケート用紙等を用いて行う場合と LUNA（Web）を利用して行う場合がある。調査期間中に授業担当者から詳細な指示がある。

9. 科目ナンバリング

科目ナンバリングとは授業科目に適切な番号を付し分類することで、学修の段階や順序等を表し、教育課程の体系性を明示する仕組みである。対象とするレベルが示されているので、適切な授業科目を選択する助けとなる。また、国内外の他大学で行われているナンバリングとの照合によって、単位互換の促進、提携校とのカリキュラムの対照作業にも役立てることができる。

本学のナンバリング体系は以下のとおり。詳細については各学部・センターのカリキュラム説明を参照のこと。

ナンバー	位置づけ	位置づけ詳細
100	学士課程において基礎的な内容を取り扱う科目	・初年次の入門的、基礎的な知識を修得する専門教育科目 ・初年次の必修科目、基礎的な総合教育科目・全学科目
200	学士課程において基盤となる科目	・各専門分野の基本的な内容を扱う専門教育科目 ・学際的、発展的内容を扱う総合教育科目・全学科目
300	学士課程において応用的要素の強い科目	・各専門分野の実践的・応用的要素が強い内容を扱う専門教育科目 ・特定のテーマ、分野に関する実践的・応用的要素が強い内容を扱う総合教育科目・全学科目
400	学士課程において最も専門性の高い科目	・各専門分野で学部学生が学修する最終段階の水準科目(卒業研究、卒業論文など) ・大学院開設科目と連携して開講している科目

10. 複数分野専攻制〔Multidisciplinary Studies (略称：MS)〕

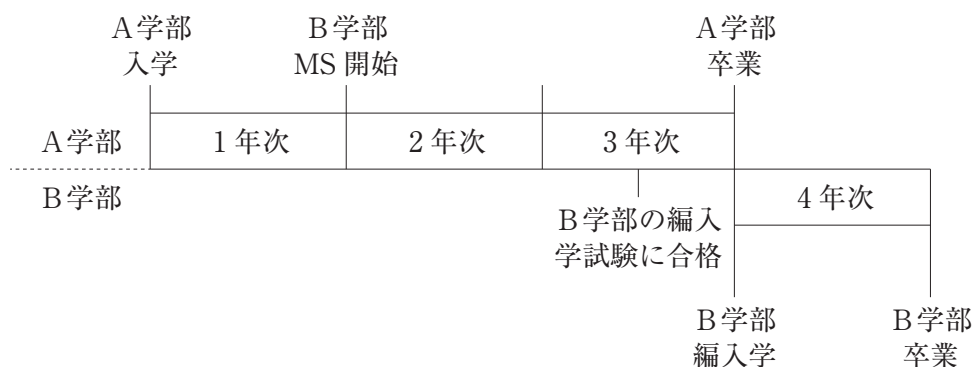
この制度は、他学部や学部以外のセンター等から提供されたプログラムのもと、学部の枠を越えた学問領域を学ぶことによって、幅広い知見と深い専門性を備えた学生を輩出するために設けられている。単なる他学部履修とは異なり一定の体系づけられたプログラムを履修することにより、自学部の学習に軸足を置きながらも、他学部のカリキュラムをまとまった形で学ぶことができる。プログラムの内容、募集要領等詳細については、入学時に配付している『複数分野専攻制への扉』を参照すること。

11. マルチプル・ディグリー制度 (略称：MD)

この制度は、上記の MS を利用して、2つの学部を卒業（2つの学位を取得）することができる制度である。制度の概要は、「A学部在学中にB学部提供のMSプログラムを履修し、1つ目のA学部を卒業、その後B学部に編入学制度で入学し、A学部在学中に修得した単位の一部とB学部提供のMSプログラムで修得した単位についてB学部で認定を受け、B学部卒業要件の残りの単位を修得して2つ目のB学部を卒業する」というものである。B学部に編入学制度で入学するには、早期卒業制度を利用する場合は3年次の秋学期に、通常卒業の場合は4年次の秋学期に編入学試験を受験し、合格することが必要である。成績優秀者で早期卒業制度を利用できる場合は、A学部を3年で卒業し、最短の4年間で2つの学位を取得することができる。2つの学位を取得するケースとしては以下のとおりである。なお、「早期卒業制度」が適用される学部、「4年次編入」制度が設置されている学部は限られており、該当する学部を各ケースに示している。詳細は教務機構事務部または学部事務室へ問い合わせること。

■ 4年で2学位を取得するケース (最短)

「早期卒業制度」と「4年次編入」の併用



A学部：社会・法・経済・商・人間福祉・国際学部が該当。

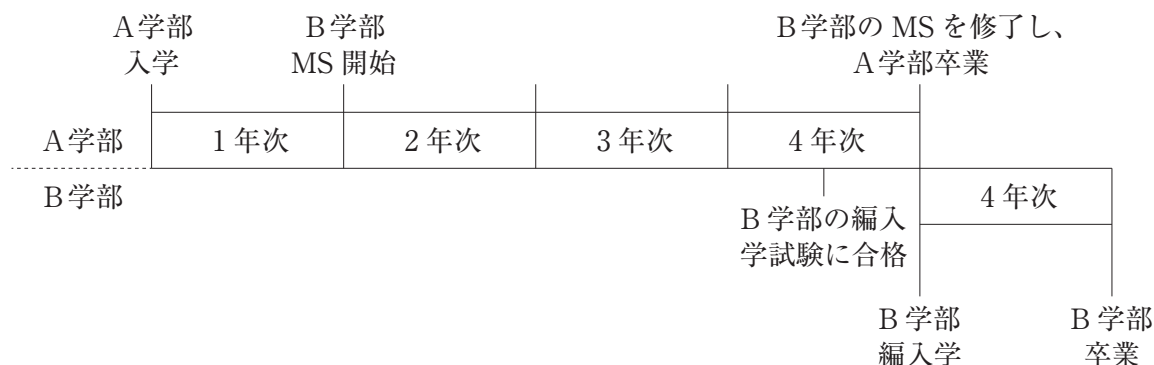
1年次に入学後、A学部所定のカリキュラムを履修しながら、2・3年次開始のB学部MSプログラムを履修し、「早期卒業制度」により3年間で卒業。

B学部：神・文・社会・法・経済・商・国際学部が該当。

B学部4年次に編入学し、B学部の卒業要件のうちの残りの単位を1年間で修得して卒業。

■ 5年で2学位を取得するケース(1)

「通常卒業」と「4年次編入」の併用



A学部：神・文・社会・法・経済・商・人間福祉・教育・国際学部が該当。

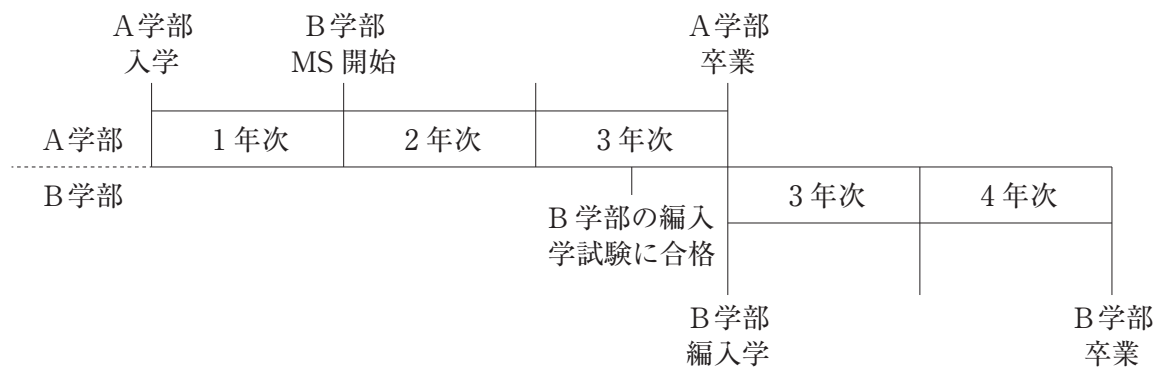
1年次に入学後、A学部所定のカリキュラムを履修しながら、2・3年次開始のB学部MSプログラムもあわせて修了し、4年間で卒業。

B学部：神・文・社会・法・経済・商・国際学部が該当。

B学部4年次に編入学し、B学部の卒業要件のうちの残りの単位を1年間で修得して卒業。

■ 5年で2学位を取得するケース(2)

「早期卒業制度」と「通常（3年次）編入」の併用



A学部：社会・法・経済・商・人間福祉・国際学部が該当。

1年次に入学後、A学部所定のカリキュラムを履修しながら、2・3年次開始のB学部MSプログラムを履修し、「早期卒業制度」により3年間で卒業。

B学部：文・社会・経済・国際学部が該当。

B学部3年次に編入学し、B学部の卒業要件のうちの残りの単位を2年間で修得して卒業。

12. 教職課程等

取得を希望する免許等により次のとおりとなっている。

■中学校、高等学校の教育職員1種免許状

入学時に開催される教職課程説明会および教職教育研究センター窓口等にて配付する『教職課程等履修要項』を参照すること。ただし、教育学部の学生は教育学部の履修心得を参照すること。

■幼稚園、小学校、特別支援学校の教育職員1種免許状及び保育士の各資格

教育学部の履修心得を参照すること。ただし、これらの資格取得は教育学部生に限られる。

■学校図書館司書教諭・博物館学芸員・国際バカロレア教員資格（IBEC）の各資格

入学時に開催される教職課程説明会および教職教育研究センター窓口等にて配付する『教職課程等履修要項』を参照すること。ただし、教育学部の学生は教育学部の履修心得を参照すること。なお、国際バカロレア教員資格（IBEC）は2019年度以降入学生のみ取得可能。

5. 成績評価・試験規程（抜粋）

第1条 この規程は、本大学学生の成績評価及び試験等について必要な事項を定めることを目的とする。

第2条 授業科目及び卒業論文の成績は、試験等の方法により学修の成果について、これを評価する。

第3条 試験は定期試験、中間試験及び追試験に分ける。

第4条 定期試験は春学期末及び秋学期末の所定の期間に一定の時間割により行う。

第5条 中間試験は通年の授業科目について、春学期末の所定の期間に一定の時間割により行うことができる。

第6条 追試験は定期試験にさいして病気その他やむを得ない事由により受験できなかった者に対し、当該授業科目について行うことができる。

第7条 定期試験、中間試験及び追試験は筆記又は口答とし、報告又は論文をもって代えることができる。

第8条 定期試験、中間試験及び追試験はすべて当該学部教授会が担当する。

第9条 定期試験、中間試験又は追試験を受験する者は試験場において、原則として本大学所定の学生証を机の上に置いて受験しなければならない。

第10条 追試験を受けるためには、受験することができなかった事由の証明書又は報告書（病気による場合は医師の診断書）を添えて追試験願を学部長宛に提出し、教授会の承認を得なければならない。

2 追試験を受ける者は、所定の受験料を学院財務課に納入しなければならない。ただし、次の者については受験料を免除する。

- 1 学校保健安全法施行規則に定める「学校において予防すべき感染症」のため登校停止となった者
- 2 裁判員制度により、候補者として裁判員等選任手続に参加する者及び裁判員・補充裁判員として職務に従事する者
- 3 公共交通機関の遅延又は運行停止等の事由により、定期試験を受験することができなかった者

第11条 定期試験、中間試験又は追試験にさいして自然災害、公共交通機関の遅延若しくは運行停止等の事由により受験できない者が多数発生すると判断される場合には、全学的な対応として、当該授業科目について代替試験を行うことができる。

2 代替試験は教務機構長の判断により行う。

- 3 代替試験の実施は当該学部教授会が担当する。
- 4 本規程第7条及び第9条はこれを代替試験に準用する。
- 5 追試験の代替試験については、論文に代えることができる。

第12条 代替試験を受けるためには、受験することができなかった事由を証明又は説明する書面を添えて代替試験願を学部長宛に提出しなければならない。

- 2 代替試験については受験料を徴収しない。

第13条 定期試験、中間試験、追試験及び代替試験によらず、平常評価による成績評価を行うことができる。

第14条 成績評価及び成績評価に対して与えるグレードポイントは次のとおりとする。

〈2018年度以前入学生〉

- 1 成績評価は、秀又はS（90点以上）・優又はA（80点以上）・良又はB（70点以上）・可又はC（60点以上）、及び、不可又はF（60点未満）とし、秀又はS・優又はA・良又はB、及び、可又はCを合格とする。
- 2 グレードポイントは、秀又はS（90点以上）は4、優又はA（80点以上）は3、良又はB（70点以上）は2、可又はC（60点以上）は1、及び、不可又はF（60点未満）は0とする。

〈2019年度以降入学生〉

- 1 成績評価は、S（90点以上）・A+（85点以上）・A（80点以上）・B+（75点以上）・B（70点以上）・C+（65点以上）・C（60点以上）・F（60点未満）とし、S・A+・A・B+・B・C+、及びCを合格とする。
- 2 グレードポイントは、S（90点以上）は4.0、A+（85点以上）は3.5、A（80点以上）は3.0、B+（75点以上）は2.5、B（70点以上）は2.0、C+（65点以上）は1.5、C（60点以上）は1.0、及びF（60点未満）は0とする。

第15条 追試験の成績は原則として減点する。

第16条 代替試験の成績は減点しない。ただし、追試験の代替試験の成績は、追試験に準じて取り扱う。

第17条 成績評価の結果は一定の期間内に授業科目担当教員によって、教授会に報告されなければならない。

第18条 次の者は試験等を受け、成績評価を得ることができない。

- 1 履修の届出をしていない者
- 2 学費未納者
- 3 教授会において受験することを不相当と認めた者

第19条 この規程に基づいて、各学部は運用のための内規を定めることができる。

備考

- 1 第10条第2項の受験料は、1科目について1,000円とする。
- 2 第14条に定める他に、認定する科目についてはグレードポイントを与えず、Pと表記する。

6. 履修・学習要覧 Web サイトの紹介

本学では、大学での学びに関する基本的な事項をまとめた「履修・学習要覧 Web サイト」(https://www.kwansei.ac.jp/a_affairs/a_affairs_000660.html)を提供している。このサイトの主な掲載事項は次のとおりである。科目を履修するにあたって最低限の情報が掲載されているので、必ず目を通しておくこと。

■大学、学部の理念・目的・教育目標

■Kwansei コンピテンシーおよび各学部のディプロマ・ポリシー（学位授与の方針）、カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）

■関西学院大学学則 等 諸規程

学則とは大学の構成、カリキュラム、卒業、休学、編入学、学生心得など関西学院大学での学生生活の大もととなる規則である。本学の学生は必ず目を通しておくこと。

また、その他の諸規程（学費、成績評価・試験、警報発令時の授業等の取扱、奨学金、諸施設利用、留学に関する規程等）も本サイトに掲載している。

なお、各学部等事務室のカウンターにも閲覧用資料を設置しているので参照すること。

■シラバス（授業実施要綱）

今年度開講されている科目の概要や各回の授業内容などを確認することができる。

■教員等紹介

教員等の教育研究内容等を閲覧することができる。なお、教員の顔写真を閲覧するには、教学 Web サービスから「教員等紹介」にアクセスすること。

■全学科目、教職等資格関連科目の説明

全学科目とは、学部以外のセンター等が提供している科目で、基本的に全ての学部の学生が履修することができる。学部を超えて、他の学部の学生と一緒に学ぶことができるなど、学部提供の科目とは異なった魅力がある。

■オフィス・アワー

大学の出会いのなかで最も大きなものの一つが、教員との出会いである。ゼミナールや講義の担当者である教員とは日常の大学生活のなかでコミュニケーションをとることはできるが、講義での疑問点や関心のある問題への取り組み方などの勉学に関する事、そのほか学生生活に関する事など相談事があれば、積極的に本学の専任教員と直接話し合い、指導を受けることによって、より深いコミュニケーションをとることができる。専任教員への積極的なアプローチの場として設けられているのが、オフィス・アワーである。専任教員は、オフィス・アワーとして設けられた時間帯に、特別の所用がない限り個人研究室など所定の場所にいる。各教員のオフィス・アワー時間帯を本サイトに掲載している。（教員所属の学部等掲示板にも掲出している。）

なお、役職についている専任教員のオフィス・アワーは予約制となるので、役職者に面会を希望する場合には、関係事務室に前もって問い合わせること。

7. 一般注意事項

1. 学生証

学生証は常に携帯してください。試験や手続きの際は、必ず学生証の呈示が求められますので、紛失・汚損等の場合は早急に再発行手続きをとってください（再発行手数料が必要）。

2. 掲示・教学Webサービス

大学における学生への連絡・通知は掲示および教学 Web サービスによることを原則としています。

登校時には必ず掲示板を、また定期的に教学 Web サービスを確認してください。掲示・教学 Web サービスを見なかったという理由で責任を逃れることはできません。

他学部開講科目および全学科目等についての掲示は、当該学部や関連センター等の掲示板で行われますので、十分に注意してください。

なお、事務室への電話による問い合わせには一切応じません。

3. 学部事務室開室時間

月曜日～金曜日 8:50～11:30、12:30～16:50

土曜日 8:50～12:20

ただし、行事等によって変更することがあります。また、5月、6月、9月、10月の第2土曜日および5月の第4土曜日は一斉土休となるため、事務室は閉室となります。

なお、夏季休業中、冬季休業中の事務室開室日および時間については、掲示により通知します。

4. 各種変更手続き

保証人、氏名等に変更が生じた場合、速やかに所属学部事務室に届け出てください。

現住所の変更については、教学 Web サービスで修正してください。

5. パソコンの利用

学内ではパソコン教室や図書館でパソコンを利用することができます。ただし、パソコン教室は授業で使用することがあるため、授業利用時以外（オープン利用時）のみ使用できます。各キャンパスのパソコン教室等の利用状況は、<https://ict.kwansei.ac.jp/>の「PC 教室空席状況」で確認することができます。

また、個人所有のデバイス（スマートフォン、タブレット、ノートパソコンなど）を学内のネットワークに接続して利用することもできます。

6. 証明書等

■証明書発行機の設置場所

設置場所		台数	利用時間帯
西宮上ヶ原	学生サービスセンター 1階	2台	月～金曜日 8:50～16:50 土曜日 8:50～12:20
	大学図書館 1階	1台	
	G号館 1階	1台	
神戸三田	I号館 1階	1台	
	VI号館 1階	1台	
大阪梅田	アプローチタワー 14階 (ラウンジ)	2台	月～金曜日 10:30～21:00 土曜日 10:30～20:00 日曜日 10:30～17:00
西宮聖和	I号館 1階 (教育学部・短期大学事務室前)	2台	月～金曜日 8:50～16:50 土曜日 8:50～12:20

注) メンテナンス等により利用時間帯であっても使用できない場合があるので注意してください。

利用に際しては、本人確認のため「学生証」およびパスワードが必要です。パスワードは入学時に仮パスワードとして各人の誕生日（1月7日生まれの場合は「0107」）があらかじめ発行機に登録されています。仮パスワードは、できるだけ早く任意のパスワードに各人で変更（証明書発行機で変更可能）を行ってください。

■証明書発行機で発行する証明書

○：発行可 ×：証明書発行機による発行不可

種類	和文	英文
在学証明書	○	○
成績証明書	○	○
卒業見込・成績証明書 (発行開始日は掲示で告知)	○	○
健康診断証明書	○	×
教育職員免許状取得見込証明書 (発行開始日は掲示で告知)	○	×
学割証	○	×
卒業・学士学位証明書 (発行期間は掲示で告知)	○	○

■上記以外の各種申込書

証明書発行機で関係する各種「申込書」を購入のうえ、所属学部等事務室に申し込んでください。発行は、原則として申し込みの翌日、証明書の種類によっては作成に2日以上かかる場合もあるため、余裕を持って申し込んでください。

7. 授業の欠席

本学には「公欠」制度はありません。病気や身内の死亡等をやむを得ず授業を欠席する場合も、その扱いは授業担当者の判断となります。やむを得ず授業を欠席する場合は、事前（不可能であれば事後）に直接授業担当者に相談してください。

■「学校保健安全法施行規則」に定める「学校において予防すべき感染症」のための登校停止の場合

罹患または罹患した疑いがある場合は、学内感染を予防するため登校停止としていますが、診断を受けた際はただちに所属する学部事務室に電話連絡してください。教務上の配慮を行います。

なお、主治医から登校許可が出たら、「学校感染症・登校許可証明書」を記載してもらい、必ず登校時に学部事務室へ提出してください。届出がない場合は、登校停止期間が確定できないため、教務上の配慮はできません。詳細は教務機構ホームページ（https://www.kwansei.ac.jp/a_affairs）「感染症への対応について」を確認してください。

■裁判員制度による候補者として裁判員等選任手続きへの参加や裁判員・補充裁判員として職務に従事する場合

呼出状を持参のうえ、所属学部事務室に申し出てください。教務上の配慮を行います。

8. 授業の長期欠席

病気等によって1ヵ月以上授業を欠席する場合は、所属学部事務室に連絡の上、必要な手続きを行ってください。

9. 学 費

春学期と秋学期の2回に分けて学費を納入するシステムをとっています。

保証人の方に学費納入用紙を郵送しますので、各学期の納入期限までに納入してください。納入期限は曜日により前後することがありますので、詳しくは学費納入用紙を参照してください。

〈学費納入期限〉 春学期：5月19日

秋学期：11月9日

なお、学費未納が続く場合には除籍となります。詳細については学費納付規程を確認してください。

〈分納・延納手続〉

学費を分割して納入したい場合は最大3回まで分けることができます。また、期限までに納入することができない場合は納入期限を延長することができます。

いずれも納入期限までに所属学部事務室で詳細確認の上手続きをしてください。

10. 各種相談

相談がある場合は、所属学部事務室、所属する演習の担当教員、各教員のオフィス・アワーを利用してください。その他、学生生活の各種相談は学生生活支援機構、留学の相談は国際教育・協力センター、就職の相談はキャリアセンターで受け付けています。

また、総合支援センター学生支援相談室ではカウンセラーによる相談も行っています。健康上の問題については保健館を利用してください。

8. 早期卒業制度について

所定の単位を優秀な成績をもって修得した者については、早期に本学の大学院で教育を受けることができるよう、次の条件を満たした場合、在学期間3年での早期卒業制度を設けています。希望者は法学部事務室に「早期卒業願」（法学部所定用紙）を提出することが必要です。

本学法学部の学生で本学部に3年以上在学し（休学期間を除く）、次の3つの条件を満たす者。

1. 卒業に必要な単位をすべて修得していること。
2. 卒業に必要な単位に含むことのできる科目の平均点が80点以上またはGPAが2.50以上であること。
3. 本学大学院法学研究科の前期課程一般入学試験、前期課程特別入学制度入学試験または本学大学院司法研究科の入学試験または本学大学院経営戦略研究科の入学試験またはマルチプル・ディグリー制度による本学他学部の編入学試験に合格すること。

☞ GPAの計算方法はP.20～、平均点の計算方法はP.77を参照すること。

早期卒業を志望するSemester	申請締切日
春学期（9月）卒業	6月末日
秋学期（3月）卒業	2月末日

※なお、締切日が事務室休業日の場合は、翌業務日までとします。

9. 卒業延期制度について

学部に4年以上在学し、卒業に必要な単位を修得した場合でも、卒業延期願を所属学部に申請し許可されれば、1回に限り卒業を延期することができます（最大1年）。

ただし、卒業延期期間中も含め、8年を越えて在学することはできません。

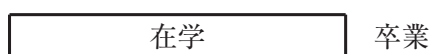
また、休学期間は、在学年数に算入されません。

卒業延期の条件

- ◎卒業延期の申請は Semester 単位で最大2 Semester（1年間）まで。
- ◎2 Semester 延期の場合は、初めの1 Semester を休学することができる。

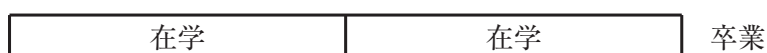
ケース1：1 Semester を延期する場合

卒業延期開始・・・→半年後



ケース2：2 Semester を延期する場合

卒業延期開始・・・・・・・・・・・・・・・・・・→1年後



ケース3：2 Semester を延期し、かつ初めの1 Semester を休学する場合

卒業延期開始・・・・・・・・・・・・・・・・・・→1年後



申請手続き

所属学部の事務室で「卒業延期願」を受け取り、必要事項を記入、学生本人・保証人連署のうえ、所属学部の事務室に提出してください。

ただし、「卒業延期願」を申請しても、卒業判定の結果、卒業の要件を満たさなかった場合は、申請は無効となります。次回以降の卒業スケジュールで卒業を延期する必要がある場合は、改めて申請してください。

卒業要件を満たす Semester	申請締切日
春学期（9月）卒業	8月末日
秋学期（3月）卒業	2月末日

※なお、締切日が事務室休業日の場合は、翌業務日までとします。

履修登録

I 履修登録手続きの流れ

II 履修登録の注意点

1. 卒業に必要な単位
2. 履修単位数制限
3. コース選択
4. クラス指定科目
5. 申込科目
 - (1) 法学部開講申込科目一覧
 - (2) 再履修登録
 - (3) 言語科目のクラス変更
 - (4) 英語の同時履修
6. 先修条件
7. 専門導入科目の履修制限
8. ペア履修科目
9. 専門科目のナンバリング
10. 留学プログラム、外国語インテンシブ・プログラム等 履修上の注意
11. 他学部履修
12. 同一名称科目等
13. 資格関連科目
14. 隔年開講科目

III 全学開講科目

1. 2020年度 全学科目 開講一覧・予備登録（申込み）について
2. 2020年度 全学科目申込・履修についての諸注意

I 履修登録手続きの流れ

- ◎スケジュールは表紙裏面参照（履修登録は、春学期と秋学期の年2回行われます）
履修登録は Web で行い、登録内容を Web 履修登録照会画面で確認することで完了します。
登録を所定期間に行わなかった場合、授業科目を履修、単位を修得できません。

Step 1. 履修心得・授業時間割・クラス指定表を受け取る

- ①クラス指定科目を確認
スタートアップ演習、言語科目等の必修科目は、予め履修するクラスが指定されています。
まず「クラス指定表」で自分のクラスを確認してください。
- ②申込科目の申請
定員などが設けられている「申込科目」は、本登録期間前に手続きが必要です。
- ③上記以外の履修科目を選択
カリキュラムを理解した上で、シラバスや授業時間割から履修する科目を選択してください。

Step 2. Web での本登録、確認、修正（教学 Web サービス）

履修登録スケジュールは表紙裏面のとおりです。
所定の期間を過ぎると、履修登録の手続きは一切できません。
履修登録の方法は教学 Web サービス上のマニュアルを参照してください。

Step 3. 時間割照会で履修内容を確認（教学 Web サービス）

Step 4. 履修中止申請（教学 Web サービス）

※申込科目については、履修中止ができません。

《 要注意 》

- ① 履修登録を完了する際に、必ず最後に **申請/Apply** ボタンを押すこと。
- ② **申請/Apply** が完了すると、関学アドレス（…@kwansei.ac.jp）に履修登録完了メールが届くので、必ず確認すること。
- ③ 一度申請した後、再度修正を加える場合も必ず最後に **申請/Apply** ボタンを押すこと。（押さなければ修正内容が反映されないので注意すること）

- ※ 履修登録（申込科目・本登録・修正・履修中止）は必ず本人が行うこと。
※ ①～③を正しく行わなければ、履修を受け付けることができません。

Ⅱ 履修登録の注意点

履修計画を立てる際は、次の点に注意してください。

法学部のカリキュラムをまずよく理解してください。	⇒ 1. 卒業に必要な単位
1学期間に履修登録できる単位数は制限されています。	⇒ 2. 履修単位数制限
2年次以降、全員いずれかのコースに所属します。	⇒ 3. コース選択
履修クラスが予め設定されている科目があります。	⇒ 4. クラス指定科目
事前申し込みが必要な科目があります。	⇒ 5. 申込科目
履修するための条件が設定されている科目があります。	⇒ 6. 先修条件
週に2～3コマ開講される科目があります。	⇒ 8. ペア履修科目
他学部開講の授業科目も履修できます。(「†」印は不可)	⇒ 11. 他学部履修
同一名称、同一内容の科目は履修できません。	⇒ 12. 同一名称科目等

1. 卒業に必要な単位

(1) 法学部における卒業に必要な単位数

科目群	卒業必要単位数 (計)
基礎科目群	40
教職等関連科目 (巻末の教育課程表の「□」科目をのぞく)	
学校図書館司書教諭課程・ 国際バカロレア教員養成プログラム関連科目	
他学部開設科目	74
専門科目群	
任意の科目	10
合計	124

- ① 各科目群では、さらに個別の卒業必要単位数(卒業要件)が設けられています。
- ② 各科目群の要件をすべて満たした上で、合計「124単位」の修得が必要です。
- ③ 入学年度や学科によって、卒業必要単位数の内訳や要件が異なります。

☞ 詳細は、巻末の「教育課程表」を十分に確認すること。

2. 履修単位数制限

- ・各学年の各学期において履修登録をすることができる単位数は「24単位」です。
- ・通年科目の単位数は各学期2分の1で計算します。(通年4単位：春2単位、秋2単位と計算)
- ・集中講義科目は開講学期の単位数に算入します。

単位数制限緩和について

- ① 司法特修コース所属の学生およびMSプログラムを履修している学生は、2年次以降、各学期28単位まで履修を認めます。
- ② 2年次終了時点で成績がGPA上位5%以内の学生は、3年次以降各学期28単位まで履修を認めます。
- ③ 本学の交換留学制度で留学した学生は帰学後各学期28単位まで履修を認めます。
- ④ マルチプル・ディグリー制度による編入学生は各学期28単位まで履修を認めます。
- ⑤ 3年次編入学生で入学後最初の学期において、20単位以上修得かつGPA 2.00以上である場合、次学期以降は各学期28単位まで履修を認めます。

次の授業科目は、単位数制限の対象にはなりません。

○印：卒業単位に算入される科目、×印：卒業単位に算入されない外科目

法学部開講科目		グローバルスタディーズ科目	
議員インターンシップ実習	卒業単位 ○	海外異文化体験セミナー	卒業単位 ○
法学・政治学グローバル演習A・B・C・D	卒業単位 ○	国連セミナー	卒業単位 ○
海外フィールドワーク演習A・B・C・D	卒業単位 ○	海外フィールドワーク	卒業単位 ○
ライフデザイン科目		海外学習活動（ドイツ）	卒業単位 ○
キャリアゼミA・B・C ※ただしキャリアゼミAは、2018年度以降入学生は単位数制限内	2017以前入学 卒業単位 ×	インドネシア交流セミナーA・B	卒業単位 ○
	2018以降入学 卒業単位 ○	トルコ交流セミナーA・B	卒業単位 ○
霞が関セミナー	2017以前入学 卒業単位 ×	国連・外交フィールドワーク	卒業単位 ○
	2018以降入学 卒業単位 ○	CCC Joint Seminar in Japan	卒業単位 ○
インターンシップ実習	卒業単位 ○	CCC Joint Seminar in Canada	卒業単位 ○
海外インターンシップ	2017以前入学 卒業単位 ×	CCC Global Internship in Japan	卒業単位 ○
	2018以降入学 卒業単位 ○	CCC Global Internship in Canada	卒業単位 ○
ハンズオン・インターンシップ実習	卒業単位 ○	CCC Global Career Seminar in Japan	卒業単位 ○
社会探究実習Ⅰ・Ⅱ (瀬戸内海・豊島環境FW) (広島・江田島平和FW)	卒業単位 ○	CCC Global Career Seminar in Canada	卒業単位 ○
		CCC Cross-Cultural Workshop	卒業単位 ○
平和学特別演習「ヒロシマ」	卒業単位 ○	CCC Field Study in Canadian Business	卒業単位 ○
PBL 特別演習002・003・006・008	卒業単位 ○	「交換留学」「中期留学」「認定留学」 「外国語研修」など各種海外派遣 プログラムに関連する科目	卒業単位 ○
ライフ・キャリア リーダーシップ実習	卒業単位 ○		
その他の科目			
教職に関する科目／教育の基礎的理解に関する科目等			卒業単位 ×
各教科の指導法			卒業単位 ×
学校図書館司書教諭課程関連科目			卒業単位 ×
国際バカロレア教員養成プログラム関連科目			卒業単位 ×
資格科目			卒業単位 ×

3. コース選択

(1) コースの趣旨

各コースは、将来の進路や学習目標を想定して、専門科目を効率的、体系的に学べるように設けられています。法学部生は全員、いずれかのコースへの所属が必要です。

(2) コースの選択（入学年度・学科によって選択できるコースが異なります）

	司法特修	司法	企業法務	公共政策	国際法政	政治システム
法律	○選抜制※	○	○	○	○	×
政治	×	×	×	○	○	○

〈選択方法〉

2年生秋開始。2年生秋学期履修登録時に Web で選択。2年生秋学期に休学、交換留学などでコース選択ができなかった場合は、法学部事務室へ申し出てください。コース変更は3年生秋学期の履修登録期間時に可能です。希望する場合は、法学部事務室へ申し出てください。

※司法特修コースのみ、2年生春開始、定員40名の選抜制コースです。（詳細は、P. 79参照）

※司法特修コースは、コース変更ができません。（1年次秋に説明会を実施します）

(3) コース導入演習

各コースのコアとなる専門科目の基本を少人数ゼミ形式で学びます。コース毎に開講されますが、どのクラスを修得しても最終的に選択したコースのコース科目に算入されます。

〈注意〉

- ① 法律学科生は、政治システムコースの導入演習を履修できません。
- ② 政治学科生は、司法コース・企業法務コースの導入演習を履修できません。
- ③ 司法特修コースの学生は、コース導入演習を履修できません。

(4) コース実践演習

講義科目で得た知識をより深く理解し、実社会で活用できるようになるための演習科目です。実務家メンバーが講師を務め、実践的なテーマで発展的に学習します。

〈注意〉

選択するコース以外のコース実践演習は履修できません。

4. クラス指定科目

言語科目（必修・選択必修）と一部の専門科目は、予め履修クラスが決まっています。1・2年生は自分の指定クラスを『クラス指定表』で確認してください。

必修外国語（英語など）	選択必修外国語
スタートアップ演習	キリスト教学A・B（再履修は指定なし）
民法入門（1・2年生ともクラス指定）	民法総則（1年生はクラス指定）
日本国憲法（2年生はクラス指定）	憲法A（2年生はクラス指定）
ビジネスと法（1・2年生ともクラス指定）	犯罪と法（1・2年生ともクラス指定）
地域政策入門A（1・2年生ともクラス指定）	

〈注意〉

- ① 入学時に選択した選択必修科目の外国語は、途中での変更は一切認めません。
- ② 法学部では、各種語学検定試験による単位認定は一切行っていません。
- ③ クラス指定の外国語科目は、所定期間に手続きをすることで履修中止が可能ですが、春学期に履修中止しても、秋学期には春学期と同じクラスが自動的に登録されます。

5. 申込科目

申込科目とは、Web で本登録を行う前に履修申し込み手続きが必要な授業科目です。

(☞ 申込科目スケジュールは、P. 10～参照)

- | |
|---|
| ① 申込科目は所定の期間しか手続きをすることができません。 |
| ② 申込科目は、一度当選すると取り消し・変更することはできません。 |
| ③ 手続きをしていない申込科目は履修できません。 |
| ④ 必修科目やクラス指定科目と絶対に重複してはいけません。※重複した場合は無効 |

(1) 法学部開講申込科目一覧

法学部開講科目のうち、次の授業科目は所定期間に申し込み手続きが必要です。

申し込みが定員を超えた場合、抽選または選考を行い、選考結果は教学 Web サービスで発表します。

■春学期（通年） 申込科目

授業科目	履修基準年度	クラス定員	複数クラス	備考
人文演習 A	2 年	25	☆	2 年生を優先
キリスト教学演習 A	2 年	20		2 年生を優先
模擬裁判演習	2 年	20		2 年生を優先
英会話（特） I	1 年	25	☆	
英会話（特） II	2 年	25		
英作文（特）	2 年	25		
コース導入演習 ^{※1}	2 年	25	☆	
法政教養演習	2 年	20	☆	2 年生を優先
哲学 A	1 年	400		
心理学 A	1 年	500		
日本文学 A	1 年	500		
言語政策論	2 年	500		2 年生を優先
地域データ分析	2 年	75		経済学部から申し込むこと
地域政策演習 A ^{※2}	2 年	24	☆	
司法実践演習 A	3 年	25	☆	司法コース限定
国際法政実践演習 A1クラス/ 企業法務実践演習 A1クラス	3 年	25		国際法政コース・ 企業法務コース限定
公共政策実践演習 A2クラス ^{※2} / 企業法務実践演習 A2クラス	3 年	25		公共政策コース・ 企業法務コース限定
企業法務実践演習 B	3 年	25		企業法務コース限定
公共政策実践演習 A ^{※2} 1クラス・3クラス	3 年	25	☆	公共政策コース限定
公共政策実践演習 B ^{※2}	3 年	25		公共政策コース限定

授業科目	履修基準年度	クラス定員	複数クラス	備考
◆国内フィールドワーク演習D (公共政策) 1クラス※2	2年	約10		定員を超えた場合は選考
◆法学・政治学グローバル演習D 1クラス	1年	約14		〈タイ〉定員を超えた場合、志望理由書及びGPAで選考
◆議員インターンシップ実習	1年	—		
司法特修実践演習B	3年	20		司法特修コース限定
ケースメソッド民法演習	3年	20		司法特修コース限定
ライティング演習	3年	20	☆	司法特修コース限定
異文化理解	1年	—		
英米文学作品研究Ⅰ	2年	—	☆	教職等関連科目 別途文学部の履修心得参照
英米文学作品研究Ⅱ	3年	—	☆	
英米文学資料研究	3年	—	☆	

■秋学期 申込科目

授業科目	履修基準年度	クラス定員	複数クラス	備考
人文演習B	2年	25	☆	2年生を優先
キリスト教学演習B	2年	20		2年生を優先
基本演習	1年	25	☆	1年生を優先
コース導入演習※ ¹	2年	25	☆	
法政教養演習	2年	20		2年生を優先
哲学B	1年	400		
心理学B	1年	500		商学部から申し込むこと
日本文学B	1年	500		
ジェンダーと法B	2年	500		2年生を優先
関西経済論	2年	500		経済学部から申し込むこと
地域政策演習B※ ²	2年	24	☆	
司法実践演習B	3年	25		司法コース限定
企業法務実践演習B1クラス	3年	25		企業法務コース限定
企業法務実践演習B3クラス	3年	25		企業法務コースで「労働法概論」を修得した者限定
◆国際法政実践演習B4クラス/ ◆企業法務実践演習B4クラス	3年	25		国際法政コース・ 企業法務コース限定
公共政策実践演習B5クラス※ ² / 企業法務実践演習B5クラス	3年	25		公共政策コース・ 企業法務コース限定
公共政策実践演習A※ ²	3年	25		公共政策コース限定
公共政策実践演習B※ ² 2クラス・3クラス	3年	25	☆	公共政策コース限定
政治システム実践演習B1クラス/ 公共政策実践演習B1クラス※ ²	3年	25		政治システムコース・ 公共政策コース限定
◆法学・政治学グローバル演習C 1クラス	1年	約15		〈台湾〉定員を超えた場合は選考
◆法学・政治学グローバル演習D 2クラス	1年	約30		〈アメリカ〉定員を超えた場合は選考
◆議員インターンシップ実習	1年	—		
民事訴訟法発展演習	2年	20		司法特修コース限定・定員を超えた 場合 GPA で選考
司法特修実践演習A	2年	20		司法特修コース限定・定員を超えた 場合 GPA で選考
司法特修実践演習C・D	3年	20		司法特修コース限定・定員を超えた 場合 GPA で選考
異文化理解	1年	—		
英米文学作品研究Ⅰ	2年	—	☆	教職等関連科目 別途文学部の履修心得参照
英米文学作品研究Ⅱ	3年	—	☆	
英米文学資料研究	3年	—	☆	

☆印は、複数クラス開講されていることを示します。

※1 学科によって履修できないクラスがあります (P.36参照)

※2 経済学部との合同科目です。

◆印の科目は、受付期間・方法が通常とは異なります。詳細は法学部の掲示等を参照してください。

議員インターンシップ実習

履修単位数制限外の科目です。春学期の履修希望者は4月1日(水)～4月15日(水)16時50分の期間に法学部事務室で申し込み手続きを行ってください。秋学期の履修希望者は9月23日(水)～10月8日(木)16時50分の期間に法学部事務室で申し込み手続きを行ってください。卒業直前の学期はエントリーできません。履修登録及び単位認定できるのは1回限りです。

国内フィールドワーク演習D (公共政策) 1クラス (通年: 担当山下先生)

履修希望者は4月1日(水)～4月9日(木)16時50分の期間に法学部事務室で申し込み手続きを行ってください。履修者発表は4月13日(月)です。

法学・政治学グローバル演習C・D (春学期: タイ 秋学期: 台湾、アメリカ)

履修単位数制限外の科目です。クラス(渡航先)によって、受付期間・方法が異なります。詳細は決定次第、法学部の掲示等で発表します。

※当該学期に卒業する者は、渡航時期の関係で卒業判定の単位に含めることはできません。

〈注意〉

- ① 上記に記載されていない以外でも、さまざまな事情で申込科目が変わる場合があります。変更が発生した場合は、掲示等でお知らせします。
- ② 各学部が開講する申込科目は、個別各学部で確認してください。
- ③ 全学開講科目の申込方法は、「Ⅲ 全学開講科目 (P.50～)」を参照してください。

(2) 再履修登録

① 言語科目 (必修・選択必修) の再履修

単位を修得できず再履修となる場合は、翌学期に自動的に登録されます。学期開始時に各自で教学 Web の履修画面を確認して、登録されている授業を受講してください。学期開始時に、再履修対象の科目が登録されていない場合は、法学部事務室へ個別問い合わせてください。

外国語インテンシブ・プログラム、必修日本語、基礎英語の再履修については法学部事務室へ個別問い合わせてください。

② キリスト教学 A・B の再履修

1年生の指定クラス(1・2クラス)と再履修クラス(3クラス)があります。再履修者はどのクラスを履修しても構いません。履修登録期間に Web で登録してください。

キリスト教学は、A・B同時履修を認めています。春学期にAを修得できなくても、秋学期にA・Bを同時に履修することができます。

③ スタートアップ演習

予め再履修クラスが指定されるため、自身で登録する必要はありません。再履修の場合は、秋学期の再履修クラスを受講しなければなりません。

(3) 言語科目のクラス変更

次の場合に限り、言語科目の指定クラスを変更することが可能です。該当者は所定期間に法学部事務室に申し出てください。ただし、言語科目の開講状況により変更が難しい場合があります。

- ①司法特修コースに所属しており、司法特修コースの演習科目と、言語科目の指定クラスが重複した場合。
- ②司法特修コース所属で法曹養成連携プログラムに登録しており、法曹養成連携プログラム指定科目と、言語科目の指定クラスが重複した場合。

(4) 英語の同時履修

法学部では、英語のA・B同時履修はできません。ただし、次の場合に限り、履修単位数制限を超えない範囲で英語A・Bの同時履修登録を認めます。該当者は授業開始迄に法学部事務室に申し出てください。

① 2年生以上

→ 研究演習Ⅰの履修希望者で、秋学期に同時履修することにより先修条件充足見込みとなる場合。

② 4年生以上

→ 3月卒業をめざす者で、秋学期に同時履修することにより卒業見込みとなる場合。

→ 9月卒業をめざす者で、春学期に同時履修することにより卒業見込みとなる場合。

6. 先修条件

履修にあたり、その内容や段階に応じて一定の条件が設けられている科目があります。この条件を「先修条件」といいます。先修条件が設けられている授業科目は次のとおりです。(○数字が記載しているものは、いずれかを満たすことが条件となります)

系 列	授 業 科 目	左の授業科目を履修するための先修条件
基 礎 科 目 群	英語Ⅱ甲A 英語Ⅱ甲B	英語Ⅰ甲Aおよび英語Ⅰ甲B
	英語Ⅱ乙A 英語Ⅱ乙B	英語Ⅰ乙Aおよび英語Ⅰ乙B
	入門英語ⅡA	入門英語ⅠA（2単位）
	入門英語ⅡB	入門英語ⅠB（2単位）
	基礎英語Ⅱ甲A 基礎英語Ⅱ甲B	基礎英語Ⅰ甲Aおよび基礎英語Ⅰ甲B
	基礎英語Ⅱ乙A 基礎英語Ⅱ乙B	基礎英語Ⅰ乙Aおよび基礎英語Ⅰ乙B

系 列	授 業 科 目	左の授業科目を履修するための先修条件
基 礎 科 目 群	フランス語 A II	フランス語 A I
	フランス語 B II	フランス語 B I
	フランス語 A III フランス語 B III	フランス語 A II およびフランス語 B II
	フランス語 A IV	フランス語 A III
	フランス語 B IV	フランス語 B III
	ドイツ語 A II	ドイツ語 A I
	ドイツ語 B II	ドイツ語 B I
	ドイツ語 A III ドイツ語 B III	ドイツ語 A II およびドイツ語 B II
	ドイツ語 A IV	ドイツ語 A III
	ドイツ語 B IV	ドイツ語 B III
	中国語 II	中国語 I
	中国語 III	中国語 II
	中国語 IV	中国語 III
	朝鮮語 II	朝鮮語 I
	朝鮮語 III	朝鮮語 II
	朝鮮語 IV	朝鮮語 III
	スペイン語 II	スペイン語 I
	スペイン語 III	スペイン語 II
	スペイン語 IV	スペイン語 III
	日本語 II	日本語 I
	日本語 III	日本語 II
	日本語 IV	日本語 III
	インテンシブ・イングリッシュ※	①スプリング・インテンシブ・イングリッシュ ②英語 I 甲 A・I 乙 A (2単位) ③入門英語 I A・I B (2単位)
フランス語インテンシブ初級 I ※	フランス語 A I およびフランス語 B I	
ドイツ語インテンシブ初級 I ※	ドイツ語 A I およびドイツ語 B I	
フランス語インテンシブ初級 II ※	フランス語インテンシブ初級 I	
ドイツ語インテンシブ初級 II ※	ドイツ語インテンシブ初級 I	

※ 外国語インテンシブ・プログラムの詳しい先修条件は、言語教育研究センターが発行する冊子を参照してください。

系 列	授 業 科 目	左の授業科目を履修するための先修条件
教職等関連科目	英語（特）Ⅲ	①英語Ⅱ甲A・Bおよび英語Ⅱ乙A・B ②入門英語ⅡA（2単位）および 入門英語ⅡB（2単位） ③インテンシブ・イングリッシュ（6単位）
	英会話（特）Ⅱ	英会話（特）Ⅰ
専門科目群	法学研究演習Ⅰ 政治学研究演習Ⅰ 法政文化研究演習Ⅰ	(a) 2カ年以上（休学期間を除く）在学 (b) 言語科目の必修科目から4単位。 (c) 言語科目の選択必修科目から4単位。 (d) 専門科目群の授業科目のうち次の科目 i 専門導入科目6単位 ただし、政治学科生は政治学入門A又はB2単位を含む。 ii スタートアップ演習2単位 iii 法律学科生は専門基幹科目の実定法科目4単位 (e) 上記以外に履修基準年度が1年および2年の科目より法律学科生は22単位以上。政治学科生は26単位以上。 <注意> 以下の学生については、法学部内規を確認してください。 ・編入学生 ・外国人留学生入学試験を受けて入学した学生
	法学研究演習Ⅱ	法学研究演習Ⅰ※
	政治学研究演習Ⅱ	政治学研究演習Ⅰ※
	法政文化研究演習Ⅱ	法政文化研究演習Ⅰ※

※研究演習Ⅰと異なる担当者の研究演習Ⅱは履修できません。

7. 専門導入科目の履修制限

専門導入科目は、専門科目を学ぶにあたっての基礎的な科目です。

「研究演習Ⅰ」を履修登録した年度以降は、専門導入科目を履修することができません。

法律 学科	現代の人権	ビジネスと法	国際社会と法	犯罪と法
	法のしくみと考え方	地域政策入門A	地域政策入門B	
政治 学科	現代の人権	国際社会と法	政治学入門A	政治学入門B
	地域政策入門A	地域政策入門B		

8. ペア履修科目

法学部開講科目のうち以下の科目は、週2コマまたは3コマ履修登録しなければならない授業科目です。曜日時限は時間割で確認してください。

週2コマ	スタートアップ演習（初回に配付する授業スケジュールに従うこと）		
	中国語Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ	朝鮮語Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ	スペイン語Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ
	民法総則	債権総論	債権各論
	物権法	民事訴訟法	会社法A
	有価証券法	法学研究演習Ⅰ （伊勢田先生クラス）	政治学研究演習Ⅰ （武藤先生クラス）
	日本語Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ	スプリング・インテンシブ・ イングリッシュ	ドイツ語インテンシブ 初級Ⅲ・中級
	フランス語インテンシブ 初級Ⅲ・中級		
週3コマ	インテンシブ・イングリッシュ	ドイツ語インテンシブ 初級Ⅰ・Ⅱ	フランス語インテンシブ 初級Ⅰ・Ⅱ

9. 専門科目のナンバリング

法学部では、専門科目群の体系的性と難易度を分かり易く示すために、教育課程表の「専門教育科目」の科目左にコード番号をナンバリングしています。各コード番号の位置づけは下表のとおりです。ナンバリングを参考に体系的な履修登録を行ってください。

コード番号	位置付け
100	法律学・政治学を学ぶ上でのスタディ・スキルを身につける科目
200・250	法律学・政治学を学ぶ上での基礎知識を身につける科目
300・350	法律学・政治学を学ぶ上での応用的要素の強い科目
400・450	300番台よりもさらに応用的要素の強い科目
500	大学院開設科目と連携して開講する科目

10. 留学プログラム、外国語インテンシブ・プログラム等 履修上の注意

※留学における履修上の注意

留学する学期は、履修登録することができません。留学した時点で履修登録が自動的に削除されます（秋学期に留学する場合は、通年科目も削除されます）。

(1) 中期留学（英語・フランス語・ドイツ語・スペイン語）

留学前に語学必修単位（8単位）を満たしていない場合、中期留学で修得した単位を法学部の必修単位としてカウントすることができます。中期留学で修得できる単位数は、参加するプログラムによって異なります。

☞ 詳細は国際教育・協力センターが発行する冊子を参照してください。
ドイツ語中期留学は文学部開講のプログラムです。

(2) 国連ユースボランティア、国際社会貢献活動

「国連ユースボランティア」または「国際社会貢献活動」に参加する学生は、国際教育・協力センター発行の冊子で明記する単位認定に加え、法学部の国際法政コースの「コース科目」としても単位認定を受けることができます。

「コース科目」として単位認定を受けるためには、出国前に法学部で説明を受け、プログラム完遂後に法学部へ報告レポートを提出することが必要です。

派遣が決定次第、法学部事務室に申し出てください。

〈留学等から帰学した学生に対する履修の弾力化〉

大学・学部が実施する交換留学・長期留学（学部科目履修型）・認定留学、中期留学、中期海外インターンシッププログラム、国際ボランティア等から帰学した学期の履修は、原則として認められません。ただし、以下の科目については特例措置を設けています。

■通年科目

学部が特に認めた通年科目に限り、原則としてその年度の5月末までに帰学し、学部が定める履修指導を受けることを条件として、当該科目の履修を許可する。

■春・秋学期後半開講科目

帰学した学期の後半開講科目については、当該学生が全学授業日程に出席可能であることを条件として、帰学の時期を問わず、履修を許可する。

■集中講義科目

帰学した学期の集中講義科目については、当該学生が全授業日程に出席可能であることを条件として、帰学の時期を問わず、履修を許可する。

上記科目の履修を希望する学生は、所定の期間に自ら履修登録を行った上で、帰国後速やかに法学部事務室にて所定の手続を取らなければなりません。

(3) 入門英語

入学前に受験する英語プレースメントテスト（GTEC）の結果によって入門英語を履修することになった場合、必修科目は以下のとおりです。

1年春	入門英語ⅠA（1単位）・入門英語ⅠB（1単位）
1年秋	入門英語ⅠA（1単位）・入門英語ⅠB（1単位）
2年春	入門英語ⅡA（1単位）・入門英語ⅡB（1単位）
2年秋	入門英語ⅡA（1単位）・入門英語ⅡB（1単位）

入門英語から学部レギュラークラスの英語に移動を希望する場合、以下の手続きが必要です。詳細は法学部事務室へ問い合わせてください。なお、申請の結果、希望が通らないこともあります。

申請時期：1年次の秋学期成績発表日から2月末まで

申請書類：①移動申請書 ②入門英語の担当教員からの推薦書

※学部レギュラークラスの英語を履修する者が入門英語に移動することはできません。

(4) 外国語インテンシブ・プログラム

外国語インテンシブ・プログラムに登録した場合、必修・選択必修科目は以下のとおりです。また、インテンシブ・イングリッシュに進んだ者は、学部の英語コースに戻ることはできません。

☞ 詳細は言語教育研究センターが発行する冊子を参照してください。

■英語インテンシブ・プログラム（8単位）

1年春	英語 I 甲 A（1単位）・英語 I 乙 A（1単位）または スプリング・インテンシブ・イングリッシュ（2単位）
1年秋	インテンシブ・イングリッシュ（3単位）
2年春	インテンシブ・イングリッシュ（3単位）

■フランス語／ドイツ語インテンシブ・プログラム（8単位）

1年春	フランス語 A I・B I（各1単位）または ドイツ語 A I・B I（各1単位）
1年秋	フランス語インテンシブ初級 I※（3単位）または ドイツ語インテンシブ初級 I※（3単位）
2年春	フランス語インテンシブ初級 II（3単位）または ドイツ語インテンシブ初級 II（3単位）

※初級 I が不合格になった場合は、通常の学部コースに戻り、A II・B II から履修しなければなりません。

11. 他学部履修

関西学院大学では総合大学の特色を活かし他学部が開講する授業科目も履修することができます。他学部履修によって修得した単位は、他学部開設科目の単位として、卒業必要単位数に算入できます。

シラバス（授業実施要綱）および授業時間割に「十」の印がついている他学部の授業科目は履修できません。ただし、MS プログラム履修生はこの限りではありません。

キャンパス間移動が伴う場合の履修制限

神戸三田キャンパスまたは西宮聖和キャンパスの授業科目を履修する場合、移動時間の関係で西宮上ヶ原キャンパスの履修が以下のとおり制限されます。

		西宮上ヶ原				
		I	II	III	IV	V
神戸三田	I 時限 履修	×	×	○	○	○
	II 時限 履修	×	×	×	○	○
	III 時限 履修	○	×	×	×	○
	IV 時限 履修	○	○	×	×	×
	V 時限 履修	○	○	○	×	×

		西宮上ヶ原				
		I	II	III	IV	V
西宮聖和	I 時限 履修	×	○	○	○	○
	II 時限 履修	○	×	○	○	○
	III 時限 履修	○	○	×	×	○
	IV 時限 履修	○	○	×	×	×
	V 時限 履修	○	○	○	×	×

12. 同一名称科目等

(1) 同一名称科目

左科目（旧科目）の単位を既に修得している場合、右科目（新科目）は履修できません。

2012年度以前科目		2013年度以降科目	
旧科目名	単位数	新科目名	単位数
基礎国際経済政策	2	国際経済政策	2
応用国際経済政策	2	中級国際経済政策	2
法学教養演習A・B	2	法政教養演習	2
国連学生ボランティア演習	4	国連ユースボランティア演習	4

2013年度以前科目		2014年度以降科目	
旧科目名	単位数	新科目名	単位数
司法特別演習A・B・C	2	司法実践演習A	2
司法特別演習D	2	司法実践演習B	2
ビジネス法務特別演習A	2	企業法務実践演習A	2
ビジネス法務特別演習B	2	企業法務実践演習B	2
公共政策特別演習A	2	公共政策実践演習A	2
公共政策特別演習B	2	公共政策実践演習B	2
国際関係特別演習A	2	国際法政実践演習A	2
国際関係特別演習B	2	国際法政実践演習B	2
地域政策特別演習A	2	公共政策実践演習A	2
地域政策特別演習B	2	公共政策実践演習B	2
政治システム特別演習A	2	政治システム実践演習A	2
政治システム特別演習B	2	政治システム実践演習B	2

2017年度以前科目		2018年度以降科目	
旧科目名	単位数	新科目名	単位数
学習心理学	2	学習心理学（学習・言語心理学）	2

2019年度以前科目		2020年度以降科目	
旧科目名	単位数	新科目名	単位数
公共政策論A	2	公共政策論	2
公共政策論B	2		

(2) その他 他学部履修不可科目

他学部開講の授業科目のうち、「+」印のついている科目以外に、次の科目は法学部開講科目と名称が同一、内容が同一、その他の理由で履修できません。

開講学部	授 業 科 目
神 学 部	日本国憲法、政治学原論A、国際政治論A
文 学 部	日本国憲法、政治学原論A、国際政治論A
社 会 学 部	仕事と法、日本国憲法、政治学原論A、国際政治論A、公共政策論、NPO／NGOの社会学
経 済 学 部	民法A・B、商法A・B、日本国憲法、政治学原論A、国際政治論A、財政学A・B、社会保障論A・B
商 学 部	民法A・B、企業法入門、会社法、国際経済論、法学A・B、政治学A・B、ビジネスエコノミクスI・II、日本国憲法、政治学原論A、国際政治論A、経済学基礎、国際取引法I・II、国際経済政策論
理 工 学 部	法学、経済学、日本国憲法、社会学
総合政策学部	経済学概論、企業法論、行政法、財政学、経済地理学、国際経済学、国際法、政治学概論、法学概論、行政学、国際政治学、日本国憲法、経営学、政策評価論、環境法、言語政策論、国際機構論、国際協力論、環境経済学、社会学概論、心理学概論、論理学、社会保障論
人間福祉学部	法学、政治学、経済学、日本国憲法、NPO論、財政と社会保障、自治体経営論、芸術（音楽）、芸術（美術）、社会学、心理学、統計学
教 育 学 部	現代社会と法、日本国憲法、数理の科学
国 際 学 部	哲学・思想基礎、政治学基礎、国際法基礎、国際紛争論、経済学基礎、日本国憲法、現代国際法、国際政治経済論、環境経済学、経営学基礎、表象文化論、外交政策論、英米文学概論、簿記基礎、アメリカの政治、韓国の政治と外交、中国の政治と外交

(3) 重複履修

既に単位を修得した授業科目を再び履修することはできませんが、次の科目は例外です。

① 法学・政治学特講A・B

科目名称の記号にかかわらず、講義内容が異なる場合は重複して履修できます。

② 法学・政治学外書講読

語種が異なる場合は重複して履修することができます。

③ 選択専門演習A・B

科目名称の記号にかかわらず、講義内容が異なる場合は重複して履修できます。

④ イギリス文学特殊講義・アメリカ文学特殊講義・英米文学作品研究I・II・

英米文学資料研究・実践英語学特殊講義

一度単位を修得した科目でも、再び履修することができます。

13. 資格関連科目

(1) 教職課程

教職関連科目については、『法学部授業時間割』に記載された科目を登録してください（他学部時間割記載の科目は登録できません）。他学部で同じ名称の科目が開講されている場合もありますが、免許状取得のための「教科に関する科目（2018年度以前入学生）」、「教科に関する専門的事項（2019年度以降入学生）」としては認められませんので、十分確認のうえ履修登録してください。詳細は、『教職課程等履修要項』を参照してください。

(2) 博物館学芸員課程

(3) 社会教育主事課程

☞ 詳細は『教職課程等履修要項』を参照

2014年度以降入学生は社会教育主事資格の取得不可

(4) 学校図書館司書教諭資格

(5) 国際バカロレア教員養成プログラム

※履修にあたっては、事前申込等が必要な科目がありますので注意してください。

「教育実習A」、「教育実習B」、「博物館実習」、「教職実践演習（中・高）」

「教職免許状取得のための他学部（他学科）履修」等

14. 隔年開講科目

次の授業科目は原則として隔年で開講される予定です。（○：開講 ×：不開講）

授業科目	2020年度	2021年度	2022年度
環 境 法	○	×	○
社 会 保 障 法	×	○	×
イスラームの法と社会	×	○	×

Ⅲ 全学開講科目

2020年度 全学科目 開講一覧・予備登録（申込み）について

2020年度の全学科目の開講は以下のとおりです。

履修登録については、下記とともに、P.59以降の履修上の注意または各窓口発行の冊子をよく確認してください。

担当窓口の略称は以下のとおり

共通教育センター（教務機構）…共通

スポーツ科学・健康科学教育プログラム室（教務機構）…スポ

言語教育研究センター（教務機構）…言セン

ハンズオン・ラーニングセンター…HoLC

国際教育・協力センター、日本語教育センター…CIEC

国連・外交統括センター…国連・外交

◎申込方法

A	Web での予備登録のみ	日程：春学期 4/ 1(水) 8:50~4/ 3(金) 16:50 発表：4/ 6(月) 8:50 秋学期 9/10(木) 9:00~9/11(金) 16:50 発表：9/16(水) 8:50
B	Web での予備登録 + 担当窓口への英語要件スコア原本持参	スコア原本持参期間は Web 予備登録と同じ ※スコアを事前登録済（自動登録も含む）の 学生は Web での予備登録のみで可
■	別日程での申し込み期間は 各要項で確認（右記） 配布は学部事務室・各窓口	担当窓口： 言セン…『Language Programs 2020 インテンシブ・プログラムと言語学習のすすめ』 HoLC…教学 Web、各科目個別の募集要項にてお知らせ 国連・外交…教学 Web、各科目個別の募集要項等で案内
空白	Web 本登録・修正期間に Web 登録	

- * 注意事項に※のあるものは、P.59以降の「全学科目申込・履修についての諸注意」を確認してください。
- * 予備登録科目について、定員に満たないクラス等で追加受付を行う場合がありますので、スケジュール、教学 Web を適宜確認してください。
- * 担当窓口 言セン、HoLC については、必ず担当窓口発行の要項（上記表）を確認してください。
- * CIEC 提供科目および海外留学プログラムについては『国際教育・協力プログラム募集要項』を参照してください。

春学期開講科目

春 言語教育科目

申込方法	注意事項	担当窓口	科目名	クラス	開講期	単位	履修基準年度	英語実施	開講場所	受講者数制限	特記事項
■		言セ	入門英語ⅠA	1~10	春	1	1	◎	上ケ原・三田	25	クラス指定あり
■		言セ	入門英語ⅠB	1~10	春	1	1	◎	上ケ原・三田	25	クラス指定あり
■		言セ	入門英語ⅡA	1~10	春	1	2	◎	上ケ原・三田	25	クラス指定あり
■		言セ	入門英語ⅡB	1~10	春	1	2	◎	上ケ原・三田	25	クラス指定あり
■		言セ	スプリング・インテンシブ・イングリッシュ	1~5	春	2	1	◎	西宮上ケ原	25	選考あり(入学前)
■		言セ	インテンシブ・イングリッシュ	31~60	春	3	1	◎	西宮上ケ原	25	選考あり
A		言セ	Skills-based English (Basic)	1~7	春	1	1	◎	上ケ原・三田	25	
A		言セ	Skills-based English (Speaking & Listening)	1~2	春	2	1	◎	西宮上ケ原	25	
B		言セ	Skills-based English (Speaking & Listening) L1	1	春	2	1	◎	西宮上ケ原	25	英語要件あり
B		言セ	Skills-based English (Speaking & Listening) L2	1	春	2	1	◎	西宮上ケ原	25	英語要件あり
B		言セ	Skills-based English (Speaking & Listening) L3	1	春	2	1	◎	西宮上ケ原	25	英語要件あり
B		言セ	Skills-based English (Writing) L1	1	春	1	1	◎	西宮上ケ原	20	英語要件あり
B		言セ	Skills-based English (Writing) L3	1	春	1	1	◎	西宮上ケ原	20	英語要件あり
B		言セ	Skills-based English (Reading) L1	1	春	1	1	◎	西宮上ケ原	25	英語要件あり
B		言セ	Skills-based English (Reading) L3	1	春	1	1	◎	西宮上ケ原	25	英語要件あり
B		言セ	Skills-based English (Academic) L3	1~2	春	2	1	◎	上ケ原・三田	25	英語要件あり
B		言セ	Skills-based English (Academic) L4	1	春	2	1	◎	西宮上ケ原	25	英語要件あり
B		言セ	Skills-based English (Business A) L2	1~2	春	1	1	◎	上ケ原・三田	25	英語要件あり
B		言セ	Skills-based English (Business B) L2	1	春	1	1	◎	西宮上ケ原	25	英語要件あり
A		言セ	Skills-based English (TOEFL)	1~2	春	1	1	◎	上ケ原・三田	25	
B		言セ	Skills-based English (TOEFL) L2	1~2	春	1	1	◎	西宮上ケ原	25	英語要件あり
A		言セ	Skills-based English (TOEIC)	1~4	春	1	1	◎	上ケ原・三田	25	
B		言セ	Skills-based English (TOEIC) L2	1	春	1	1	◎	西宮上ケ原	25	英語要件あり
A		言セ	Skills-based English (IELTS)	1~3	春	1	1	◎	上ケ原・三田	25	
A		言セ	Special English Seminar	1	春集中	1	1	◎	西宮上ケ原	75	9/7~11の5日間 予備日9/12
■		言セ	フランス語インテンシブ初級Ⅱ	1~3	春	3	2		西宮上ケ原	約20	履修要件あり
■		言セ	フランス語インテンシブ初級Ⅲ	1	春	2	2		西宮上ケ原	約20	履修要件あり
■		言セ	フランス語インテンシブ中級	1	春	2	3		西宮上ケ原	約20	履修要件あり
■		言セ	ドイツ語インテンシブ初級Ⅱ	1~2	春	3	2		西宮上ケ原	約20	履修要件あり
■		言セ	ドイツ語インテンシブ初級Ⅲ	1	春	2	2		西宮上ケ原	約20	履修要件あり
■		言セ	ドイツ語インテンシブ中級	1	春	2	3		西宮上ケ原	約20	履修要件あり
A		言セ	基礎フランス語Ⅰ	1~2	春	1	1		西宮上ケ原	40	
		言セ	基礎フランス語Ⅲ	1	春	1	1		西宮上ケ原	—	履修要件あり
		言セ	フランス語アラカルト(読む)	1	春	1	2		西宮上ケ原	—	
		言セ	フランス語アラカルト(書く)	1	春	1	2		西宮上ケ原	—	
A		言セ	フランス語アラカルト(聞く・話す)A	1~2	春	1	1		西宮上ケ原	30	
		言セ	フランス語アラカルト(聞く・話す)B	1	春	1	1		西宮上ケ原	—	
		言セ	フランス語アラカルト(聞く・話す)C	1	春	1	1		西宮上ケ原	—	
		言セ	基礎ドイツ語Ⅰ	1	春	1	1		西宮上ケ原	—	
		言セ	基礎ドイツ語Ⅲ	1	春	1	1		西宮上ケ原	—	履修要件あり
		言セ	ドイツ語アラカルト(読む)	1	春	1	2		西宮上ケ原	—	
		言セ	ドイツ語アラカルト(書く)	1	春	1	2		西宮上ケ原	—	
		言セ	ドイツ語アラカルト(聞く・話す)A	1	春	1	1		西宮上ケ原	—	
		言セ	ドイツ語アラカルト(聞く・話す)B	1	春	1	1		西宮上ケ原	—	
		言セ	ロシア語初級Ⅰ	1	春	1	1		西宮上ケ原	—	
		言セ	ロシア語初級Ⅲ	1	春	1	1		西宮上ケ原	—	履修要件あり
		言セ	イタリア語初級Ⅰ	1~4	春	1	1		西宮上ケ原	—	
		言セ	イタリア語初級Ⅱ	1	春	1	1		西宮上ケ原	—	履修要件あり
		言セ	イタリア語初級Ⅲ	1	春	1	1		西宮上ケ原	—	履修要件あり
		言セ	スペイン語初級Ⅰ	1~2	春	1	1		西宮上ケ原	—	
		言セ	スペイン語初級Ⅲ	1	春	1	1		西宮上ケ原	—	履修要件あり
		言セ	スペイン語中級	1	春	1	1		西宮上ケ原	—	履修要件あり
		言セ	ポルトガル語初級Ⅰ	1	春	1	1		西宮上ケ原	—	
		言セ	ポルトガル語初級Ⅲ	1	春	1	1		西宮上ケ原	—	履修要件あり
		言セ	アラビア語初級Ⅰ	1	春	1	1		西宮上ケ原	—	
		言セ	アラビア語初級Ⅱ	1	春	1	1		西宮上ケ原	—	履修要件あり
		言セ	基礎中国語Ⅰ	1~2	春	1	1		西宮上ケ原	—	
		言セ	基礎中国語Ⅲ	1	春	1	1		西宮上ケ原	—	履修要件あり
		言セ	中国語中級	1~2	春	1	1		西宮上ケ原	—	履修要件あり
		言セ	朝鮮語初級Ⅰ	1~4	春	1	1		西宮上ケ原	—	
		言セ	朝鮮語初級Ⅲ	1~2	春	1	1		西宮上ケ原	—	履修要件あり
		言セ	インドネシア語初級Ⅰ	1~2	春	1	1		西宮上ケ原	—	
		言セ	インドネシア語初級Ⅲ	1	春	1	1		西宮上ケ原	—	履修要件あり
A		言セ	日本語初級Ⅰ	1	春	1	1		西宮上ケ原	16	
A		CIEC	ビジネス日本語A	1	春	1	3		西宮上ケ原	15	留学生対象/「日本語科目履修案内」参照
A		CIEC	ビジネス日本語B		春	1	3		西宮上ケ原	15	留学生対象/「日本語科目履修案内」参照
A		CIEC	ビジネス日本語C	1	春	1	3		西宮上ケ原	15	留学生対象/「日本語科目履修案内」参照

春 スポーツ科学・健康科学科目 (P. 59以降の「全学科目申込・履修についての諸注意」を必ず確認すること)												
申込方法	注意事項	担当窓口	科目名	コース名・副題	クラス	代表者／コーディネータ	単位	履修基準年度	曜日・時間	開講場所	受講者数制限	特記事項
A		スポ	スポーツ科学講義A	野球の科学	1	中山 柁一	2	1	金1	西宮上ヶ原	200	
A		スポ	健康科学講義A	心と健康	1	永石 高敏	2	1	月5	西宮上ヶ原	200	
A		スポ	体育方法学講義C	体育講義	1	笹場 育子	2	1	火1	西宮上ヶ原	200	
A		スポ	体育方法学講義C	体育講義 KSC	2	山下 伸一	2	1	水1	神戸三田	200	
A		スポ	スポーツ科学演習A	卓球	1	高島 規郎	2	1	木1	西宮上ヶ原	30	
A		スポ	スポーツ科学演習A	卓球	2	高島 規郎	2	1	木2	西宮上ヶ原	30	
A		スポ	スポーツ科学演習A	卓球	3	高島 規郎	2	1	木3	西宮上ヶ原	30	
A		スポ	スポーツ科学演習A	バドミントン	21	仲田 秀臣	2	1	木2	西宮上ヶ原	30	
A		スポ	スポーツ科学演習A	バドミントン	22	仲田 秀臣	2	1	木3	西宮上ヶ原	30	
A		スポ	スポーツ科学演習C	フットサル	1	森 祐貴	2	1	月2	西宮上ヶ原	30	
A		スポ	スポーツ科学演習C	ソフトボール	11	浦田 達也	2	1	火3	西宮上ヶ原	30	
A		スポ	スポーツ科学演習C	ソフトボール	12	中山 柁一	2	1	金2	西宮上ヶ原	30	
A		スポ	スポーツ科学演習D	バスケットボール	1	浦田 達也	2	1	火2	西宮上ヶ原	30	
A		スポ	スポーツ科学演習D	バスケットボール	2	山本 浩二	2	1	金2	西宮上ヶ原	30	
A		スポ	スポーツ科学演習E	バレーボール	11	森 祐貴	2	1	月1	西宮上ヶ原	30	
A		スポ	スポーツ科学演習E	格技	1	山本 浩二	2	1	金3	西宮上ヶ原	30	
A		スポ	スポーツ科学演習F	水泳・水球	1	川上 光宣	2	1	火3	西宮上ヶ原	30	
A		スポ	健康科学演習A	フィットネス	1	笹場 育子	2	1	水1	西宮上ヶ原	30	
A		スポ	健康科学演習C	ニュースポーツ	1	林 直也	2	1	水2	西宮上ヶ原	30	
A		スポ	体育方法学演習C	体育実技	1	森 祐貴	2	1	月3	西宮上ヶ原	35	
A		スポ	体育方法学演習C	体育実技	2	佐藤 博信	2	1	木1	西宮上ヶ原	35	
A		スポ	体育方法学演習C	体育実技	3	中山 柁一	2	1	金3	西宮上ヶ原	35	
A		スポ	体育方法学演習C	体育実技 KSC	4	木谷 織信	2	1	火1	神戸三田	35	
A		スポ	体育方法学演習C	体育実技 KSC	5	木谷 織信	2	1	火2	神戸三田	35	
A		スポ	体育方法学演習C	体育実技 KSC	6	木谷 織信	2	1	火3	神戸三田	35	
A		スポ	体育方法学演習C	体育実技 KSC	7	山下 伸一	2	1	水2	神戸三田	35	
A		スポ	体育方法学演習C	体育実技 KSC	8	山下 伸一	2	1	水3	神戸三田	35	
A		スポ	体育方法学演習C	体育実技 KSC	9	溝畑 潤	2	1	金1	神戸三田	35	
A		スポ	体育方法学演習C	体育実技 KSC	10	溝畑 潤	2	1	金2	神戸三田	35	
A		スポ	体育方法学演習C	体育実技 KSC	11	溝畑 潤	2	1	金3	神戸三田	35	
A		スポ	余暇生活学演習C	夏期アウトドア (キャンプ)	1~2	林 直也	2	1	集中	西宮上ヶ原・ 学外	40 (各20)	4月~7月に2回事前授業あり 8月実施

春 情報科学科目 (P. 59以降の「全学科目申込・履修についての諸注意」を必ず確認すること)											
申込方法	注意事項	担当窓口	科目名	クラス	代表者／コーディネータ	単位	履修基準年度	曜日・時間	開講場所	受講者数制限	特記事項
A		共通	コンピュータ基礎	1	岩田 一男	2	1	水1	西宮上ヶ原	78	
A		共通	コンピュータ基礎	2	岩田 一男	2	1	水2	西宮上ヶ原	78	
A		共通	コンピュータ基礎	3	岩田 一男	2	1	水3	西宮上ヶ原	78	
A		共通	コンピュータ基礎	4	古隅 弘樹	2	1	火1	西宮上ヶ原	78	
A		共通	コンピュータ基礎	5	西本 実苗	2	1	火3	西宮上ヶ原	78	
A		共通	コンピュータ基礎	6	西本 実苗	2	1	火4	西宮上ヶ原	78	
A		共通	コンピュータ基礎	7	西本 実苗	2	1	火5	西宮上ヶ原	78	
A		共通	コンピュータ基礎	8	玉本 拓郎	2	1	水4	西宮上ヶ原	78	
A		共通	コンピュータ基礎	9	橋本 幸枝	2	1	金4	西宮上ヶ原	78	
A		共通	コンピュータ基礎	10	後藤 達也	2	1	水5	西宮上ヶ原	78	
A		共通	コンピュータ基礎	11	谷村 要	2	1	金5	西宮上ヶ原	78	
A		共通	コンピュータ基礎	12	近藤 晶子	2	1	火2	西宮上ヶ原	78	
A		共通	コンピュータ実践 (表計算)	1	玉本 拓郎	2	1	水5	西宮上ヶ原	30	
A		共通	コンピュータ実践 (表計算)	2	谷村 要	2	1	金3	西宮上ヶ原	30	
A		共通	コンピュータ実践 (表計算)	3	森際 孝司	2	1	月5	西宮上ヶ原	30	
A		共通	コンピュータ実践 (表計算)	4	周防 節雄	2	1	木4	西宮上ヶ原	30	
A		共通	コンピュータ実践 (表計算)	5	島野 達雄	2	1	月2	西宮上ヶ原	30	
A		共通	コンピュータ実践 (表計算)	6	島野 達雄	2	1	月3	西宮上ヶ原	30	
A		共通	コンピュータ実践 (表計算)	7	島野 達雄	2	1	水3	西宮上ヶ原	30	
A		共通	コンピュータ実践 (表計算)	8	内田 啓太郎	2	1	火2	西宮上ヶ原	30	
A		共通	コンピュータ実践 (表計算)	9	箱井 英寿	2	1	金1	西宮上ヶ原	30	
A		共通	コンピュータ実践 (表計算)	10	高田 茂樹	2	1	木2	西宮上ヶ原	30	
A		共通	コンピュータ実践 (表計算)	11	高田 茂樹	2	1	木3	西宮上ヶ原	30	
A		共通	コンピュータ実践 (データ分析)	1	周防 節雄	2	1	木3	西宮上ヶ原	30	
A		共通	コンピュータ実践 (データ分析)	2	箱井 英寿	2	1	金2	西宮上ヶ原	30	
A		共通	コンピュータ実践 (データ分析)	3	池田 瑞穂	2	1	木4	西宮上ヶ原	30	
A		共通	プログラミング言語基礎 (ActionScript)	1	鍵本 聡	2	1	水4	西宮上ヶ原	30	
A		共通	プログラミング言語基礎 (ActionScript)	2	鍵本 聡	2	1	水5	西宮上ヶ原	30	
A		共通	プログラミング言語基礎 (ActionScript)	3	森 巧尚	2	1	火3	西宮上ヶ原	30	
A		共通	プログラミング言語基礎 (ActionScript)	4	森 巧尚	2	1	火4	西宮上ヶ原	30	
A		共通	プログラミング言語基礎 (Excel VBA)		古隅 弘樹	2	1	火2	西宮上ヶ原	30	
A		共通	プログラミング言語基礎 (Java)	1	岩田 一男	2	1	火1	西宮上ヶ原	30	
A		共通	プログラミング言語基礎 (JavaScript)	1	西本 実苗	2	1	月5	西宮上ヶ原	30	
A		共通	プログラミング言語基礎 (JavaScript)	2	西本 実苗	2	1	火2	西宮上ヶ原	30	
A		共通	プログラミング言語基礎 (Processing)	1	鍵本 聡	2	1	水2	西宮上ヶ原	30	
A		共通	プログラミング言語基礎 (Processing)	2	高田 茂樹	2	1	月3	西宮上ヶ原	30	
A		共通	プログラミング言語基礎 (Processing)	3	高田 茂樹	2	1	月4	西宮上ヶ原	30	
A		共通	プログラミング言語基礎 (Python)	1	後藤 達也	2	1	水4	西宮上ヶ原	30	
A		共通	プログラミング言語応用 (PHP)	1	池田 瑞穂	2	2	木3	西宮上ヶ原	30	
A		共通	文科系学生のための情報技術入門	1	高田 茂樹	2	1	月2	西宮上ヶ原	—	
A		共通	情報技術概論	1	池田 瑞穂	2	1	木2	西宮上ヶ原	—	

春 AI 活用人材育成科目 (P.59以降の「全学科目申込・履修についての諸注意」を必ず確認すること)											
申込方法	注意事項	担当窓口	科目名	クラス	担当者	単位	履修基準年度	曜日・時間	開講場所	受講者数制限	特記事項
A		共通	AI 活用入門	1	西野 均	2	1	火 4	西宮上ヶ原	150	
A		共通	AI 活用入門	2	西野 均	2	1	水 4	西宮上ヶ原	150	
A		共通	AI 活用入門	3	巴波 弘佳	2	1	火 2	神戸三田	150	
A		共通	AI 活用導入演習 A	1	西野 均	2	1	火 1	西宮上ヶ原	50	履修要件あり
A		共通	AI 活用導入演習 A	2	西野 均	2	1	木 4	神戸三田	50	履修要件あり
A		共通	AI 活用導入演習 B	1	西野 均	2	1	水 1	西宮上ヶ原	50	履修要件あり
A		共通	AI 活用導入演習 B	2	西野 均	2	1	木 5	神戸三田	50	履修要件あり
A		共通	AI 活用実践演習 A (Java による Web アプリケーションデザイン)	1	陰山 真矢	2	2	集中	西宮上ヶ原	50	履修要件あり、8月～9月予定
A		共通	AI 活用実践演習 B (Python による機械学習・深層学習)	1	岩森 俊哉	2	2	集中	西宮上ヶ原	50	履修要件あり、8月～9月予定
A		共通	AI 活用実践演習 C (Web デザイン)	1	陰山 真矢	2	2	集中	西宮上ヶ原	50	履修要件あり、8月～9月予定
A		共通	AI 活用データサイエンス実践演習 I	1	西野 均	2	2	集中	西宮上ヶ原	50	履修要件あり、8月～9月予定
A		共通	AI 活用データサイエンス実践演習 II	1	西野 均	2	3	集中	西宮上ヶ原	50	履修要件あり、8月～9月予定
春 グローバルスタディーズ科目											
申込方法	注意事項	担当窓口	科目名	クラス	開講期	単位	履修基準年度	英語実施	開講場所	受講者数制限	特記事項
B		言セ	Language and Communication	1～7	春	2	1	◎	上ヶ原・三田	12	英語要件あり
B		言セ	Culture and Society	1～8	春	2	1	◎	上ヶ原・三田	12	英語要件あり
B		言セ	Academic Writing and Presentation	1～3	春	2	1	◎	西宮上ヶ原	12	英語要件あり
B		言セ	Project-based Seminar in English (Study Abroad)	1～2	春	2	1	◎	西宮上ヶ原	20	英語要件あり
B		言セ	Project-based Seminar in English (Career English)	1～2	春	2	1	◎	西宮上ヶ原	15	英語要件あり
B		言セ	Project-based Seminar in English (Critical Writing)	1	春	2	1	◎	西宮上ヶ原	12	英語要件あり
B		言セ	Project-based Seminar in English (Area Studies)	1～3	春	2	1	◎	西宮上ヶ原	12	英語要件あり
B		CIEC	English for Cross-Cultural Studies A (Level 1)		春	2	1	◎	西宮上ヶ原	15	
B		CIEC	English for Cross-Cultural Studies A (Level 2)		春	2	1	◎	西宮上ヶ原	15	
B		CIEC	English for Cross-Cultural Studies A (Level 3)		春	2	1	◎	西宮上ヶ原	15	
A		CIEC	国際情報分析	1～5	春	2	1		上ヶ原・三田	24	
A		CIEC	プロジェクトマネジメント I	1～2	春集中	2	1		西宮上ヶ原	24	
		CIEC	国際環境論		春	2	1		西宮上ヶ原	—	
		CIEC	世界市民論		春	2	1		西宮上ヶ原	—	
A		CIEC	グローバルゼミ A	1～5	春	2	1		上ヶ原・三田	20	
A		CIEC	グローバルゼミ B	1	春	2	3		西宮上ヶ原	—	国際ボランティアプログラム参加学生のみ対象
		CIEC	カナダ研究入門 A		春	2	1		西宮上ヶ原	—	
A		CIEC	Topics in Canadian Studies C		春後半	2	1	◎	西宮上ヶ原	—	
		CIEC	北欧研究入門		春	2	1		西宮上ヶ原	—	
		CIEC	留学とキャリア設計		春	2	1		西宮上ヶ原	—	
A		CIEC	グローバルスタディーズ入門	1～4	春	2	1		上ヶ原・三田	45	
B		CIEC	総合日本学習科目		春・春集中	2～3	1	◎	西宮上ヶ原	15	
B		CIEC	CCC Introduction to Multicultural Studies		春	2	1	◎	西宮上ヶ原	100	
		CIEC	日本史概略		春	2	1		西宮上ヶ原	—	留学生対象
A		CIEC	日本語教育基礎	1～2	春	2	1		西宮上ヶ原	40	
A		CIEC	日本語教育基礎演習	1	春	2	1		西宮上ヶ原	20	
■		国連・外交	国連・外交入門 (開発)		春	2	2	◎	西宮上ヶ原	—	MS 国連・外交プログラム履修許可者対象
■		国連・外交	Career Seminar for International Organizations	1	春	2	3	◎	西宮上ヶ原	15	英語要件あり。MS 国連・外交プログラム履修許可者対象
■		国連・外交	国連・外交フィールドワーク		春集中	2	1	◎	上ヶ原・東テモール	10	選考あり。詳細は教学 Web、募集要項等参照
春 ライフデザイン科目 [2012年度以前入学生：学際・連携科目]											
申込方法	注意事項	担当窓口	科目名	クラス	代表者／コーディネータ	単位	履修基準年度	曜日・時間	開講場所	受講者数制限	特記事項
A	※	HoLC	ライフ・キャリア概論	1	阪口 悟	2	1	水 3	西宮上ヶ原	250	「社会の中での自分 (インターンシップ講義)」の単位修得者は履修不可
A	※	HoLC	ライフ・キャリア概論	2	富岡 克彦	2	1	木 2	西宮上ヶ原	250	「社会の中での自分 (インターンシップ講義)」の単位修得者は履修不可
A	※	HoLC	ライフ・キャリア概論	3	富岡 克彦	2	1	水 4	神戸三田	250	「社会の中での自分 (インターンシップ講義)」の単位修得者は履修不可
A		HoLC	ライフデザインと仕事 A 【日本企業編】	1	石田 秀朗	2	1	金 4	西宮上ヶ原	42	
A		HoLC	ライフデザインと仕事 A 【日本企業編】	2	石田 秀朗	2	1	金 5	西宮上ヶ原	42	
A	※	HoLC	ライフ・キャリア入門演習	1	渡辺 一成	2	1	火 1	西宮上ヶ原	42	「グローバルキャリアデザイン入門」の単位修得者は履修不可
A	※	HoLC	ライフ・キャリア入門演習	2	石田 典子	2	1	火 3	西宮上ヶ原	42	「グローバルキャリアデザイン入門」の単位修得者は履修不可
A	※	HoLC	ライフ・キャリア入門演習	3	石田 典子	2	1	火 4	西宮上ヶ原	42	「グローバルキャリアデザイン入門」の単位修得者は履修不可
A	※	HoLC	ライフ・キャリア入門演習	4	渡辺 一成	2	1	金 1	西宮上ヶ原	42	「グローバルキャリアデザイン入門」の単位修得者は履修不可
A	※	HoLC	ライフ・キャリア入門演習	5	渡辺 一成	2	1	火 3	神戸三田	42	「グローバルキャリアデザイン入門」の単位修得者は履修不可
A	※	HoLC	ライフ・キャリア入門演習	6	渡辺 一成	2	1	火 4	神戸三田	42	「グローバルキャリアデザイン入門」の単位修得者は履修不可
A		HoLC	ライフ・キャリア実践演習	1	石田 典子	2	1	木 3	西宮上ヶ原	42	
A		HoLC	ライフ・キャリア実践演習	2	石田 典子	2	1	木 4	西宮上ヶ原	42	
A		HoLC	ライフ・キャリア実践演習	3	渡辺 一成	2	1	金 3	西宮上ヶ原	42	
A		HoLC	ライフ・キャリア実践演習	4	渡辺 一成	2	1	金 4	西宮上ヶ原	42	
A		HoLC	ライフ・キャリア実践演習	5	渡辺 一成	2	1	木 3	神戸三田	42	
A		HoLC	ライフ・キャリア実践演習	6	渡辺 一成	2	1	木 4	神戸三田	42	
A		HoLC	ライフ・キャリア発展演習	1	勝又 あずさ	2	2	水 4	西宮上ヶ原	30	
A		HoLC	ライフ・キャリア発展演習	2	勝又 あずさ	2	2	水 2	神戸三田	30	
■	※	HoLC	ライフ・キャリア リーダーシップ実習		勝又 あずさ	2	1	集中	西宮上ヶ原・神戸三田・東京	20	詳細は「募集要項」を参照
■	※	HoLC	インターンシップ実習	1	勝又 あずさ	1もしくは2	1	集中	各企業・団体	なし	詳細は「募集要項」を参照
A	※	HoLC	キャリアゼミ A	1	森 隆史	2	1	金 4	西宮上ヶ原	45	土曜日にも数回授業あり
A	※	HoLC	キャリアゼミ A	2	森 隆史	2	1	木 4	神戸三田	25	土曜日にも数回授業あり
■	※	HoLC	キャリアゼミ B		森 隆史	2	1	集中	上ヶ原・大阪	40	詳細は「募集要項」を参照
■	※	HoLC	海外インターンシップ (アメリカ・ロサンゼルス)	1	勝又 あずさ	2	1	集中	ロサンゼルス	25	詳細は「国際教育・協力プログラム募集要項」参照
■	※	HoLC	海外インターンシップ (ベトナム・ハノイ)	1	勝又 あずさ	2	1	集中	ハノイ	20	詳細は「国際教育・協力プログラム募集要項」参照
■	※	HoLC	ハンズオン・インターンシップ実習 (岩手)	1	木本 典貴 浩一 麻紀	6	1	集中	岩手県	5	8月上旬から9月中旬の約1ヶ月間受入企業・団体でインターン
■	※	HoLC	ハンズオン・インターンシップ実習 (福井)	1	木本 典貴 浩一 麻紀	6	1	集中	福井県	5	8月上旬から9月中旬の約1ヶ月間受入企業・団体でインターン

■	※	HoLC	ハンズオン・インターンシップ実習 (石川)	1	木本 浩一 奥貴 麻紀	6	1	集中	石川県	5	8月上旬から9月中旬の約1ヶ月間受入企業・団体でインターン
■	※	HoLC	ハンズオン・インターンシップ実習 (岡山)	1	木本 浩一 奥貴 麻紀	6	1	集中	岡山県	5	8月上旬から9月中旬の約1ヶ月間受入企業・団体でインターン
■	※	HoLC	ハンズオン・インターンシップ実習 (大阪)	1	木本 浩一 奥貴 麻紀	6	1	集中	大阪府	10	8月上旬から9月中旬の約1ヶ月間受入企業・団体でインターン
■	※	HoLC	ハンズオン・インターンシップ実習 (兵庫)	1	木本 浩一 奥貴 麻紀	6	1	集中	兵庫県	10	8月上旬から9月中旬の約1ヶ月間受入企業・団体でインターン

春 基盤・学際科目 [2012年度以前入学生：学際・連携科目]

申込方法	注意事項	担当窓口	科目名	コース名・副題	クラス	代表者／コーディネータ	単位	履修基準年度	曜日・時限	開講場所	受講者数制限	特記事項
A		共通	「関学」学	関西学院の歴史	1	端重 淑	2	1	月4	西宮上ヶ原	300	
		共通	人権教育科目002	在日朝鮮人と人権 A		高島 千代	2	1	火4	西宮上ヶ原	—	
A		共通	人権教育科目004	ジェンダーと人権 A		倉島 哲	2	1	火3	西宮上ヶ原	200	
A		共通	人権教育科目010	セクシュアリティと人権		澤田 有希子	2	1	金2	西宮上ヶ原	200	
		共通	人権教育科目011	部落差別と人権 A		宮下 博幸	2	1	月4	西宮上ヶ原	—	
A		共通	人権教育科目013	差別と人権		細見 和志	2	1	木5	神戸三田	200	
A		共通	災害復興学入門	「人間の復興」の視点で被災者支援を考える		齊藤 容子	2	1	金2	西宮上ヶ原	100	
		共通	総合コース213	21世紀の日本研究		桑山 敬己	2	2	木1	西宮上ヶ原	—	
		共通	総合コース536	グローバル世界に発信する「日本文化の魅力」の教育意義と教育体験		峯岸 由治	2	1	木5	西宮上ヶ原	—	
A		共通	総合コース807	Mastery for Service のリーダーシップ		佐藤 善信	2	1	火4	西宮上ヶ原	50	
		共通	寄附講座207	手話の世界		松岡 克尚	2	1	火5	西宮上ヶ原	—	
		共通	連携講座004	医学入門 A		鈴木 敬一郎	2	1	火3	神戸三田	—	
A	※	共通	連携講座006	早期臨床体験実習		鈴木 敬一郎	1	1	集中	兵庫医大	20	
A	※	共通	連携講座008	医療入門		鈴木 敬一郎	2	1	集中	兵庫医大	10	
A	※	共通	連携講座009	東洋医学入門		戴 毅	1	2	集中	兵庫医大	10	
		共通	連携講座013	ソーシャル・イノベーション		実 哲也	2	1	火5	神戸三田	—	
A	※	共通	連携講座014	臨床ゲノム医学入門		大村谷 昌樹	1	1	集中	兵庫医大	10	
A		共通	スタディスキルセミナー (読む・書く・話す・聴く)	1	渡辺 一成	2	1	月1	西宮上ヶ原	30		
A		共通	スタディスキルセミナー (読む・書く・話す・聴く)	2	渡辺 一成	2	1	月2	西宮上ヶ原	30		
A		共通	スタディスキルセミナー (読む・書く・話す・聴く)	3	渡辺 一成	2	1	月5	西宮上ヶ原	30		
A		共通	スタディスキルセミナー (読む・書く・話す・聴く)	4	渡辺 一成	2	1	水1	西宮上ヶ原	30		
A		共通	スタディスキルセミナー (読む・書く・話す・聴く)	5	渡辺 一成	2	1	水2	西宮上ヶ原	30		
A		共通	スタディスキルセミナー (読む・書く・話す・聴く)	6	渡辺 一成	2	1	水4	神戸三田	30		
A	※	共通	スタディスキルセミナー (レポート執筆の基礎)	1	時任 隼平	2	1	火5	西宮上ヶ原	20		
A	※	共通	スタディスキルセミナー (レポート執筆の基礎)	2	西口 啓太	2	1	月2	西宮上ヶ原	20		
A	※	共通	スタディスキルセミナー (レポート執筆の基礎)	3	西口 啓太	2	1	金3	西宮上ヶ原	20		
A	※	共通	スタディスキルセミナー (レポート執筆の基礎)	4	西口 啓太	2	1	金4	西宮上ヶ原	20		
A	※	共通	スタディスキルセミナー (レポート執筆の基礎)	5	西口 啓太	2	1	木3	西宮上ヶ原	20		
A	※	共通	スタディスキルセミナー (レポート執筆の基礎)	6	西口 啓太	2	1	金2	西宮上ヶ原	20		
A	※	共通	スタディスキルセミナー (レポート執筆の基礎)	7	福山 佑樹	2	1	水2	西宮上ヶ原	20		
A	※	共通	スタディスキルセミナー (レポート執筆の基礎)	8	福山 佑樹	2	1	水3	西宮上ヶ原	20		
A	※	共通	スタディスキルセミナー (レポート執筆の基礎)	9	福山 佑樹	2	1	水4	西宮上ヶ原	20		
A	※	共通	スタディスキルセミナー (レポート執筆の基礎)	10	福山 佑樹	2	1	木2	西宮上ヶ原	20		
A	※	共通	スタディスキルセミナー (レポート執筆の基礎)	11	福山 佑樹	2	1	木4	西宮上ヶ原	20		
A	※	共通	スタディスキルセミナー (レポート執筆の基礎)	12	福山 佑樹	2	1	木5	西宮上ヶ原	20		
A	※	共通	スタディスキルセミナー (レポート執筆の基礎)	13	三井 規裕	2	1	月3	西宮上ヶ原	20		
A	※	共通	スタディスキルセミナー (レポート執筆の基礎)	14	三井 規裕	2	1	月4	西宮上ヶ原	20		
A		共通	スタディスキルセミナー (文章表現)	1	中村 正憲	2	1	木3	西宮上ヶ原	20		
A		共通	スタディスキルセミナー (文章表現)	2	中村 正憲	2	1	木4	西宮上ヶ原	20		
A	※	共通	スタディスキルセミナー (プレゼンテーション)	1	三井 規裕	2	1	月2	西宮上ヶ原	30		
A	※	共通	スタディスキルセミナー (プレゼンテーション)	2	三井 規裕	2	1	火3	西宮上ヶ原	30		
■	※	HoLC	平和学特別演習「ヒロシマ」			澤村 雅史	2	1	集中	上ヶ原・広島	25	詳細は「募集要項」を参照
A	※	HoLC	ハンズオン・ブラクティス			木本 浩一	2	1	集中	上ヶ原・淡路島	25	土曜日集中開講
A		HoLC	社会探究入門			木本 浩一	2	1	火3	西宮上ヶ原	45	
A		HoLC	社会探究入門			奥貴 麻紀	2	1	水2	西宮上ヶ原	45	
A		HoLC	社会探究入門			木本 浩一	2	1	水2	神戸三田	45	
A		HoLC	社会探究リサーチ・ベーシック A (定量編)			時任 隼平	2	1	金3	西宮上ヶ原	30	
A		HoLC	社会探究リサーチ・ベーシック A (定量編)			時任 隼平	2	1	月2	神戸三田	30	
■	※	HoLC	社会探究実習 I (瀬戸内海・豊島環境 FW)			木本 浩一	2	1	集中	香川県豊島	15	詳細は「募集要項」を参照
■	※	HoLC	社会探究実習 II (瀬戸内海・豊島環境 FW)			木本 浩一	2	1	集中	香川県豊島	5	詳細は「募集要項」を参照
■	※	HoLC	PBL 特別演習002【JETRO×産研連携講座】			シュラーデ	2	1	集中	上ヶ原・梅田	50	詳細は「募集要項」を参照
■	※	HoLC	PBL 特別演習006【公認会計士と挑む企業のビジネス課題】			勝あずさ 塩見 優子	2	1	集中	西宮上ヶ原・大阪	40	詳細は「募集要項」を参照
A	※	HoLC	PBL 特別演習007【阪急阪神 HD 線と挑む社会課題】			奥貴 麻紀	4	1	水4 水5	西宮上ヶ原	20	学期期間中に数回企業訪問あり
■	※	HoLC	PBL 特別演習008【福島で学ぶ復興と原発問題】			村尾 信尚 時任 隼平	2	1	集中	上ヶ原・福島	25	詳細は「募集要項」を参照
A	※	HoLC	PBL 特別演習009【三木市・旧市街地 FW】			奥貴 麻紀	2	1	火2	上ヶ原・三木	15	週末に数回現地実習あり
A	※	HoLC	社会探究実践演習 I (篠山・今田コミュニティ・ガバナンス FW)			木本 浩一	4	1	水3 水4	神戸三田・篠山	20	週末に数回現地実習あり
A	※	HoLC	社会探究実践演習 I (朝来・竹田城下町活性化 PJ)			奥貴 麻紀	4	1	木3 木4	上ヶ原・朝来	20	週末に数回現地実習あり
A	※	HoLC	社会探究実践演習 II (篠山・今田コミュニティ・ガバナンス FW)			木本 浩一	4	1	水3 水4	神戸三田・篠山	5	週末に数回現地実習あり
A	※	HoLC	社会探究実践演習 II (朝来・竹田城下町活性化 PJ)			奥貴 麻紀	4	1	木3 木4	上ヶ原・朝来	5	週末に数回現地実習あり

春学期集中科目は、2020年度春学期卒業見込者は履修できません。(ただし、ハンズオン・ラーニングセンター開講「ハンズオン・ブラクティス」を除く)
 ただし、CCCプログラム (Certificate Program, MS 特別プログラム「クロス・カルチュラル・スタディーズ」) 登録者及び実践型「世界市民」育成プログラム・グローバルリーダーコース登録者で CIEC 開講の集中科目の履修を希望する場合は、CIEC 事務室まで個別相談に来てください。

秋学期開講科目

言語教育科目

申込方法	注意事項	担当窓口	科目名	クラス	開講期	単位	履修基準年度	英語実施	開講場所	受講者数制限	特記事項
■		言セ	入門英語ⅠA	11~20	秋	1	1	◎	上ヶ原・三田	25	クラス指定あり
■		言セ	入門英語ⅠB	11~20	秋	1	1	◎	上ヶ原・三田	25	クラス指定あり
■		言セ	入門英語ⅡA	11~20	秋	1	2	◎	上ヶ原・三田	25	クラス指定あり
■		言セ	入門英語ⅡB	11~20	秋	1	2	◎	上ヶ原・三田	25	クラス指定あり
■		言セ	インテンシブ・イングリッシュ	1~30	秋	3	1	◎	西宮上ヶ原	25	選考あり
A		言セ	Skills-based English (Basic)	8~14	秋	1	1	◎	上ヶ原・三田	25	
A		言セ	Skills-based English (Speaking & Listening)	3~4	秋	2	1	◎	西宮上ヶ原	25	
B		言セ	Skills-based English (Speaking & Listening) L1	2~3	秋	2	1	◎	西宮上ヶ原	25	英語要件あり
B		言セ	Skills-based English (Speaking & Listening) L2	2~3	秋	2	1	◎	西宮上ヶ原	25	英語要件あり
B		言セ	Skills-based English (Speaking & Listening) L3	2~4	秋	2	1	◎	上ヶ原・三田	25	英語要件あり
B		言セ	Skills-based English (Writing) L1	2	秋	1	1	◎	西宮上ヶ原	20	英語要件あり
B		言セ	Skills-based English (Writing) L3	2	秋	1	1	◎	西宮上ヶ原	20	英語要件あり
B		言セ	Skills-based English (Reading) L1	2	秋	1	1	◎	西宮上ヶ原	25	英語要件あり
B		言セ	Skills-based English (Reading) L3	2	秋	1	1	◎	西宮上ヶ原	25	英語要件あり
B		言セ	Skills-based English (Academic) L3	3	秋	2	1	◎	西宮上ヶ原	25	英語要件あり
B		言セ	Skills-based English (Academic) L4	2	秋	2	1	◎	西宮上ヶ原	25	英語要件あり
B		言セ	Skills-based English (Business A) L2	3	秋	1	1	◎	西宮上ヶ原	25	英語要件あり
B		言セ	Skills-based English (Business B) L2	2~3	秋	1	1	◎	上ヶ原・三田	25	英語要件あり
A		言セ	Skills-based English (TOEFL)	3~6	秋	1	1	◎	上ヶ原・三田	25	
B		言セ	Skills-based English (TOEFL) L2	3~4	秋	1	1	◎	西宮上ヶ原	25	英語要件あり
A		言セ	Skills-based English (TOEIC)	5~8	秋	1	1	◎	上ヶ原・三田	25	
B		言セ	Skills-based English (TOEIC) L2	2~3	秋	1	1	◎	西宮上ヶ原	25	英語要件あり
A		言セ	Skills-based English (IELTS)	4~5	秋	1	1	◎	西宮上ヶ原	25	
■		言セ	フランス語インテンシブ初級Ⅰ	1~3	秋	3	1		西宮上ヶ原	約20	選考あり
■		言セ	フランス語インテンシブ初級Ⅲ	2~3	秋	2	2		西宮上ヶ原	約20	履修要件あり
■		言セ	フランス語インテンシブ中級	2	秋	2	3		西宮上ヶ原	約20	履修要件あり
■		言セ	ドイツ語インテンシブ初級Ⅰ	1~2	秋	3	1		西宮上ヶ原	約20	選考あり
■		言セ	ドイツ語インテンシブ初級Ⅲ	2	秋	2	2		西宮上ヶ原	約20	履修要件あり
■		言セ	ドイツ語インテンシブ中級	2	秋	2	3		西宮上ヶ原	約20	履修要件あり
		言セ	基礎フランス語Ⅱ	1	秋	1	1		西宮上ヶ原	—	履修要件あり
		言セ	基礎フランス語Ⅳ	1	秋	1	1		西宮上ヶ原	—	履修要件あり
		言セ	フランス語アラカルト (読む)	2	秋	1	2		西宮上ヶ原	—	
		言セ	フランス語アラカルト (書く)	2	秋	1	2		西宮上ヶ原	—	
A		言セ	フランス語アラカルト (聞く・話す) A	3	秋	1	1		西宮上ヶ原	30	
		言セ	フランス語アラカルト (聞く・話す) B	2	秋	1	1		西宮上ヶ原	—	
		言セ	フランス語アラカルト (聞く・話す) C	2	秋	1	1		西宮上ヶ原	—	
		言セ	基礎ドイツ語Ⅱ	1	秋	1	1		西宮上ヶ原	—	履修要件あり
		言セ	基礎ドイツ語Ⅳ	1	秋	1	1		西宮上ヶ原	—	履修要件あり
		言セ	ドイツ語アラカルト (読む)	2	秋	1	2		西宮上ヶ原	—	
		言セ	ドイツ語アラカルト (書く)	2	秋	1	2		西宮上ヶ原	—	
		言セ	ドイツ語アラカルト (聞く・話す) A	2	秋	1	1		西宮上ヶ原	—	
		言セ	ドイツ語アラカルト (聞く・話す) B	2	秋	1	1		西宮上ヶ原	—	
		言セ	ロシア語初級Ⅱ	1	秋	1	1		西宮上ヶ原	—	履修要件あり
		言セ	ロシア語初中級	2	秋	1	1		西宮上ヶ原	—	履修要件あり
		言セ	イタリア語初級Ⅰ	5~6	秋	1	1		西宮上ヶ原	—	
		言セ	イタリア語初級Ⅱ	2~4	秋	1	1		西宮上ヶ原	—	履修要件あり
		言セ	イタリア語初中級	2	秋	1	1		西宮上ヶ原	—	履修要件あり
		言セ	スペイン語初級Ⅱ	1	秋	1	1		西宮上ヶ原	—	履修要件あり
		言セ	スペイン語中級	2~3	秋	1	1		西宮上ヶ原	—	履修要件あり
		言セ	ポルトガル語初級Ⅱ	1	秋	1	1		西宮上ヶ原	—	履修要件あり
		言セ	ポルトガル語初中級	2	秋	1	1		西宮上ヶ原	—	履修要件あり
		言セ	アラビア語初級Ⅰ	2	秋	1	1		西宮上ヶ原	—	履修要件あり
		言セ	アラビア語初級Ⅱ	2	秋	1	1		西宮上ヶ原	—	履修要件あり
		言セ	アラビア語初中級	1	秋	1	1		西宮上ヶ原	—	履修要件あり
		言セ	基礎中国語Ⅱ	1・2	秋	1	1		西宮上ヶ原	—	履修要件あり
		言セ	基礎中国語Ⅳ	1	秋	1	1		西宮上ヶ原	—	履修要件あり
		言セ	中国語中級	3~4	秋	1	1		西宮上ヶ原	—	履修要件あり
		言セ	朝鮮語初級Ⅱ	1~3	秋	1	1		西宮上ヶ原	—	履修要件あり
		言セ	朝鮮語中級	1~2	秋	1	1		西宮上ヶ原	—	履修要件あり
		言セ	インドネシア語初級Ⅱ	1~2	秋	1	1		西宮上ヶ原	—	履修要件あり
		言セ	インドネシア語初中級	2	秋	1	1		西宮上ヶ原	—	履修要件あり
		言セ	日本語初級Ⅱ	1	秋	1	1		西宮上ヶ原	—	履修要件あり
A		CIEC	ビジネス日本語A	2~3	秋	1	3		上ヶ原・三田	15	留学生対象 / 「日本語科目履修案内」参照
A		CIEC	ビジネス日本語C	2~3	秋	1	3		上ヶ原・三田	15	留学生対象 / 「日本語科目履修案内」参照

履修記録

秋 スポーツ科学・健康科学科目 (P.59以降の「全学科目申込・履修についての諸注意」を必ず確認すること)												
申込方法	注意事項	担当窓口	科目名	コース名・副題	クラス	代表者／コーディネータ	単位	履修基準年度	曜日時間	開講場所	受講者数制限	特記事項
A		スポ	スポーツ科学講義A	野球の科学	2	中山 梯一	2	1	金3	西宮上ヶ原	200	
A		スポ	健康科学講義A	心と健康	2	永石 高敏	2	1	月5	西宮上ヶ原	200	
A		スポ	体育方法学講義C	体育講義	3	清畑 潤	2	1	木1	西宮上ヶ原	200	
A		スポ	体育方法学講義C	体育講義 KSC	4	山下 伸一	2	1	水3	神戸三田	200	
A		スポ	スポーツ科学演習A	卓球	4	高島 規郎	2	1	木1	西宮上ヶ原	30	
A		スポ	スポーツ科学演習A	卓球	5	高島 規郎	2	1	木2	西宮上ヶ原	30	
A		スポ	スポーツ科学演習A	卓球	6	高島 規郎	2	1	木3	西宮上ヶ原	30	
A		スポ	スポーツ科学演習A	テニス	11	浦田 達也	2	1	火2	西宮上ヶ原	30	
A		スポ	スポーツ科学演習A	バドミントン	23	山本 浩二	2	1	金2	西宮上ヶ原	30	
A		スポ	スポーツ科学演習A	バドミントン	24	仲田 秀臣	2	1	木2	西宮上ヶ原	30	
A		スポ	スポーツ科学演習A	バドミントン	25	仲田 秀臣	2	1	木3	西宮上ヶ原	30	
A		スポ	スポーツ科学演習C	サッカー	2	森 祐貴	2	1	月2	西宮上ヶ原	30	
A		スポ	スポーツ科学演習C	ソフトボール	13	中山 梯一	2	1	木1	西宮上ヶ原	30	
A		スポ	スポーツ科学演習C	ソフトボール	14	中山 梯一	2	1	金2	西宮上ヶ原	30	
A		スポ	スポーツ科学演習D	バスケットボール	3	浦田 達也	2	1	火3	西宮上ヶ原	30	
A		スポ	スポーツ科学演習D	バレーボール	12	森 祐貴	2	1	月1	西宮上ヶ原	30	
A		スポ	スポーツ科学演習D	バレーボール	13	高見 和至	2	1	金2	西宮上ヶ原	30	
A		スポ	スポーツ科学演習E	格技	2	山本 浩二	2	1	金3	西宮上ヶ原	30	
A		スポ	スポーツ科学演習F	水泳・水球	2	川上 光宣	2	1	火3	西宮上ヶ原	30	
A		スポ	健康科学演習A	フィットネス	2	笹場 育子	2	1	木2	西宮上ヶ原	30	
A		スポ	健康科学演習B	トレーニング	1	中山 梯一	2	1	金1	西宮上ヶ原	30	
A		スポ	健康科学演習C	ニュースポーツ	2	林 直也	2	1	水2	西宮上ヶ原	30	
A		スポ	体育方法学演習C	体育実技	12	甲斐 知彦	2	1	月1	西宮上ヶ原	35	
A		スポ	体育方法学演習C	体育実技	13	森 祐貴	2	1	月3	西宮上ヶ原	35	
A		スポ	体育方法学演習C	体育実技	14	笹場 育子	2	1	火1	西宮上ヶ原	35	
A		スポ	体育方法学演習C	体育実技	15	林 直也	2	1	水1	西宮上ヶ原	35	
A		スポ	体育方法学演習C	体育実技 KSC	16	木谷 織信	2	1	火1	神戸三田	35	
A		スポ	体育方法学演習C	体育実技 KSC	17	木谷 織信	2	1	火2	神戸三田	35	
A		スポ	体育方法学演習C	体育実技 KSC	18	木谷 織信	2	1	火3	神戸三田	35	
A		スポ	体育方法学演習C	体育実技 KSC	19	山下 伸一	2	1	水1	神戸三田	35	
A		スポ	体育方法学演習C	体育実技 KSC	20	山下 伸一	2	1	水2	神戸三田	35	
A		スポ	体育方法学演習C	体育実技 KSC	21	清畑 潤	2	1	金1	神戸三田	35	
A		スポ	体育方法学演習C	体育実技 KSC	22	清畑 潤	2	1	金2	神戸三田	35	
A		スポ	体育方法学演習C	体育実技 KSC	23	清畑 潤	2	1	金3	神戸三田	35	
A		スポ	余暇生活学演習D	冬期アウトドア(スキー・スノーボード)	1~4	佐藤 博信	2	1	集中	西宮上ヶ原・学外	32(各8)	9月~1月に3回事前授業あり 2月実施
秋 情報科学科目 (P.59以降の「全学科目申込・履修についての諸注意」を必ず確認すること)												
申込方法	注意事項	担当窓口	科目名	クラス	代表者／コーディネータ	単位	履修基準年度	曜日時間	開講場所	受講者数制限	特記事項	
A		共通	コンピュータ基礎	15	岩田 一男	2	1	水1	西宮上ヶ原	78		
A		共通	コンピュータ基礎	16	岩田 一男	2	1	水2	西宮上ヶ原	78		
A		共通	コンピュータ基礎	17	岩田 一男	2	1	水3	西宮上ヶ原	78		
A		共通	コンピュータ基礎	18	古隅 弘樹	2	1	金1	西宮上ヶ原	78		
A		共通	コンピュータ基礎	19	西本 実苗	2	1	火3	西宮上ヶ原	78		
A		共通	コンピュータ基礎	20	西本 実苗	2	1	火4	西宮上ヶ原	78		
A		共通	コンピュータ基礎	21	西本 実苗	2	1	火5	西宮上ヶ原	78		
A		共通	コンピュータ基礎	22	玉本 拓郎	2	1	水4	西宮上ヶ原	78		
A		共通	コンピュータ基礎	23	橋本 幸枝	2	1	金4	西宮上ヶ原	78		
A		共通	コンピュータ基礎	24	後藤 達也	2	1	水5	西宮上ヶ原	78		
A		共通	コンピュータ基礎	25	谷村 要	2	1	金5	西宮上ヶ原	78		
A		共通	コンピュータ基礎	26	近藤 晶子	2	1	火2	西宮上ヶ原	78		
A		共通	コンピュータ基礎	27	近藤 晶子	2	1	火4	西宮上ヶ原	78		
A		共通	コンピュータ実践(表計算)	13	玉本 拓郎	2	1	水5	西宮上ヶ原	30		
A		共通	コンピュータ実践(表計算)	14	谷村 要	2	1	金3	西宮上ヶ原	30		
A		共通	コンピュータ実践(表計算)	15	森際 孝司	2	1	月3	西宮上ヶ原	30		
A		共通	コンピュータ実践(表計算)	16	森際 孝司	2	1	月5	西宮上ヶ原	30		
A		共通	コンピュータ実践(表計算)	17	周防 節雄	2	1	木4	西宮上ヶ原	30		
A		共通	コンピュータ実践(表計算)	18	島野 達雄	2	1	月2	西宮上ヶ原	30		
A		共通	コンピュータ実践(表計算)	19	島野 達雄	2	1	月4	西宮上ヶ原	30		
A		共通	コンピュータ実践(表計算)	20	島野 達雄	2	1	水3	西宮上ヶ原	30		
A		共通	コンピュータ実践(表計算)	21	内田 啓太郎	2	1	火2	西宮上ヶ原	30		
A		共通	コンピュータ実践(表計算)	22	箱井 英寿	2	1	金1	西宮上ヶ原	30		
A		共通	コンピュータ実践(表計算)	23	高田 茂樹	2	1	木2	西宮上ヶ原	30		
A		共通	コンピュータ実践(表計算)	24	高田 茂樹	2	1	木3	西宮上ヶ原	30		
A		共通	コンピュータ実践(データ分析)	4	後藤 達也	2	1	水4	西宮上ヶ原	30		
A		共通	コンピュータ実践(データ分析)	5	周防 節雄	2	1	木3	西宮上ヶ原	30		
A		共通	コンピュータ実践(データ分析)	6	箱井 英寿	2	1	金2	西宮上ヶ原	30		
A		共通	プログラミング言語基礎(ActionScript)	5	鍵本 聡	2	1	水4	西宮上ヶ原	30		
A		共通	プログラミング言語基礎(ActionScript)	6	鍵本 聡	2	1	水5	西宮上ヶ原	30		
A		共通	プログラミング言語基礎(ActionScript)	7	森 巧尚	2	1	火3	西宮上ヶ原	30		
A		共通	プログラミング言語基礎(C)		古隅 弘樹	2	1	金2	西宮上ヶ原	30		
A		共通	プログラミング言語基礎(Java)	2	岩田 一男	2	1	火1	西宮上ヶ原	30		
A		共通	プログラミング言語基礎(JavaScript)	3	西本 実苗	2	1	月5	西宮上ヶ原	30		
A		共通	プログラミング言語基礎(JavaScript)	4	西本 実苗	2	1	火2	西宮上ヶ原	30		
A		共通	プログラミング言語基礎(Processing)	4	鍵本 聡	2	1	水2	西宮上ヶ原	30		
A		共通	プログラミング言語基礎(Processing)	5	高田 茂樹	2	1	月2	西宮上ヶ原	30		
A		共通	プログラミング言語基礎(Processing)	6	高田 茂樹	2	1	月3	西宮上ヶ原	30		
A		共通	プログラミング言語基礎(Python)	2	池田 瑞穂	2	1	木4	西宮上ヶ原	30		
A		共通	プログラミング言語基礎(Python)	3	森 巧尚	2	1	火4	西宮上ヶ原	30		
A		共通	プログラミング言語応用(PHP)	2	池田 瑞穂	2	2	木3	西宮上ヶ原	30		
A		共通	文科系学生のための情報技術入門	2	高田 茂樹	2	1	火5	西宮上ヶ原	—		
A		共通	情報技術概論	2	池田 瑞穂	2	1	木2	西宮上ヶ原	—		

秋 AI 活用人材育成科目 (P.59以降の「全学科目申込・履修についての諸注意」を必ず確認すること)											
申込方法	注意事項	担当窓口	科目名	クラス	担当者	単位	履修基準年度	曜日・時間	開講場所	受講者数制限	特記事項
A		共通	AI 活用入門	4	西野 均	2	1	火 4	西宮上ヶ原	150	
A		共通	AI 活用入門	5	西野 均	2	1	木 4	西宮上ヶ原	150	
A		共通	AI 活用入門	6	巴波 弘佳	2	1	水 3	神戸三田	150	
A		共通	AI 活用導入演習 A	3	西野 均	2	1	火 1	西宮上ヶ原	50	履修要件あり
A		共通	AI 活用導入演習 A	4	西野 均	2	1	水 4	神戸三田	50	履修要件あり
A		共通	AI 活用導入演習 B	3	西野 均	2	1	木 2	西宮上ヶ原	50	履修要件あり
A	※	共通	AI 活用導入演習 B	4	西野 均	2	1	水 5	神戸三田	50	履修要件あり
A		共通	AI 活用実践演習 A (Java による Web アプリケーションデザイン)	2	陰山 真矢	2	2	集中	西宮上ヶ原	50	履修要件あり、2月～3月予定
A		共通	AI 活用実践演習 B (Python による機械学習・深層学習)	2	岩森 俊哉	2	2	集中	西宮上ヶ原	50	履修要件あり、2月～3月予定
A		共通	AI 活用実践演習 C (Web デザイン)	2	陰山 真矢	2	2	集中	西宮上ヶ原	50	履修要件あり、2月～3月予定
A		共通	AI 活用データサイエンス実践演習 I	2	西野 均	2	2	集中	西宮上ヶ原	50	履修要件あり、2月～3月予定
A		共通	AI 活用データサイエンス実践演習 II	2	西野 均	2	3	集中	西宮上ヶ原	50	履修要件あり、2月～3月予定
A		共通	AI 活用発展演習 I	2	西野 均	2	3	集中	西宮上ヶ原	30	履修要件あり、2月～3月予定
秋 グローバルスタディーズ科目											
申込方法	注意事項	担当窓口	科目名	クラス	開講期	単位	履修基準年度	英語実施	開講場所	受講者数制限	特記事項
B		言セン	Language and Communication	8~16	秋	2	1	◎	上ヶ原・三田	12	英語要件あり
B		言セン	Culture and Society	9~18	秋	2	1	◎	上ヶ原・三田	12	英語要件あり
B		言セン	Academic Writing and Presentation	4~6	秋	2	1	◎	西宮上ヶ原	12	英語要件あり
B		言セン	Project-based Seminar in English (Study Abroad)	3~5	秋	2	1	◎	西宮上ヶ原	20	英語要件あり
B		言セン	Project-based Seminar in English (Career English)	3~4	秋	2	1	◎	西宮上ヶ原	15	英語要件あり
B		言セン	Project-based Seminar in English (Critical Writing)	2	秋	2	1	◎	西宮上ヶ原	12	英語要件あり
B		言セン	Project-based Seminar in English (Area Studies)	4~6	秋	2	1	◎	西宮上ヶ原	12	英語要件あり
B		CIEC	English for Cross-Cultural Studies B (Level 1)		秋	2	1	◎	西宮上ヶ原	15	
B		CIEC	English for Cross-Cultural Studies B (Level 2)		秋	2	1	◎	西宮上ヶ原	15	
B		CIEC	English for Cross-Cultural Studies B (Level 3)		秋	2	1	◎	西宮上ヶ原	15	
A		CIEC	国際情報分析	6~10	秋	2	1		上ヶ原・三田	24	
		CIEC	教育開発論		秋	2	1		西宮上ヶ原	—	
A		CIEC	プロジェクトマネジメント I	3~4	秋集中	2	1		西宮上ヶ原	24	
A		CIEC	グローバルゼミ A	6~10	秋	2	1		上ヶ原・三田	20	
A		CIEC	グローバルゼミ B	2	秋	2	3		西宮上ヶ原	—	国際ボランティアプログラム参加学生のみ対象
A		CIEC	グローバルスタディーズ入門	5~8	秋	2	1		上ヶ原・三田	45	
		CIEC	カナダ研究入門		秋	2	1		西宮上ヶ原	—	
A		CIEC	Topics in Canadian Studies A		秋	2	1	◎	西宮上ヶ原	—	
A		CIEC	Topics in Canadian Studies B		秋	2	1	◎	西宮上ヶ原	—	
B		CIEC	総合日本学習科目		秋・秋集中	2	1	◎	西宮上ヶ原	15	
B		CIEC	CCC Introduction to Multicultural Studies		秋・秋集中	2	1	◎	西宮上ヶ原	100	
B		CIEC	CCC Introduction to International Relations		秋集中	2	1	◎	西宮上ヶ原	100	
A		CIEC	日本語教育基礎	3~4	秋	2	1		上ヶ原・三田	40	
A		CIEC	日本語教育基礎演習	2	秋	2	1		西宮上ヶ原	20	
■		国連・外交	国連・外交入門 (平和・人権・人道)		秋	2	2	◎	西宮上ヶ原	—	MS 国連・外交プログラム履修許可者対象
■		国連・外交	国際教養としての時事問題		秋集中	1	1		西宮上ヶ原	50	1年生のみ履修可。選考あり。詳細は教学 Web、募集要項等参照
■		国連・外交	Career Seminar for International Organizations	2	秋	2	3	◎	西宮上ヶ原	15	MS 国連・外交プログラム履修許可者対象
秋 ライフデザイン科目 [2012年度以前入学生：学際・連携科目]											
申込方法	注意事項	担当窓口	科目名	クラス	代表者／コーディネータ	単位	履修基準年度	曜日・時間	開講場所	受講者数制限	特記事項
A	※	HoLC	ライフ・キャリア概論	4	阪口 悟	2	1	水 2	西宮上ヶ原	250	[社会の中での自分 (インターンシップ講義)] の単位修得者は履修不可
A	※	HoLC	ライフ・キャリア概論	5	阪口 悟	2	1	水 3	西宮上ヶ原	250	[社会の中での自分 (インターンシップ講義)] の単位修得者は履修不可
A	※	HoLC	ライフ・キャリア概論	6	富岡 克彦	2	1	木 2	西宮上ヶ原	250	[社会の中での自分 (インターンシップ講義)] の単位修得者は履修不可
A	※	HoLC	ライフ・キャリア概論	7	富岡 克彦	2	1	水 4	神戸三田	250	[社会の中での自分 (インターンシップ講義)] の単位修得者は履修不可
A		HoLC	ライフデザインと仕事 A 【日本企業編】	3	石田 秀朗	2	1	金 4	西宮上ヶ原	42	
A		HoLC	ライフデザインと仕事 A 【日本企業編】	4	石田 秀朗	2	1	金 5	西宮上ヶ原	42	
A		HoLC	ライフデザインと仕事 B 【外資系企業編】	1	勝又 あずさ	2	1	火 2	西宮上ヶ原	120	
A		HoLC	ライフデザインと仕事 B 【外資系企業編】	2	勝又 あずさ	2	1	火 3	西宮上ヶ原	120	
A	※	HoLC	ライフ・キャリア入門演習	7	渡辺 一成	2	1	火 1	西宮上ヶ原	42	[グローバルキャリアデザイン入門] の単位修得者は履修不可
A	※	HoLC	ライフ・キャリア入門演習	8	石田 典子	2	1	火 3	西宮上ヶ原	42	[グローバルキャリアデザイン入門] の単位修得者は履修不可
A	※	HoLC	ライフ・キャリア入門演習	9	石田 典子	2	1	火 4	西宮上ヶ原	42	[グローバルキャリアデザイン入門] の単位修得者は履修不可
A	※	HoLC	ライフ・キャリア入門演習	10	渡辺 一成	2	1	金 1	西宮上ヶ原	42	[グローバルキャリアデザイン入門] の単位修得者は履修不可
A	※	HoLC	ライフ・キャリア入門演習	11	渡辺 一成	2	1	火 3	神戸三田	42	[グローバルキャリアデザイン入門] の単位修得者は履修不可
A	※	HoLC	ライフ・キャリア入門演習	12	渡辺 一成	2	1	火 4	神戸三田	42	[グローバルキャリアデザイン入門] の単位修得者は履修不可
A		HoLC	ライフ・キャリア実践演習	7	石田 典子	2	1	木 3	西宮上ヶ原	42	
A		HoLC	ライフ・キャリア実践演習	8	石田 典子	2	1	木 4	西宮上ヶ原	42	
A		HoLC	ライフ・キャリア実践演習	9	渡辺 一成	2	1	金 3	西宮上ヶ原	42	
A		HoLC	ライフ・キャリア実践演習	10	渡辺 一成	2	1	金 4	西宮上ヶ原	42	
A		HoLC	ライフ・キャリア実践演習	11	渡辺 一成	2	1	木 3	神戸三田	42	
A		HoLC	ライフ・キャリア実践演習	12	渡辺 一成	2	1	木 4	神戸三田	42	
A		HoLC	ライフ・キャリア発展演習	3	勝又 あずさ	2	2	水 4	西宮上ヶ原	30	
A		HoLC	ライフ・キャリア発展演習	4	勝又 あずさ	2	2	水 2	神戸三田	30	
■	※	HoLC	インターンシップ実習	2	勝又 あずさ	1もしくは2	1	集中	各企業・団体	なし	詳細は「募集要項」を参照
■	※	HoLC	キャリアゼミ C		森 隆史	2	1	集中	上ヶ原・東京	40	詳細は「募集要項」を参照
■	※	HoLC	霞が関セミナー		勝又 あずさ	2	1	集中	上ヶ原・東京	60	詳細は「募集要項」を参照
■	※	HoLC	海外インターンシップ (アメリカ・ロサンゼルス)	2	勝又 あずさ	2	1	集中	ロサンゼルス	25	詳細は「国際教育・協力プログラム募集要項」参照
■	※	HoLC	ハンズオン・インターンシップ実習 (岩手)	2	木本 奥貴 浩一 麻紀	6	1	集中	岩手県	5	2月上旬から3月中旬の約1ヶ月間受入企業・団体でインターン
■	※	HoLC	ハンズオン・インターンシップ実習 (福井)	2	木本 奥貴 浩一 麻紀	6	1	集中	福井県	5	2月上旬から3月中旬の約1ヶ月間受入企業・団体でインターン
■	※	HoLC	ハンズオン・インターンシップ実習 (石川)	2	木本 奥貴 浩一 麻紀	6	1	集中	石川県	5	2月上旬から3月中旬の約1ヶ月間受入企業・団体でインターン

■	※	HoLC	ハンズオン・インターンシップ実習 (岡山)	2	木本 浩一 奥貴 麻紀	6	1	集中	岡山県	5	2月上旬から3月中旬の約1ヶ月間受入企業・団体でインターン	
■	※	HoLC	ハンズオン・インターンシップ実習 (大阪)	2	木本 浩一 奥貴 麻紀	6	1	集中	大阪府	10	2月上旬から3月中旬の約1ヶ月間受入企業・団体でインターン	
■	※	HoLC	ハンズオン・インターンシップ実習 (兵庫)	2	木本 浩一 奥貴 麻紀	6	1	集中	兵庫県	10	2月上旬から3月中旬の約1ヶ月間受入企業・団体でインターン	
秋 基盤・学際科目 [2012年度以前入学生:学際・連携科目]												
申込方法	注意事項	担当窓口	科目名	コース名・副題	クラス	代表者／コーディネータ	単位	履修基準年度	曜日時限	開講場所	受講者数制限	特記事項
A		共通	「関学」学	関西学院の歴史	2	嶺重 淑	2	1	月4	西宮上ヶ原	300	
		共通	「関学」学	関西学院の歴史	3	細見 和志	2	1	火5	神戸三田	—	
		共通	人権教育科目003	在日朝鮮人と人権B		高島 千代	2	1	火4	西宮上ヶ原	—	
A		共通	人権教育科目005	ジェンダーと人権B		倉島 哲	2	1	火3	西宮上ヶ原	200	
		共通	人権教育科目007	人権と共生		村瀬 義史	2	1	木5	神戸三田	—	
A		共通	人権教育科目009	多文化社会と人権		高井 由起子	2	1	月2	西宮上ヶ原	200	
		共通	人権教育科目012	部落差別と人権B		宮下 博幸	2	1	月4	西宮上ヶ原	—	
A	※	共通	人権教育科目016	人権問題演習		阿部 潔	2	1	月4	西宮上ヶ原	24	先修条件あり
A	※	共通	人権教育科目017	障害と人権		小谷 正登	2	1	木3	西宮上ヶ原	150	
A		共通	災害復興学	一人ひとりに着目した「人間復興」の学問的理論を考える		斉藤 容子	2	1	金2	西宮上ヶ原	100	
A		共通	総合コース214	地方創生・地域再生論		大熊 省三	2	2	月5	西宮上ヶ原	50	
		共通	寄附講座206	大学とスポーツ		岡田 太志	2	1	金1	西宮上ヶ原	—	
		共通	連携講座002	たからづか学		佐竹 隆幸	2	1	木4	西宮上ヶ原	—	
		共通	連携講座005	医学入門B		辻村 亨	2	1	水4	西宮上ヶ原	—	
		共通	連携講座016	地域メディア論		佐藤 善信	2	1	火4	西宮上ヶ原	—	
A		共通	スタディスキルセミナー (読む・書く・話す・聴く)		7	渡辺 一成	2	1	月1	西宮上ヶ原	30	
A		共通	スタディスキルセミナー (読む・書く・話す・聴く)		8	渡辺 一成	2	1	月2	西宮上ヶ原	30	
A		共通	スタディスキルセミナー (読む・書く・話す・聴く)		9	渡辺 一成	2	1	月5	西宮上ヶ原	30	
A		共通	スタディスキルセミナー (読む・書く・話す・聴く)		10	渡辺 一成	2	1	水1	西宮上ヶ原	30	
A		共通	スタディスキルセミナー (読む・書く・話す・聴く)		11	渡辺 一成	2	1	水2	西宮上ヶ原	30	
A		共通	スタディスキルセミナー (読む・書く・話す・聴く)		12	渡辺 一成	2	1	水4	神戸三田	30	
A	※	共通	スタディスキルセミナー (レポート執筆の基礎)		15	西口 啓太	2	1	月2	西宮上ヶ原	20	
A	※	共通	スタディスキルセミナー (レポート執筆の基礎)		16	西口 啓太	2	1	月3	西宮上ヶ原	20	
A	※	共通	スタディスキルセミナー (レポート執筆の基礎)		17	西口 啓太	2	1	月4	西宮上ヶ原	20	
A	※	共通	スタディスキルセミナー (レポート執筆の基礎)		18	西口 啓太	2	1	火2	西宮上ヶ原	20	
A	※	共通	スタディスキルセミナー (レポート執筆の基礎)		19	西口 啓太	2	1	火3	西宮上ヶ原	20	
A	※	共通	スタディスキルセミナー (レポート執筆の基礎)		20	西口 啓太	2	1	火4	西宮上ヶ原	20	
A	※	共通	スタディスキルセミナー (レポート執筆の基礎)		21	福山 佑樹	2	1	水2	西宮上ヶ原	20	
A	※	共通	スタディスキルセミナー (レポート執筆の基礎)		22	福山 佑樹	2	1	水3	西宮上ヶ原	20	
A	※	共通	スタディスキルセミナー (レポート執筆の基礎)		23	福山 佑樹	2	1	水4	西宮上ヶ原	20	
A	※	共通	スタディスキルセミナー (レポート執筆の基礎)		24	福山 佑樹	2	1	木2	西宮上ヶ原	20	
A	※	共通	スタディスキルセミナー (レポート執筆の基礎)		25	福山 佑樹	2	1	木4	西宮上ヶ原	20	
A	※	共通	スタディスキルセミナー (レポート執筆の基礎)		26	福山 佑樹	2	1	木5	西宮上ヶ原	20	
A	※	共通	スタディスキルセミナー (レポート執筆の基礎)		27	三井 規裕	2	1	金3	西宮上ヶ原	20	
A	※	共通	スタディスキルセミナー (レポート執筆の基礎)		28	三井 規裕	2	1	金4	西宮上ヶ原	20	
A		共通	スタディスキルセミナー (文章表現)		3	中村 正憲	2	1	木3	西宮上ヶ原	20	
A		共通	スタディスキルセミナー (文章表現)		4	中村 正憲	2	1	木4	西宮上ヶ原	20	
A	※	共通	スタディスキルセミナー (プレゼンテーション)		3	三井 規裕	2	1	火3	西宮上ヶ原	30	
A	※	共通	スタディスキルセミナー (プレゼンテーション)		4	三井 規裕	2	1	金2	西宮上ヶ原	30	
A	※	HoLC	ハンズオン・プラクティス		2	木本 浩一	2	1	集中	上ヶ原・淡路島	25	土曜日集中開講
A		HoLC	社会探究入門		4	木本 浩一	2	1	火3	西宮上ヶ原	45	
A		HoLC	社会探究入門		5	奥貴 麻紀	2	1	水2	西宮上ヶ原	45	
A		HoLC	社会探究入門		6	木本 浩一	2	1	水2	神戸三田	45	
A		HoLC	社会探究リサーチ・ベーシックB (定性編)		1	時任 隼平	2	1	月2	西宮上ヶ原	30	
A		HoLC	社会探究リサーチ・ベーシックB (定性編)		2	時任 隼平	2	1	火2	神戸三田	30	
■	※	HoLC	社会探究実習 I (瀬戸内海・豊島環境 FW)		2	木本 浩一	2	1	集中	香川県豊島	15	詳細は「募集要項」を参照
■	※	HoLC	社会探究実習 I (広島・江田島平和 FW)		2	木本 浩一	2	1	集中	広島県江田島	15	詳細は「募集要項」を参照
■	※	HoLC	社会探究実習 II (瀬戸内海・豊島環境 FW)		2	木本 浩一	2	1	集中	香川県豊島	5	詳細は「募集要項」を参照
■	※	HoLC	社会探究実習 II (広島・江田島平和 FW)		2	木本 浩一	2	1	集中	広島県江田島	5	詳細は「募集要項」を参照
A	※	HoLC	PBL 特別演習004【富士ゼロックス兵庫棟「志プロジェクト」】			時任 隼平	4	1	月4 月5	西宮上ヶ原	24	学期期間中に数回企業訪問あり
A		HoLC	PBL 特別演習005【アントレプレナー養成講座】		1	西元 涼	2	1	月5	西宮上ヶ原	25	
A		HoLC	PBL 特別演習005【アントレプレナー養成講座】		2	西元 涼	2	1	月3	神戸三田	25	
A	※	HoLC	PBL 特別演習009【三木市・旧市街地 FW】		2	奥貴 麻紀	2	1	火2	上ヶ原・三木	15	週末に数回現地実習あり
A	※	HoLC	社会探究実践演習 I (篠山・今田コミュニティ・ガバナンス FW)		2	木本 浩一	4	1	水3 水4	神戸三田・篠山	20	週末に数回現地実習あり
A	※	HoLC	社会探究実践演習 I (朝来・竹田城下町活性化 PJ)		2	奥貴 麻紀	4	1	木3 木4	上ヶ原・朝来	20	週末に数回現地実習あり
A	※	HoLC	社会探究実践演習 II (篠山・今田コミュニティ・ガバナンス FW)		2	木本 浩一	4	1	水3 水4	神戸三田・篠山	5	週末に数回現地実習あり
A	※	HoLC	社会探究実践演習 II (朝来・竹田城下町活性化 PJ)		2	奥貴 麻紀	4	1	木3 木4	上ヶ原・朝来	5	週末に数回現地実習あり

秋学期集中科目は、2020年度秋学期卒業見込者は履修できません。(ただし、ハンズオン・ラーニングセンター開講「ハンズオン・プラクティス」を除く)
ただし、CCCプログラム (Certificate Program, MS 特別プログラム「クロス・カルチュラル・スタディーズ」) 登録者及び実践型「世界市民」育成プログラム・グローバルリーダーコース登録者でCIEC開講の集中科目の履修を希望する場合は、CIEC事務室まで個別相談に来てください。

2020年度 全学科目申込・履修についての諸注意

《スポーツ科学・健康科学科目》

スポーツ科学・健康科学科目は、**全科目申込手続き**が必要です。

履修を希望する方は下記および教学 Web サービス「お知らせ」を参照してください。

■優先申込について

予備登録（申込）より前に、下記対象者は優先申込をすることができます。

※履修希望者が優先申込定員を上回った場合は、抽選となります。

対象者	教育職員免許状取得のために履修する必要のある3年生以上の未履修者
対象科目	「体育方法学講義C」・「体育方法学演習C」
申込方法	教学 Web サービス (URL : https://webinfo.kwansei.ac.jp/) ※講義・演習科目ともに第2希望まで申し込むことができます。
発表	教学 Web サービス

◆春学期：申込期間 2020年3月24日(火) 8:50～3月25日(水) 16:50締切

発表 2020年3月27日(金) 8:50～

◆秋学期：申込期間 2020年9月7日(月) 9:00～9月8日(火) 16:00締切

発表 2020年9月10日(木) 9:00～

I. 申込にあたっての注意事項

1. 1学期（春学期又は秋学期）に履修できる科目は講義1科目、演習1科目の2科目4単位までです。
2. 同一名称科目は、異なるクラス・種目であっても重複して履修することはできません。
例) 【スポーツ科学演習A1：卓球】を履修済みの場合は【スポーツ科学演習A21：バドミントン】を履修できません（同じ「スポーツ科学演習A」であるため）。
3. 講義科目は開講科目数まで、演習科目は第5希望まで申し込むことができます。
(ただし、教職希望者の優先申込については、この限りではありません。※「優先申込について」参照のこと)
4. 科目には、西宮上ヶ原キャンパス開講と神戸三田キャンパス開講のものが 있습니다。確認の上、履修可能な科目を申し込むようにしてください。
※キャンパスを間違えて申込みをした場合でも、申込期間を過ぎると取消は出来ません。

スポーツ科学・健康科学科目は、全科目が申込科目のため

履修の中止を申請することはできません。

学部の必修科目等と重複しないように注意してください。

II. 履修にあたっての諸注意

1. 卒業要件との関係

全学部自由選択（時間が許す範囲で履修することができます）

2. 教職課程を履修する場合

スポーツ科学・健康科学科目は、教育職員免許状を取得する学生（教育学部生を除く）にとって種類・教科に関係なく、必修の科目です。「体育方法学講義C」と「体育方法学演習C」を履修することが望ましいですが、その他の科目（「健康科学」、「余暇生活学」を除く）の講義科目および演習科目からそれぞれ1科目2単位の合計2科目4単位を選択し履修しても構いません。

※理工学部生、総合政策学部生、人間福祉学部生および国際学部生は必ず「体育方法学講義C」と「体育方法学演習C」を履修してください。

※優先申込制度があります（教育学部を除く）。

※履修に際しては、教職教育研究センターの『教職課程等履修要項』を参照してください。

3. 養護コース

身体活動を制限および禁止されている学生のために、「体育方法学演習C」の中に「養護コース」を設けています。授業内容は健康・体力状態等により決定します。養護コースを希望する学生は、教務機構事務部まで申し出てください。

申込期間：春学期 2020年4月3日(金) 16:50まで

秋学期 2020年9月8日(火) 16:00まで

4. 集中講義

春学期開講の「余暇生活学演習C（夏期アウトドア：キャンプ）」および、秋学期開講の「余暇生活学演習D（冬期アウトドア：スキー・スノーボード）」は集中講義として開講されます。集中講義は、受講にあたり別途実習参加費等の負担が発生します。また、実習の前に行われる全ての事前授業に出席しなければ実習への参加が最終的に認められません。必ず事前授業を含めた全授業日程に参加できることを確認した上で申し込みをしてください。集中講義実施の詳細内容については「教学 Web サービス」のシラバスを参照してください。

なお、集中講義は当該科目が開講される学期末に卒業見込みの方は履修申込ができません。

5. 演習科目の履修についての諸注意

1) 第1回目の授業

演習科目の第1回目の授業はオリエンテーションを行います。更衣はせずに下記の場所に集合してください。また、集合場所が変更になる場合は、教学 Web サービスの「お知らせ」にてお知らせします。

学期	科目名	集合場所
春	西宮上ヶ原キャンパス開講 全演習科目	総合体育館2F
	神戸三田キャンパス開講 全演習科目	未定※
秋	西宮上ヶ原キャンパス開講 全演習科目	総合体育館2F
	神戸三田キャンパス開講 全演習科目	未定※

※上記未定の教室は決定次第、教学 Web サービスの「お知らせ」にてお知らせします。

2) 授業場の指示（毎回の授業開始前に必ず確認してください）

西宮上ヶ原キャンパス：当日、総合体育館1Fエントランスホールの掲示板にて指示。

神戸三田キャンパス：当日、体育館ロビーのホワイトボードにて指示。

3) 受講時の服装など

動きやすく通気性のよいトレーニングウェアを着用し、体育館内では屋内専用の運動靴を用意してください。また、グラウンド等の屋外では運動に適したシューズを用意してください。

4) 「総合体育館」(西宮上ヶ原キャンパス) および「体育館アリーナ」(神戸三田キャンパス)の利用際の注意事項

- ①ロッカー、下足箱は授業に際しての利用に限ります。授業終了後は私物を持ち帰ってください。また、貴重品の管理は各自で十分注意してください。
- ②シャワー室は基本的に授業終了後に利用可能です。
- ③屋外授業で靴に着いた泥や砂は、入り口のマットでよく払ってから入館してください。

5) 成績評価

演習科目の特性上、成績評価には授業予定開講回数の3/4以上の出席を必要とし、出席態度、技術・体力、レポート等により総合評価します(講義科目と集中講義は「教学 Web サービス」のシラバスを参照してください)。

《情報科学科目》

情報科学科目の一部の科目以外は、申込み手続きが必要です。履修を希望する方は下記および教学 Web サービス「お知らせ」を参照してください。

I. 申込にあたっての注意事項

1. 申込グループ

以下の5グループにつき、1学期間にそれぞれ1クラスずつ、合計5クラス履修できます。ただし、予備登録(申込)後に定員に余裕があり、追加募集を行う場合はこの限りではありません。

グループ	科目
コンピュータ基礎	コンピュータ基礎
コンピュータ実践	表計算、データ分析
プログラミング言語基礎(1)	C(秋のみ)、Excel VBA(春のみ)、Java、JavaScript、Python
プログラミング言語基礎(2)	ActionScript、Processing
プログラミング言語応用	PHP

予備登録(申込)時には各グループにつき、最大第3希望のクラスまで申し込むことができます。なお、履修発表後は、原則として履修を取り消すことはできません。

2. 同一名称科目

下表の科目は同一名称科目として取り扱うので、表の右の科目(旧科目)の単位を既に修得している場合、左の科目(現科目)を履修できません。

現科目	旧科目
プログラミング言語基礎(C)	コンピュータ言語(C言語) 《2019年度まで開講》
プログラミング言語基礎(Java)	コンピュータ言語(Java言語) 《2019年度まで開講》
プログラミング言語基礎(Excel VBA)	コンピュータ実践(Excel VBA) 《2019年度まで開講》
プログラミング言語応用(PHP)	コンピュータ実践(Webコンピューティング) 《2019年度まで開講》 コンピュータ実践(データベース) 《2011年度まで開講》

Ⅱ. 履修にあたっての諸注意

1. 「コンピュータ実践」、「プログラミング言語基礎」、「プログラミング言語応用」は、すでにある程度のコンピュータに関する知識や利用経験を持つ学生を対象として開講するもので、「コンピュータ基礎」の授業内容を踏まえた科目です。スマートフォンしか使用したことがない学生、Word、Excel 等の入力程度しか経験がない学生はまず「コンピュータ基礎」を履修してください。
2. 所属学部により次のとおり履修できない科目があるので注意してください。

所属学部	履修できない科目
文学部、教育学部	コンピュータ基礎
理工学部	全学科目の情報科学科目のすべての科目
総合政策学部	コンピュータ基礎、文科系学生のための情報技術入門、情報技術概論

《AI 活用人材育成科目》

AI 活用人材育成科目は全科目申込手続きが必要です。履修を希望する方は下記及び教学 Web サービス「お知らせ」を参照してください。

I. 申込にあたっての諸注意

1. 先修条件

下表の科目は、以下のとおり先修条件が設けられています。科目申込み時に先修科目を修得していることが必要です。

授業科目	先修科目
「AI 活用導入演習 A・B」 「AI 活用実践演習 A (Java による Web アプリケーションデザイン)」 「AI 活用実践演習 B (Python による機械学習・深層学習)」 「AI 活用実践演習 C (Web デザイン)」 「AI 活用データサイエンス実践演習 I」	「AI 活用入門」
「AI 活用発展演習 I」	「AI 活用導入演習 A・B」 「AI 活用実践演習 A (Java による Web アプリケーションデザイン)」 「AI 活用実践演習 B (Python による機械学習・深層学習)」 「AI 活用実践演習 C (Web デザイン)」 のすべての科目
「AI 活用データサイエンス実践演習 II」	「AI 活用データサイエンス実践演習 I」
「AI 活用発展演習 II」(2020年度不開講)	「AI 活用発展演習 I」 「AI 活用データサイエンス実践演習 II」 のすべての科目

2. 集中講義

- 1) 集中講義は、当該科目が開講される学期末に卒業見込みの方は履修申込ができません。
- 2) 授業日程の重複する集中講義を同時に複数科目履修することはできません。事前にシラバス等で授業日程を確認し、注意して申込みしてください。

3. 開講キャンパス

科目には、西宮上ヶ原キャンパス開講と神戸三田キャンパス開講のものがあります。確認の上、履修可能な科目を申し込むようにしてください。キャンパスを間違えて申込みをした場合でも、申込期間を過ぎると取り消しはできません。

4. 履修発表後は、原則として履修を取り消すことはできません。学部の必修科目等と重複しないように注意してください。

II. 履修にあたっての諸注意

1. AI 活用人材育成科目は、AI やデータサイエンスに対する強い学習意欲を持っている学生を対象として開講する科目です。AI やデータサイエンス、プログラミングに関する知識やスキルがなくても受講可能ですが、基本的な PC スキルやインターネットスキルは事前に身につけておいてください。スマートフォンしか使用したことがない学生、Word や Excel 等の入力程度しか経験がない学生はまず情報科学科目「コンピュータ基礎」等から履修することをお勧めします。
2. AI 活用人材育成科目では、履修学生が各自のノート PC を持参し、通常教室で授業を行います。履修に先立ち、各自でノート PC (Microsoft Windows 10、または Mac OS X 10.8以上) を必ず準備してください。もし PC の新規購入を検討する場合は、持ち運びが可能な軽量 PC、記憶媒体は HDD ではなく SSD の PC をお勧めします。必要なソフトウェアなどについては、初回授業時に説明します。また、本科目では課題も出され、学内で作業を行うこともあるため、授業開始までに学内ネットワーク (持込デバイス用 (無線) KGU-WLAN) の利用申請を済ませておいてください。利用申請の詳細は「情報環境機構 Web サイト『学内ネットワークに接続』のページ」を参照してください。

《ライフデザイン科目 [2012年度以前入学生：学際・連携科目]》

次の科目については、別途募集要項が公開されるので、要項も熟読し、内容を確認の上で履修申し込みをしてください。

【募集要項を別途作成・公開する科目】	
● ライフ・キャリア リーダーシップ実習	● ハンズオン・インターンシップ実習
● インターンシップ実習	● キャリアゼミ B
● 海外インターンシップ	● キャリアゼミ C
(*CIEC『国際教育・協力プログラム募集要項』参照)	● 霞が関セミナー

I. 申込にあたっての諸注意

1. 同一名称科目

次の科目は同一名称科目として取り扱うので、表の右の科目（旧科目）の単位を既に修得している場合、左の科目（現科目）を履修できません。

現 科 目	旧 科 目
ライフ・キャリア概論	社会の中での自分（インターンシップ講義） 《2017年度まで開講》
ライフ・キャリア入門演習	グローバルキャリアデザイン入門 《2016年度まで開講》
海外インターンシップ （アメリカ・ロサンゼルス）	海外インターンシップ 《2017年度まで開講》
ハンズオン・インターンシップ実習（石川）	ハンズオン・インターンシップ実習（石川・能登） 《2018年度まで開講》
ハンズオン・インターンシップ実習（岡山）	ハンズオン・インターンシップ実習（岡山・笠岡） 《2018年度まで開講》
ハンズオン・インターンシップ実習（大阪）	ハンズオン・インターンシップ実習（大阪・尼崎） 《2018年度まで開講》
ハンズオン・インターンシップ実習（兵庫）	ハンズオン・インターンシップ実習（大阪・尼崎） 《2018年度まで開講》

2. インターンシップ実習

キャリアセンター提供の「KG 枠インターンシップ」もしくは、各自でエントリー、参加するインターンシップを活用して履修申込をすることができます。申込にあたっては、参加日数や各種研修参加など条件がありますので、詳細は、ハンズオン・ラーニングセンター発行「インターンシップ実習募集要項」を参照してください。

3. 海外インターンシップ

国際教育・協力センターが募集・実施する「短期海外インターンシップ（アメリカ・ロサンゼルス）」、「短期海外インターンシップ（ベトナム・ハノイ）」に参加し、その取り組み内容を成績評価します。プログラムの実施内容・申込みについては、国際教育・協力センターが発行する『国際教育・協力プログラム募集要項』を参照してください。

(<https://ciec.kwansei.ac.jp/abroad/preparation/internationaleducation/>)

4. ハンズオン・インターンシップ実習

夏休みや春休みの約6週間にわたって実施する実践的なインターンシッププログラムです。科目を地域毎に開講するので、異なる地域であれば重複履修は可能です。

5. 集中講義

1) 次の科目は、2020年9月卒業見込の方は履修申込ができません。

「ライフ・キャリア リーダーシップ実習」「キャリアゼミB」「海外インターンシップ（アメリカ・ロサンゼルス）1」「海外インターンシップ（ベトナム・ハノイ）」「インターンシップ実習1」「ハンズオン・インターンシップ実習1」

2) 次の科目は、2021年3月卒業見込の方は履修申込ができません。

「霞が関セミナー」「キャリアゼミC」「海外インターンシップ（アメリカ・ロサンゼルス）2」「インターンシップ実習2」「ハンズオン・インターンシップ実習2」

3) 授業日程の重複する集中講義を同時に複数科目履修することはできません。事前にシラバス等で授業日程を確認し、注意して申込みしてください。

4) 次の科目は、当年度の進級判定には含まれません。

「霞が関セミナー」「キャリアゼミC」「海外インターンシップ(アメリカ・ロサンゼルス)2」「インターンシップ実習2」「ハンズオン・インターンシップ実習2」

II. 履修にあたっての諸注意

1. ライフ・キャリア リーダーシップ実習

- ・5月下旬に発行予定の『2020年度ライフ・キャリア リーダーシップ実習募集要項』をよく確認した上で、応募してください。
- ・履修にあたっては、参加費(約5,000円)の納入が必要です。また、東京への往復交通費、都内での交通費、食費は参加費には含まれませんので注意してください。

《2020年度「ライフ・キャリア リーダーシップ実習」開講予定日》

6月20日(土) : 事前学修

8月6日(木)～8月7日(金) : 東京での合宿

9月16日(水) : 事後学修

2. インターンシップ実習〈春学期集中・秋学期集中〉

事前に履修申込の上、インターンシップ事前・事後研修の出席が必要です。5日以上かつ実習時間30時間以上60時間未満で1単位、8日以上かつ60時間以上で2単位とします。また、1学期につき、最大2単位まで履修申込が可能です。詳細については、ハンズオン・ラーニングセンター発行「インターンシップ実習募集要項」を参照してください。

3. ハンズオン・インターンシップ実習〈春学期集中・秋学期集中〉

〈春学期〉

5月に履修説明会、6月初旬にプロジェクト説明会を実施し、面接を経て派遣先を決定します。なお、実習期間中の交通費等は原則自己負担となります。

〈秋学期〉

10月に説明会、11月初旬にプロジェクト説明会を実施し、面接を経て派遣先を決定します。なお、実習期間中の交通費等は原則自己負担となります。

4. キャリアゼミA

- ・履修にあたっては、参加費(約2,000円)の納入が必要です。
- ・本科目は木曜日(神戸三田)、金曜日(西宮上ヶ原)だけでなく、土曜日にもクラス合同で開講される回があります。

《2020年度「キャリアゼミA」開講予定日》

上ヶ原開講：4月10日(金)、4月17日(金)、4月24日(金)、5月8日(金)、5月22日(金)、5月29日(金)、6月12日(金)、6月19日(金)、6月26日(金)、7月3日(金)、7月10日(金)

三田開講：4月9日(木)、4月16日(木)、4月23日(木)、5月7日(木)、5月21日(木)、5月28日(木)、6月11日(木)、6月18日(木)、6月25日(木)、7月2日(木)、7月9日(木)

合同開講：5月16日(土)、7月4日(土)

5. キャリアゼミB 〈春学期集中〉

- ・5月下旬に発行予定の『2020年度キャリアゼミB募集要項』をよく確認した上で、応募してください。
- ・履修にあたっては、実習先への往復交通費、食費等が必要です。

《2020年度 「キャリアゼミB」 開講予定日》

8月1日(土)	: 事前学修
8月8日(土)～8月10日(月)	: 大阪梅田キャンパスでの集中講義
8月11日(火)	: 事後学修

6. キャリアゼミC 〈秋学期集中〉

- ・10月下旬に発行予定の『2020年度キャリアゼミC募集要項』をよく確認した上で、応募してください。
- ・履修にあたっては、参加費(約12,000円)の納入が必要です。また、東京への往復交通費、都内での交通費、食費は参加費には含まれませんので注意してください。

《2020年度 「キャリアゼミC」 開講予定日》

2月26日(金)	: 事前学修
3月1日(月)～3月5日(金)	: 東京での合宿
3月8日(月)	: 事後学修

7. 霞が関セミナー 〈秋学期集中〉

- ・10月下旬に発行予定の『2020年度霞が関セミナー募集要項』をよく確認した上で、応募してください。
- ・履修にあたっては、参加費(約8,000円)の納入が必要です。また、東京への往復交通費、都内での交通費、食費は参加費には含まれませんので注意してください。
- ・プログラム中は、原則としてスーツ着用となります。

《2020年度 「霞が関セミナー」 開講予定日》

1月30日(土)	: 事前学修
2月16日(火)～2月19日(金)	: 東京での合宿
3月11日(木)	: 事後学修

《基盤・学際科目 [2012年度以前入学生：学際・連携科目]》

次の科目については、後日、別途募集要項を公表します。募集要項の内容を確認の上、申し込んでください。

募集要項を別途作成・公表する科目

- 平和学特別演習「ヒロシマ」
- 社会探究実習Ⅰ・Ⅱ(瀬戸内海・豊島環境FW)
- 社会探究実習Ⅰ・Ⅱ(広島・江田島平和FW)
- PBL特別演習002【JETRO×産研連携講座】
- PBL特別演習006【公認会計士と挑む企業のビジネス課題】
- PBL特別演習008【福島で学ぶ復興と原発問題】

I. 申込にあたっての諸注意

1. 先修条件

下表の科目は履修にあたり、先修条件が設けられています。科目申込み時に先修科目を修得していることが必要です。

授業科目	先修科目
人権教育科目016【人権問題演習】	人権教育科目001～015、017のうち、1科目以上
社会探究実習Ⅱ（瀬戸内海・豊島環境FW）	社会探究実習Ⅰ（瀬戸内海・豊島環境FW）、または社会探究実習Ⅰ（広島・江田島平和FW）
社会探究実習Ⅱ（広島・江田島平和FW）	社会探究実習Ⅰ（広島・江田島平和FW）、社会探究実習Ⅰ（瀬戸内海・豊島環境FW）、または平和学特別演習「ヒロシマ」
社会探究実践演習Ⅱ（篠山・今田コミュニティ・ガバナンスFW）	社会探究実践演習Ⅰ（篠山・今田コミュニティ・ガバナンスFW）
社会探究実践演習Ⅱ（朝来・竹田城下町活性化PJ）	社会探究実践演習Ⅰ（朝来・竹田城下町活性化PJ）

2. 同一名称科目

下表の科目は同一名称科目として取り扱うので、表の右の科目（旧科目）の単位を既に修得している場合、左の科目（現科目）を履修できません。

現科目	旧科目
人権教育科目017【障害と人権】	人権教育科目006【障害と人権】 人権教育科目014【障害と人権A】 人権教育科目015【障害と人権B】
スタディスキルセミナー（論文作成）	スタディスキルセミナー（文章力を身につけよう！）
スタディスキルセミナー（レポート執筆の基礎）	スタディスキルセミナー（論文作成） スタディスキルセミナー（文章力を身につけよう！）
スタディスキルセミナー（プレゼンテーション）	スタディスキルセミナー（プレゼン力を身につけよう！）
PBL 特別演習007【阪急阪神HD(株)と挑む社会課題】	PBL 特別演習007【阪急阪神ホールディングス(株) 社会課題解決PJ】
PBL 特別演習008【福島で学ぶ復興と原発問題】	PBL 特別演習001【福島から原発を考える】

3. 集中講義の申し込みについて

1) 次の科目は、2020年9月卒業見込の方は履修申込ができません。

〈共通教育センター〉

連携講座006、連携講座008、連携講座009、連携講座014

〈ハンズオン・ラーニングセンター（HoLC）〉

平和学特別演習「ヒロシマ」、社会探究実習Ⅰ・Ⅱ（瀬戸内海・豊島環境FW）1、

PBL 特別演習002【JETRO×産研連携講座】

PBL 特別演習006【公認会計士と挑む企業のビジネス課題】

PBL 特別演習008【福島で学ぶ復興と原発問題】

- 2) 次の科目は、2021年3月卒業見込の方は履修申請ができません。
 〈ハンズオン・ラーニングセンター (HoLC)〉
 社会探究実習Ⅰ・Ⅱ (瀬戸内海・豊島環境 FW) 2
 社会探究実習Ⅰ・Ⅱ (広島・江田島平和 FW)
- 3) 授業日程の重複する集中講義を同時に複数科目履修することはできません。事前にシラバス等で授業日程を確認し、注意して申込みしてください。
- 4) 次の科目は、当年度の進級判定には含まれません。
 社会探究実習Ⅰ・Ⅱ (瀬戸内海・豊島環境 FW) 2
 社会探究実習Ⅰ・Ⅱ (広島・江田島平和 FW)

Ⅱ. 履修にあたっての諸注意

〈共通教育センター〉

「連携講座006 (早期臨床体験実習)」

受講には4種 (麻疹、風疹、流行性耳下腺炎、水痘) の2回接種歴があることを原則とする。ワクチン接種実施証明書 (医療機関等での証明又は母子手帳 (写)) を提出すること。4月の時点で2回の接種歴がない場合は抗体検査を行い、検査結果に応じて必要なワクチン接種を実習までに完了すること。なお、抗体検査は自費となるため注意すること (金額9,730円)。受講者には教学 Web サービスで連絡します。

※以下の科目について、開講時間や場所等の詳細は受講者に7月中旬頃教学 Web サービスで連絡をするので注意してください。

「連携講座006 (早期臨床体験実習)」 「連携講座008 (医療入門)」

「連携講座009 (東洋医学入門)」 「連携講座014 (臨床ゲノム医学入門)」

〈ハンズオン・ラーニングセンター (HoLC)〉

1. 「平和学特別演習『ヒロシマ』」〈春学期集中〉

- ・『2020年度「平和学特別演習『ヒロシマ』」募集要項』を確認の上、応募してください。
- ・実施日程は8月3日(月)～8月7日(金)。5月23日(土)、7月4日(土)〈予定〉に、事前学修を2回実施予定のため、教学 Web サービスでの連絡に注意してください。なお、交通費、宿泊代等の諸費用として35,000円程度 (予定) が必要です。

2. ハンズオン・プラクティス

1 クラス 〈春学期集中〉

隔週土曜日を中心に開講します。5月9日(土)～5月10日(日)、6月27日(土)～6月28日(日)現地実習を実施予定のため、予めスケジュールを空けておいてください。なお、宿泊代等の諸費用として、5,000円程度 (予定) が必要です。

2 クラス 〈秋学期集中〉

隔週土曜日を中心に開講します。10月24日(土)～10月25日(日)、12月12日(土)～12月13日(日)現地実習を実施予定のため、予めスケジュールを空けておいてください。なお、宿泊代等の諸費用として、5,000円程度 (予定) が必要です。

3. 「社会探究実習Ⅰ・Ⅱ（瀬戸内海・豊島環境FW）」
『2020年度「社会探究実習Ⅰ・Ⅱ（瀬戸内海・豊島環境FW）」募集要項』を確認の上、応募してください。
- 1 クラス〈春学期集中〉
実施日程は8月8日(土)～8月14日(金)。5～7月に数回事前学修を実施予定のため、教学Webサービスでの連絡に注意してください。なお、現地での交通費、宿泊代等の諸費用として35,000円程度(予定)が必要です。現地までの交通費は含まれませんので注意してください。
- 2 クラス〈秋学期集中〉
実施日程は2月23日(火)～2月28日(日)。10～2月に数回事前学修を実施予定のため、教学Webサービスでの連絡に注意してください。なお、交通費、宿泊代等の諸費用として35,000円程度(予定)が必要です。現地までの交通費は含まれませんので注意してください。
4. 「社会探究実習Ⅰ・Ⅱ（広島・江田島平和FW）」〈秋学期集中〉
- ・『2020年度「社会探究実習Ⅰ・Ⅱ（広島・江田島平和FW）」募集要項』を確認の上、応募してください。
 - ・実施日程は2月9日(火)～2月14日(日)。10～2月に数回事前学修を実施予定のため、教学Webサービスでの連絡に注意してください。なお、現地での交通費、宿泊代等の諸費用として15,000円程度(予定)が必要です。現地までの交通費は含まれませんので注意してください。
5. 「社会探究実践演習Ⅰ・Ⅱ（篠山・今田コミュニティ・ガバナンスFW）」〈春学期・秋学期〉
学期期間中に数回週末に現地でのフィールドワークを実施予定です。なお、現地への交通費等は原則自己負担です。
6. 「社会探究実践演習Ⅰ・Ⅱ（朝来・竹田城下町活性化PJ）」〈春学期・秋学期〉
学期期間中に数回週末に現地でのフィールドワークを実施予定です。なお、交通費、宿泊費等の諸費用として25,000円程度(予定)が必要です。
7. 「PBL 特別演習002【JETRO×産研連携講座】」〈春学期集中〉
- ・『2020年度PBL 特別演習002【JETRO×産研連携講座】募集要項』を確認の上、応募してください。
 - ・6月に事前学修を実施し、8月上旬にJETROの職員を講師に招いて4日間授業実施予定です。スケジュールはシラバスや募集要項を参照してください。
8. 「PBL 特別演習004【富士ゼロックス兵庫(株)「志プロジェクト」】」
県内に本社を置く企業の課題解決に取り組むプロジェクト科目です。学期期間中に数回企業を訪問します(2019年度協力企業は(株)トリプロ・プラス、(株)阪急ハロードッグの2社)。なお、企業訪問にかかる交通費は自己負担です。

9. 「PBL 特別演習006【公認会計士と挑む企業のビジネス課題】」〈春学期集中〉
- ・ 5月下旬発行予定の『2020年度 PBL 特別演習006【公認会計士と挑む企業のビジネス課題】募集要項』を確認の上、応募してください。
 - ・ プログラム中は、原則スーツ着用となります。

《2020年度「PBL 特別演習006【公認会計士と挑む企業のビジネス課題】」開講予定日》

7月下旬（予定）：事前学修
 8月下旬（予定）：プログラム実施
 9月上旬（予定）：事後学修

10. 「PBL 特別演習007【阪急阪神 HD 株と挑む社会課題】」
 阪急阪神ホールディングス株と連携し、地域や社会における課題に対する事業提案に、チームで挑戦するプロジェクト科目です。学期期間中に数回企業を訪問します。なお、企業訪問にかかる交通費は自己負担です。
11. 「PBL 特別演習008【福島で学ぶ復興と原発問題】」〈秋学期集中〉
 『2020年度「PBL 特別演習008【福島で学ぶ復興と原発問題】」募集要項』を確認の上、応募してください。
 実施日程は、8月24日(月)～8月29日(土)（予定）。なお、宿泊代等の諸費用として23,000円程度（予定）が必要です。（交通費、食費等を除く）
12. 「PBL 特別演習009【三木市・旧市街地 FW】」〈春学期・秋学期〉
 学期期間中に数回週末に現地でのフィールドワークを実施予定です。なお、現地への交通費は原則自己負担です。

《教職関連科目》

2020年度免許状取得のための他学部履修について

- 1 免許状取得のための他学部履修に関する取り扱い
 本学在学中の者は、所属する学部（学科）において取得できる免許状以外の免許状を、他学部履修に関する取り扱いによって取得することが可能である。この取り扱いを受けようとする者は、教職教育研究センターで以下の申込手続きを行い、所属学部及び受け入れ学部の承認を経て、教職課程委員会の承認を得ること。履修にあたっては、免許状取得に必要なすべての単位を卒業までに修得できるよう計画を立てなければならない。詳細は、「教職課程等履修要項」を参照すること。
- 2 2020年度免許状取得のための他学部履修希望者の手続き
 - (1) 申し込み資格
 卒業までに、免許状取得のためのすべての単位を修得できる可能性を持つ者。
 - (2) 申し込み
 日 時：
 [通年・春学期科目] 3月21日(土)～3月27日(金) 8:50～11:30、12:30～16:50
 ただし、土曜日は8:50～12:20
 [秋学期科目] 8月28日(金)～9月3日(木) 9:00～11:30、12:30～16:00

ただし、8月29日(土)は閉室

※1年生については〔秋学期科目〕からの申し込みとする。

手続き：

手順①「履修申込書」(Excelファイル)のダウンロード

教学 Web サービスのお知らせ配信にて、取扱い詳細を事前に通知するので、各自で確認の上、ダウンロードすること。ダウンロード可能日については掲示で通知する。

手順②「履修申込書」(Excelファイル)の印刷

ダウンロードした「履修申込書」(Excelファイル)に、取扱い詳細を参照しながら必要事項を入力し、完成したものをA4用紙に印刷すること。(電子データの提出は不要)

手順③「履修申込書」の提示(確認)(上記申込期間内)

必要事項を入力し、印刷した「履修申込書」(A4用紙)を教職教育研究センター(上ヶ原キャンパスまたは神戸三田キャンパス)に提示し受付印を押印してもらう。

手順④「履修申込書」の提出(上記申込期間内)

手順③で押印を受けた「履修申込書」(A4用紙)を各自の所属学部事務室へ提出する。

(3) 履修許可科目の確認

日 時：

〔通年・春学期科目〕 4月7日(火)

〔秋学期科目〕 9月23日(水)

場 所：所属学部事務室

ただし、同一学部内の他学科履修をしようとする者は、上記手続きは不要とする。

3 「理科」、「数学」、「情報」、「福祉」、「保健体育」の取り扱いについて

- (1) 理工学部の「理科」および「情報」は他学部履修できない。
- (2) 理工学部物理学科、情報科学科および人間システム工学科の「数学」は他学部履修できない。
- (3) 総合政策学部の「情報」は他学部履修できない。
- (4) 人間福祉学部社会福祉学科の「福祉」は他学部・他学科履修できない。
- (5) 人間福祉学部の「保健体育」は他学部履修できない。

※なお、教育学部に小学校教員・幼稚園教員・特別支援学校教員・保育士を養成する課程が設置されているが、教育学部生以外の学生は履修できないので、注意すること。

2020年度「博物館実習」履修について

I 先修条件・履修者数制限

1 2020年度「博物館実習」履修者の先修条件は、つぎの通りとする。

【2012年度以降入学生及び編入学生】

「博物館概論」2単位、「博物館経営論」2単位、「博物館資料論」2単位、「博物館教育論」2単位、の計4科目8単位を修得すること。

【2011年度以前入学生】

「生涯学習概論」2単位、「博物館概論」2単位、「博物館学各論A」2単位、「博物館学各論B」2単位の計4科目8単位を修得すること。

- 2 上記先修条件を満たした履修希望者を対象にオリエンテーションを行う。これに欠席・遅刻した者の履修は原則として認めない。
- 3 先修条件を満たし、「博物館実習オリエンテーション」に出席した履修希望者数が70名を越

える場合は、履修者数制限を行う。その方法は以下のとおりとする。

- (1) 4年生及び科目等履修生を優先とし、残りについて3年生から先修科目の成績およびクラス希望を勘案し選考する。
- (2) 選考は、オリエンテーション終了後、教職教育研究センターにて教職教育研究センター副長の立ち会いのもと厳正に行う。

II 2020年度「博物館実習」履修希望者の手続き

1 オリエンテーション出席

日 時：4月1日(水) 13:30～14:30

場 所：第4別館 202号教室（上ヶ原キャンパス）

2 履修者発表の確認

（オリエンテーション出席者が70名を、上回る場合は、上記要領で履修者を決定するので、各自確認すること。）

日 時：4月3日(金) 8:50

場 所：（上ヶ原キャンパス） 教職教育研究センター掲示板
（神戸三田キャンパス） 教職教育研究センター掲示板

（以下は履修が認められた者の手続きである。）

3 実習費納入・履修申し込み

日 時：4月3日(金)～6日(月) 8:50～11:30、12:30～16:50

ただし、4月4日(土)は8:50～12:20、4月5日(日)は閉室

場 所：（上ヶ原キャンパス） 教職教育研究センター

（神戸三田キャンパス） 教職教育研究センター

※提出は上ヶ原キャンパス・神戸三田キャンパスのみ

方 法：実習費金額（8,000円）の申請書を証明書自動発行機（学生サービスセンター、図書館、G号館、神戸三田キャンパス I・VI号館、（聖和キャンパス、大阪梅田キャンパス））で購入し、実習生カード（要 写真 3.5×4.0 cm）とともに提出すること。

4 許可されたクラスの第1回授業に必ず出席すること。

教職課程における「教科に関する科目（2018年度以前入学生）」、「教科に関する専門的事項（2019年度以降入学生）」の履修について

取得しようとする教科の「教科に関する科目（2018年度以前入学生）」、「教科に関する専門的事項（2019年度以降入学生）」は、すべて所属学部で開講されている。他学部で同じ名称の科目が開講されている場合もあるが、免許状取得のための「教科に関する科目（2018年度以前入学生）」、「教科に関する専門的事項（2019年度以降入学生）」としては認められないので、十分確認のうえ履修登録すること。

試験 レポート 成績評価

- I 試験
- II レポート
- III 成績評価

I 試験

- (1) 法学部の試験は、「成績評価・試験規程」「法学部内規」に基づいて実施します。
- (2) 試験は定期試験、追試験、代替試験と、その他随時行うことがある平常試験に分けられます。
- (3) 定期試験をレポートで実施する場合がありますが、様式・提出方法等は、「レポート」の項目を参照してください。定期試験に代わるレポートは、定期試験に準じて取り扱われますが、追試験の制度は適用されません。
- (4) 定期試験は授業スケジュールに定められた期間に実施します。ただし、定期試験に代わるレポートの受付期間については、この限りではありません。
- (5) 受験についての注意事項
 - ①試験場及び座席を指定しますので、教学 Web サービス（試験日前日の夜間）及び開講学部掲示板（試験当日）で確認してください。複数クラス開講されている授業科目がありますので、自分のクラスを必ず確かめてください。
 - ②必ず「学生証」を携帯してください。万が一、学生証を忘れた場合は、試験前に法学部事務室で手続きをしたうえで試験場に入ってください。
 - ③配付した答案用紙は、放棄・汚損の如何にかかわらず回収しますので、いったん試験場に入場した者は、必ず解答用紙に所属学部・学年・学生番号・氏名を記入して提出してください。
- (6) 不正行為を行った場合は、当該試験期間の全科目を 0 点とし、評価は 0 点（又は F）、GP を 0 とし、GPA に算入します。

外国語必修科目は、定期試験・成績評価にあたり、以下の条件があります。

☞ 詳細は『法学部内規』参照

◆英語・基礎英語・フランス語・ドイツ語・中国語

授業欠席回数の限度は各学期 5 回までとし、6 回以上欠席した場合には不合格となる。

◆朝鮮語

担当者 1 と 2 のそれぞれのクラスで欠席 4 回目から減点となる。

◆スペイン語

週 2 コマの授業のうちどちらか一方の時限を 4 回以上欠席した場合不合格となり、その後の授業に出席することができない。

◆日本語（留学生対象）

8 回以上欠席した場合不合格となり、その後の授業に出席することができない。

Ⅱ レポート

レポートは「平常レポート」、「定期試験に代わるレポート」の2つに区別されます。
いずれの場合も、提出にあたっては所定の様式と期日を守らなければなりません。

※レポートの題目、様式、提出期日、提出場所などは掲示によって指示します。
※提出の際は、必ず表紙を付け、ホチキスで「左上1か所」を止めること。

表紙の作成

表紙は、教務機構ホームページからダウンロードするか、生協で購入することができます。

自分で作成する場合は、「授業科目名（クラス）」
「担当教員」「レポート題目」「学部・学科」
「学年」「学生番号（8ケタ）」「氏名」
を必ず明記してください。

手書きの場合は、ペンまたはボールペンで記入してください。

(表紙ダウンロード URL)

http://www.kwansei.ac.jp/a_affairs/a_affairs_003004.html

		〈表示例〉	
授 業 科 目 名	○○○○○	ク	ラ
担 当 教 員	○○○○○	先	生
レ ポ ー ト 題 目	○○○○○○○○○○○○		
所 属	法	学	部
学 年	○	年	
学 生 番 号	○○○○○○○○○	(8 桁)
氏 名	○○○○	

提出について

- ① 担当者へ直接提出するレポートについては、事務室では一切取り扱いません。
- ② レポート提出時に発行する「受領証」は、大切に保管してください。
- ③ 法学部事務室に提出するレポートの受付時間（最終日は締切時間）は、月～金曜日は原則16時50分まで、土曜日は原則12時20分までです。提出先によって受付時間が異なるため、締め切り時間には十分注意してください。締め切り時間に遅れたもの、提出期日を過ぎたもの、事務室宛の郵送またはその他の方法で提出されたりレポートは、一切受領しません。
- ④ 一度受け付けたレポートの変更、追加等は一切認めません。

「剽窃」について

レポートや論文を作成する際、他人が書いた文章を「剽窃（ひょうせつ）」することは、絶対にしてはならない行為です。

学生として許されるべき行為でないだけでなく、違法行為ともなりえます。剽窃は「不正行為」として当該科目の成績、または特に悪質な場合は全科目の成績が無効となる場合がありますので、レポート等作成および提出の際は十分注意してください。

「剽窃」とはなにか

他の人によって書かれた論文、概念、文章などの著作（特に、他の人によって書かれた著作）の一部または全部を、あたかも自分自身が書いたものとして使用すること。あるいは、自分が書いたものと読んだ人に誤解を与えるように表記して「使用」すること。

文章全体を写すのではなく、表現を変えたりするなどして他人の文章のように書いたとしても「剽窃」とみなされます。

インターネット上のテキストの一部をコピー&ペーストし、表現を変えるなどして自分の意見のように書くことも「剽窃」とみなされます。

正しい「引用」をしましょう

レポートや論文の作成のために、他人の文章を用いる場合は必ずそれが引用であることを明記しなければなりません。どこまでが「他者が記述した内容」の紹介で、どこからが「自分の考え」かをはっきりさせることが必要です。

**故意ではなく、不注意で行った場合も「剽窃」に変わりはありません。
決して「剽窃」をおこなわないように十分に気を付けてください。**



関西学院大学 研究倫理について

▶ 貴方も責任ある研究者です。

「研究者」とは教員に限らず、本学において研究活動に従事する者すべてを含みます。

学部学生も、研究活動（各種調査におけるアンケートの実施やゼミ研究、研究レポート作成、卒業論文執筆など）に関わる際は、「研究者」に準ずる者とみなされます。

「関西学院大学 研究倫理規程 第2条」より

関西学院大学はキリスト教主義によってたつ教育研究機関であり、スクールモットーの Mastery for Service の精神に基づき、社会の信頼に支えられた高い倫理性をもって教育研究を推進し、その成果を積極的に社会に還元することに、その本旨がある。

●研究者は、研究成果の発表における捏造、改ざん、盗用、重複発表、その他の研究活動における不正行為を行ってはならない。特許出願において虚偽を行ってはならない。また、研究活動における利益相反の発生に十分な注意を払い、相反が発生する場合には情報を開示し、適切な管理を行わねばならない。

●研究者は、研究活動にあたって、関係する個人の尊厳および人権を尊重しなければならない。また、研究活動に伴う守秘義務を厳守し、活動の過程において知り得た個人情報の保護に努めなければならない。

●研究者は、研究活動において装置、機器、薬品、材料などを用いるときは、関係する法令、本学の諸規則、学会等の指針を遵守し、環境、安全へ配慮しなければならない。

●研究者は、研究活動において、学生や共同で研究を行う者に対して正当な理由なくして不利益を与えてはならない。

「関西学院大学 研究活動に関する指針」より抜粋

▶ 研究活動上の不正行為

以下3つの行為は、文部科学省「研究活動における不正行為への対応等に関するガイドライン」の中で、「特定不正行為」と位置付けられています。

- 試資料等の捏造
- 試資料等の改ざん
- 試資料等の盗用

その他、本学では以下の行為も不正行為として位置付けています。

- 恣意的に取得した試資料等の利用
- 不適切な著作者表示
- 不適切な重複発表
- 訂正の不作為

研究活動の倫理とは？

●研究者は、研究活動における責任を自覚し、研究成果の客観性を歪めることがないよう、良心と信念に従って研究を遂行しなければならない。

●研究者は、個人の尊厳及び人権の尊重、並びに個人情報の保護に留意し、科学的かつ社会的に妥当な方法、研究を遂行する義務を負います。

●研究者は、研究の遂行上、関連する法令等に従うとともに、本学諸規程、所属する学会・団体等の倫理規程等を遵守しなければならない。

「関西学院大学 研究倫理規程」より抜粋

【参考文献】1. 「研究活動における不正行為への対応等に関するガイドライン」文科省 平成26年 2. 「研究活動の不正行為への対応のガイドラインについて～研究活動の不正行為に関する特別委員会報告書」文科省 平成18年

研究活動上の不正行為とは？

文科省「研究活動における不正行為への対応等に関するガイドライン」上の「特定不正行為」	捏造	<p>【事例】 ディオバン臨床研究不正事件</p> <p>K医科大学の教授が行った高血圧治療薬（降圧剤）の臨床研究において、その薬に有利になるようにデータが人為的に操作されていた。本件においては、薬の販売元であるN製薬会社の日本法人社員が、K医科大学を含む複数の大学で行われた臨床研究で、N製薬会社所属という身分を隠して参加し、論文作成にも関与していた。</p> <p>【処分】 退職、退職金の自主返納</p>
	改ざん	<p>【事例】 画像の流用等のデータ改ざん</p> <p>学外の告発者からの指摘により、研究者の研究論文に捏造（方法論が同じ代表的な実験データの流用）、改ざん（見栄えを良くするための画像代用）、二重投稿（3つの論文において、画像及び大部分の文章が他の論文と同一（注）。また、一つのデータを二つの論文に掲載。）が発覚した。</p> <p>（注）研究者は、投稿した一方の学術誌を、研究会の抄録であると誤認して投稿したものであり、故意によるものではなかった。</p> <p>【処分】 当該教授は論旨退職、共著者等も処分対象</p> <p>【参考文献】「研究者の不正行為についてのお詫びとご報告」D医科大学HP 平成24年2月3日</p> <p>※「捏造」と「改ざん」は、定義上、区分されているが、実際には、上記の様な、これらが混在した複合的な事案等も存在するため、厳密な分類が難しい場合がある。</p>
	盗用	<p>【事例】 W大学論文不正問題</p> <p>平成23年3月に学位取得した博士論文について、著作権侵害行為（インターネットからの文章のコピー・アンド・ペースト、パイオ関連企業サイトの画像との酷似）、意味不明な記載（画像に対応する記載の不備）、整合性がない箇所（根拠論文の記載内容との矛盾）等が指摘された。</p> <p>【処分】 概ね一年間程度の猶予期間において、博士論文指導と研究倫理の再教育を受け、論文を訂正した場合は、学位が維持できるものとされた。これが適切に履行できないときは、当然に学位は取り消される。</p> <p>【参考文献】1. 調査報告書 W大学 大学院先進理工学研究所における博士学位論文に関する調査委員会 平成26年7月17日 2. 会見発表 W大学HP 平成26年10月7日</p>

その他、本学では以下の行為も不正行為として位置付けています。

- 恣意的に取得した試資料等の利用
計測・実験機器の操作や調査方法の決定等を恣意的に行うことによって、正当な方法では得られない試資料等を取得し、利用すること。
- 不適切な著作者表示
当該の研究活動に無関係の他者を著作者に加えたり、共同研究者を適正な形で著作者に含めなかったりすること。
- 不適切な重複発表
既発表の成果を新規なものであると偽って再び発表すること。
- 訂正の不作為
発表した研究成果に重要な間違いを発見しながら、当該成果の取り下げや訂正発表等の適切な処置を行わないこと。

【参考文献】1. 「わが国における研究不正～公開情報に基づくマクロ分析（1）」独立行政法人科学技術振興機構 2013 vol.56 no.3
2. 「研究活動の不正行為への対応のガイドラインについて～研究活動の不正行為に関する特別委員会報告書」文科省 平成18年

本学の研究活動における不正行為防止等の体制、関係規則、及び事例をURLにて紹介しています。
URL: https://www.kwansei.ac.jp/kenkyu/kenkyu_010053.html 「研究活動上の不正行為防止への取り組み」

研究活動上の不正行為に関する相談・告発等の窓口

研究推進社会連携機構事務部

E-mail: fuseisoudan@kwansei.ac.jp

(西宮上ヶ原キャンパス) TEL 0798-54-6104 / FAX 0798-54-6905

(神戸三田キャンパス) TEL 079-565-9052 / FAX 079-565-7910

※告発者は「関西学院大学における研究活動上の不正行為の防止等に関する規程」に基づき、不利益な取扱いを受けないよう保護されます。

Ⅲ 成績評価

(1) 成績評価は、以下のいずれかの方法で行われます。

- ① 定期試験（定期試験に代わるレポートを含む）の成績のみによる評価
- ② 定期試験（定期試験に代わるレポートを含む）の成績および平常評価による評価
- ③ 平常評価のみによる評価

(2) 春学期定期試験の成績発表は8月に、秋学期定期試験の成績発表は2月に行います。成績発表日は、決定次第掲示及び教学 Web で通知します。

※関西学院大学では、保証人宛に成績表を郵送します。
→春学期成績：9月末頃発送 →秋学期成績：4月上旬頃発送
保証人宛発送を希望しない場合は、指定期間に所定の手続きをしてください。
卒業する学期の成績表についても、卒業後に郵送されます。

(3) 成績発表は原則として素点〈100点満点〉で行います。

60点以上：合格

59点以下：不合格

一部の授業科目については、次のように評価します。

〈S・A+・A・B+・B・C+・C・F〉（2019年度以降入学生）

〈S・A・B・C・F〉（2018年度以前入学生）

〈2019年度以降入学生〉	〈2018年度以前入学生〉
S・A+・A・B+・B・C+・C：合格	S・A・B・C：合格
F：不合格	F：不合格

(4) GPA・平均点の計算方法

① GPA

☞ P.20～参照

② 平均点

$$\frac{\text{合格した科目の合計点}}{\text{合格した科目数}}$$

※演習科目の場合は、以下の点数に換算されます。

〈2019年度以降入学生〉 S：95 A+：87 A：82 B+：77 B：72 C+：67 C：62

〈2018年度以前入学生〉 S：95 A：85 B：75 C：65

(5) 成績証明書には、合格した授業科目についてのみ次のように記載されます。

〈2019年度以降入学生〉	〈2018年度以前入学生〉
100点～90点またはS :「S」	100点～90点またはS :「秀」
89点～85点またはA+ :「A+」	89点～80点またはA :「優」
84点～80点またはA :「A」	79点～70点またはB :「良」
79点～75点またはB+ :「B+」	69点～60点またはC :「可」
74点～70点またはB :「B」	
69点～65点またはC+ :「C+」	
64点～60点またはC :「C」	

※59点以下またはFの授業科目は成績証明書には記載されません。

(6) 成績調査について

成績評価について疑義ある場合、所定期間内に手続きを行うことで調査が可能になります。期間については掲示及び教学 Web で通知します。

《参考①》

コース説明

法学部では、自分の進路・志望に応じて効果的な学習ができるよう6つのコースを開設し、ブロック制を導入しています。ブロック制についての詳細は、法学部ホームページ (<http://www.kwansei-law.info/>) を参照してください。

司法特修コース
司法コース
企業法務コース
公共政策コース（経済学部連携）
国際法政コース
政治システムコース

司法特修コース

I. コースの概要

主に法曹（裁判官・検察官・弁護士）をめざしてロースクールへの進学を希望する学生が集まり、発展的、且つより高いレベルで法律を学ぶことができます。他コースよりも早い2年生春学期からスタートする、定員40名の選抜型コースです。

II. 定員・募集要件、選考スケジュール

定員：40名

応募者が定員を超えた場合は、成績（GPA・平均点・取得単位）に基づいて選考を行います。

定員に満たない場合でも、1年次の年間修得単位数が24単位未満の者は、本コースに入れません。

募集要件：法律学科1年生

法曹（裁判官・検察官・弁護士）をめざしロースクール進学を希望する学生を歓迎していますが、それ以外の学生でも可能です。ただし本コースでは、高い意識で勉学に励む方を求めています。

1年次秋学期に、司法特修コースに関する説明会を実施します。

書類配付……………11月中旬

選考書類提出……………1月上旬

選考結果発表……………2月下旬

III. 司法特修コース独自の授業

履修基準年度	春	秋
2年次	法曹入門 ★ 民法発展演習 ★ 刑法発展演習 ★	憲法発展演習 ★ 民事訴訟法発展演習 司法特修実践演習A（商法）
3年次	ケースメソッド民法演習 ライティング演習（刑法） 司法特修実践演習B（憲法）	司法特修実践演習C（民事訴訟法） 司法特修実践演習D（刑事訴訟法）

★は、履修必修科目です。

IV. 早期卒業に向けて（履修緩和制度）

- ・履修制限単位数が24単位→28単位に緩和されます。
- ・基礎法科目、コース科目について、履修基準年度3年次科目が2年次から履修できます。
- ・司法特修コースの「演習科目」と語学とが重複した場合、語学のクラス変更を認めます。

☞ 早期卒業のための要件は、P. 30参照

V. 法曹養成連携プログラム

法科大学院（ロースクール）との円滑な接続を図るために設置されたプログラムです。司法特修コースに所属する希望者は所定の手続により、登録することが可能です。本プログラムを修了した場合、法科大学院特別選抜入学試験による法科大学院への進学が可能となります。

〈修了要件〉原則として3年次終了時点で、次の要件をすべて満たさなければならない。

- 法曹養成連携プログラム表の必修科目50単位を修得すること。
- 法曹養成連携プログラム表の選択必修科目8単位以上を修得すること。
- a、bの必修科目および選択必修科目のGPAが2.50以上であること。
- 本学法学部の早期卒業の要件（P. 30）を満たしていること。

※プログラム登録者で、法曹養成連携プログラム指定科目と語学が重複した場合、可能な範囲での語学のクラス変更を認めます。

※プログラムの修了可否は、卒業には影響しません。

司法コース

I. コースの趣旨

司法書士や裁判所職員（裁判所書記官、裁判所事務官など）を志望する学生を対象とするコースです。基本六法科目（憲法・刑法・民法・商法・刑事訴訟法・民事訴訟法）を中心に学習しますが、司法の担い手となると同時に健全な市民感覚を持つためには幅広い教養が必要です。スペシャリストとしての専門性とジェネラリストとしての広汎性を養うため、司法コースでは各試験の試験科目以外にも幅広い科目の履修が要求されます。

憲法ブロック・刑事法ブロック・民事法ブロックに加え、企業法務コアブロックや各人の興味関心に合った他コースから科目履修することが可能であり、ひとりひとりのニーズに柔軟に応えられるようになっています。

II. 実践演習の内容

司法実践演習は、3年生春学期から履修することができます。担当者としては、主として専任教員、学外実務家、ロースクール教員が予定されています。少人数制をとっているため、より近い距離で「学び」を追求できる機会を提供します。

III. 履修モデル

【モデル1】 司法書士の資格獲得をめざしており、憲法ブロック・刑事法ブロック・民事法ブロック・企業法務ブロックを中心に履修。市民にもっとも身近な「法律のかかりつけ医」としての責務を果たすために必要な専門知識を得たい。

	コース専門科目		他コース科目・専門選択科目	
2 年	憲法C（統治機構論）	2	企業会計入門A（簿記）	2
	司法書士による法律実務入門	2	企業会計入門B（財務諸表）	2
	物権法	4	経営学	2
	民事訴訟法概論	2		
	債権総論	4		
3 年	刑法総論	2	知的財産法	2
	担保物件法	2	保険法	2
	親族法	2		
	相続法	2		
	商法総則・商行為法	2		
	民事訴訟法	4		
	民事執行法	2		

【モデル2】 裁判所職員（事務官、書記官）をめざしており、憲法ブロック・刑事法ブロック・民事法ブロック・企業法務ブロックを中心に専門知識を身につけ、社会を多角的に見る視点を獲得したい。

	コース専門科目		他コース科目・専門選択科目	
2 年	憲法C（統治機構論）	2	行政法概論	2
	憲法訴訟論	2	国と地方関係論	2
	物権法	4	社会保障論A	2
	民事訴訟法概論	2		
	債権総論	4		
3 年	債権各論	4	国家補償法	2
	刑法総論	2	環境法	2
	刑法各論	2		
	担保物件法	2		
	親族法	2		
	民事訴訟法	4		

企業法務コース

I. コースの趣旨

主として企業で活躍することをめざす学生を対象とするコースです。企業に勤務すると、それぞれの部署や役職において、個人が企業のために判断することを求められます。ときには企業不祥事として社会的な糾弾を受けないようバランス感覚ある判断が必要になります。本コースは、企業社会で生じるさまざまな問題に適確に対処することができるよう、確かな法学的素養に裏付けられた判断力を有する企業人を養成することを目的とします。

その一方、企業社会で活躍することをめざす学生だけではなく、広く社会のあらゆる領域において法学的素養を身につけた市民としての役割を担おうとする学生にも適したコースです。企業をはじめ、各種の組織や団体に就職して、将来的に専門知識をもつリーダーとして活躍することが、このコースが想定する卒業後の一般的な進路となります。

II. 実践演習の内容

企業法務コースの目的である「確かな法的素養に裏付けられた判断力を有する企業人を養成する」ために、企業社会において直面する諸問題を具体的に検討するのが企業法務実践演習A・Bです。いずれの科目も、企業法務に詳しい弁護士が担当します。

III. 履修モデル

【モデル1】 民間企業への就職をめざし、政治や経済にも関心があるAさんの履修例。

	コース専門科目	他コース科目・専門選択科目
2 年	消費者と法	都市経済論
	企業会計入門A（簿記）	2
	経営学	
	会社法A	
	労働法概論	
	コース導入演習	
3 年	税法A	政治社会学
	知的財産法	政策評価論
	商法総則・商行為法	メディアと政治
	会社法B	2
	倒産処理法	2
	労働法A	2
	経済法	2
	企業法務実践演習A	2

【モデル2】 民間企業で国際取引業務に携わることを希望するBさんの履修例。

	コース専門科目	他コース科目・専門選択科目
2 年	企業会計入門A（簿記）	国際法総論A
	経営学	国際政治経済論
	会社法A	4
	労働法概論	2
	英米法A	2
	コース導入演習	2
3 年	商法総則・商行為法	国際法各論A
	国際私法A	外交政策論
	国際取引法A	国際協力論
	国際取引法B	2
	国際経済法	2
	EU法	2
	中国法A	2
企業法務実践演習A	2	

公共政策コース（経済学部連携）

I. コースの趣旨

公共政策（経済学部連携）コースでは、公共的な課題を解決するための政策、法制度を学ぶとともに、そのあり方について考察します。とくに地域における公共的課題に取り組む能力を身に付けるためには、法律学、政治学はもちろん、経済学の素養が必要となります。そのため、法学部は経済学部と連携してこのコースを作り上げ、法律学、政治学、経済学の3つの学問分野の科目をコース専門科目として提供しています。

将来の進路として、国家公務員や地方公務員、教員、警察官などが考えられます。そのほか、民間部門でも公共的な課題と関わりが深い職種（NPO・NGO 職員、シンクタンク職員、ジャーナリストなど）をめざす人にとっても必要な専門知識・能力を取得できます。

II. 実践演習の内容

公共政策コース実践演習は、現場で活躍する公務員、NPO 職員、地方議会議員、ジャーナリストなどが担当します。この演習では、具体的な課題を取り上げ、これを分析して解決するための政策・制度を考えることで、実践的な観点から公共政策を学びます。

III. 履修モデル

【モデル1】 地方公務員をめざしている。公務員試験の勉強をするため、法律学の科目を中心に履修したい。そのほか、必要となる政治学や経済学の知識も身に付けたい。

	コース専門科目		他コース科目・専門選択科目	
2 年	行政法概論	2	憲法C（統治機構論）	2
	行政作用法	2	債権総論	4
	行政学B	2	刑事政策A（犯罪・非行と法）	2
	公共政策論	2		
	公共政策学概論	2		
	財政学A	2		
	コース導入演習	2		
3 年	国家補償法	2	税法A	2
	地方自治法	2		
	社会保障法	2		
	都市法	2		
	自治体法務	2		
	公共政策実践演習A	2		

【モデル2】 公共政策に関わる民間シンクタンクの職員をめざしている。政治学と経済学の科目を中心に履修したい。必要となる法律学の知識も身に付けたい。

	コース専門科目		他コース科目・専門選択科目	
2 年	行政法概論	2	政治学原論B	2
	行政学B	2		
	公共政策論	2		
	公共政策学概論	2		
	地域政策論	2		
	NPO/NGO と市民社会	2		
	都市経済論	2		
	コース導入演習	2		
3 年	地方自治論	2	現代政治分析	2
	地方政治論	2	政治社会学	2
	政策評価論	2	メディアと政治	2
	地域政策トピックス	2	政治心理学	2
	公共政策実践演習B	2		

国際法政コース

I. コースの趣旨

国際法政コースは、広義の国際関係や外国事情を学ぶことにより、世界の中の日本を知り、国際的な知識・技能を持つ有能な市民育成をめざします。日本と比較した海外諸国の法律・政治の習得に加え、外国語・外国文化をじっくりと学習します。

国際社会に知的関心を持ち、将来はそのような場で活動したいと希望する学生は、このコースを選択することが望まれます。コース卒業生の進路としては、一般企業や国家・地方公務員での国際業務担当者の他に、国際的ジャーナリスト、シンクタンク研究員、国際公務員（国連やその他の国際機関）などが考えられます。

また、国際関係を学べる大学院への進学や留学にも積極的に挑戦できるでしょう。

II. 実践演習の内容

実践演習では、国際的な仕事に従事した経験を持つ講師による体験的・具体的な学習を予定しており、将来のキャリアを考える上で重要な視点を与えてくれるでしょう。

III. 履修モデル

【モデル1】 民間企業で国際的な実務に関わりたい。

	コース専門科目		他コース科目・専門選択科目	
2年	英米法A	2	債権各論	4
	国際経済政策	2	会社法A	4
	コース導入演習	2	民事訴訟法概論	2
3年	国際私法A	2	知的財産法	2
	国際私法B	2		
	国際取引法A	2		
	国際取引法B	2		
	国際経済法	2		
	英米法B	2		
	中国法A	2		
	EU法	2		
中国法B	2			
国際法政実践演習A	2			

【モデル2】 公務員として国際的な業務に関わりたい。

	コース専門科目		他コース科目・専門選択科目	
2年	国際法総論A	2	行政学B	2
	国際政治経済論	2	公共政策論	2
	国際機構論	2		
	外交史A	2		
	外交史B	2		
	コース導入演習	2		
3年	国際法総論B	2	自治体法務	2
	国際法各論A	2	政策評価論	2
	国際法各論B	2		
	国際政治論B	2		
	外交政策論	2		
	国際法政実践演習B	2		

政治システムコース

I. コースの趣旨

政治システムコースは、政治学科学生限定のコースです。このコースは、政治と行政ならびに公共政策についての専門的知識を学ぶとともに、政治学的な分析能力や思考方法を身につけ、こうした政治学的素養を活かして社会の広範な領域で活動できる有能な市民の育成をめざします。

コース卒業生の進路としては、一般企業や公務員はもとより、政治学研究者やジャーナリスト、シンクタンクのアナリスト、NPO/NGOの職員など、政治学的素養を活かすことのできる多様な職種が考えられます。また、将来、地方議員や国会議員などの政治家のスタッフとして、さらには政治家本人として、直接政治の世界で活躍することもその選択肢に含まれるでしょう。

II. 実践演習の内容

政治システム実践演習では、現役の地方議員をはじめ実際の政治・行政の領域やNPO/NGOの現場、さらにはジャーナリズムの現場で活躍する（またはかつて活躍した）学外講師を招くなど、政治の実際の現場に即した、より実践的な内容の授業を展開します。

III 履修モデル

【モデル1】 ジャーナリスト志望。政治ブロックと公共政策ブロックを中心に履修。現実の政治と社会が抱える諸問題について学びたい。

	コース専門科目	他コース科目・専門選択科目
2 年	表象文化論	2 憲法C
	政治学原論B	2 刑事政策A（犯罪・非行と法）
	公共政策論	2
	NPO/NGOと市民社会	2
	公共政策学概論	2
	政治哲学	2
3 年	現代政治分析	2 刑事政策B
	政治社会学	2 国際政治論B
	政治心理学	2 外交政策論
	政策評価論	2
	メディアと政治	2
	政治システム実践演習A	2

【モデル2】 一般企業への就職を希望。政治ブロックを中心に履修。政治という人間の営みについて原理的・体系的に学びたい。

	コース専門科目	他コース科目・専門選択科目
2 年	近代啓蒙論	2 憲法C
	政治学原論B	2 外交史A
	西洋政治史	2 外交史B
	政治哲学	2
	日本政治史	2
	西洋政治思想史	2
3 年	現代政治分析	2 国際政治論B
	政治社会学	2 外交政策論
	日本政治思想史	2
	政治心理学	2
	地方政治論	2
	メディアと政治	2

《参考②》

理念・目的・教育目標 チャペル 法学部内規

- I 法学部の理念・目的・教育目標
- II チャペルプログラム
- III 法学部内規

I 法学部の理念・目的・教育目標

〈関西学院大学法学部について〉

法律学科 政治学科

法学部は、関西学院大学の中で最も古い学部の一つであって、1934年旧制大学学部である法文学部として発足し、1946年に文学部と分離し、さらに1948年以降新学制による法学部に発展し、現在にいたったものである。そして、この間を貫く伝統的学風は、キリスト教主義の人格教育に加え、社会の実相の深い洞察を根底としたソーシャル・アプローチを理念とする法律学・政治学の研究および教授であって、この点はすでに学界ならびに一般社会の定評となっている。

本学部は、法律学科および政治学科の2学科にわかれるが、いずれの学科の卒業生でも学士（法学）の学位が授与される。卒業生の進路は、実業界、法曹界、一般官公庁、教育界その他きわめて広汎であり、多くの人材がそれぞれの職域において人物や能力を高く評価されている。また、大学院法学研究科では博士課程前期課程・後期課程を開設し、学問の深奥を究めようとするだけでなく、専門職を目指す人々も多数受け容れており、その修了者は法学、政治学の研究分野以外にもそれぞれ活躍している。

〈理念・目的・教育目標〉

「ソーシャル・アプローチ」とは、H.F. ウッズウォース初代法文学部長の言葉である。その内容は、次の三点に要約することができる。

第一に、日本における法学教育が官僚養成という目的を帯びていたことに対して、民間の自由な精神に基づく教育・研究を目指すこと。

第二に、資格試験の準備教育や狭い意味での法解釈学に止まらず、広く深い社会的視野と教養を重視した教育・研究であること。

第三に、建学の精神にのっとり、社会への貢献、社会的弱者に目を向けさせる視点を重視した教育・研究であること。

すなわち、民間における自由の精神、広く深い社会的視野と教養、社会貢献（奉仕）の精神という三つである。

この理念に基づいて、法学・政治学の研究を中心とした学問研究を行い、かつ本学部の理念に基づき教育された有為な人材を輩出し、それらを通じて、本学建学の精神にのっとり“Mastery for Service”を実践することが、本学部の目的である。

この目的を実現するために、現今では、特に以下の5点を教育目標としている。

1) 科学的な思考方法の修得

対象を直観的・主観的ではなく、客観的・多面的に観察し、論理的に分析を進めていく方法を身につけること。

2) 広範な知識と社会的視野の獲得

法学・政治学の専門教育のみに止まらず、歴史学、哲学、心理学、社会学、経済学などの諸科学が明らかにしてきた広範な知識を身につけ、さらに広範な社会的現実常に目を向けられるようにすること。

3) 正しい価値観と豊かな人間性の形成

よりよい社会と人間の幸福の実現に向けて奉仕する精神を育み、自由と正義の実現を目指した明確な価値観を形成すること。

4) 人権感覚の陶冶

法と政治の基本的規範理念としての人権感覚を身につけること。

5) 国際的・地球的な視野の確保

本学の伝統を踏まえ、自由な精神に基づいて常に国際的・地球的な視野を身につけること。

これらの教育目標を、以下の実施目標として具体化している。

- ①学生が多様な進路希望の実現に資する、高い社会的評価が得られる能力の習得
 - (ア) ロースクール進学希望者に対する教育の充実
 - (イ) 企業法務を希望する者に対する教育の充実
 - (ウ) 国際感覚を生かせる職業分野への進出の支援
 - (エ) 市民的公共を踏まえた政策形成人材の養成
- ②少人数教育による学生間・教員学生間での刺激に満ちた人格形成

〈ディプロマ・ポリシー（学位授与方針）〉

Kwansei コンピテンシーの獲得を念頭において関西学院大学法学部のディプロマ・ポリシーを以下のとおり定める。

関西学院大学法学部は、本学部設立以来の伝統である市民社会における自由な精神に則り、広く深い社会的視野と教養、及び社会貢献（奉仕）の精神の視点を重視するという「ソーシャル・アプローチ」の理念に基づき、法学・政治学の教育をつうじ社会に広く貢献できる人材を育成することを目的としてディプロマ・ポリシーを定める。所定の年限在学し所定の単位を修得し、下記の知識や能力あるいは技能などを習得したと認められる本学部生に、学士号を授与する。

〈法律学科〉

1. 〔関心・意欲〕 法学の視座から市民社会における自由の精神や基本的人権の重要性を理解し、社会に貢献しようとする関心と意欲を有する。
2. 〔知識・理解〕 広い社会的視野と教養を有し、法学の専門的知識を修得している。
3. 〔技能・表現〕 グローバル化する市民生活に不可欠な実践的学習能力とスキルおよびコミュニケーション能力を有する。
4. 〔思考・判断〕 課題発見・解決のための総合的思考力と判断力とともに、法的思考（リーガル・マインド）を身につけている。

〈政治学科〉

1. 〔関心・意欲〕 政治学の視座から市民社会における自由の精神や基本的人権の重要性を理解し、社会に貢献しようとする関心と意欲を有する。
2. 〔知識・理解〕 広い社会的視野と教養を有し、政治学の専門的知識を修得している。
3. 〔技能・表現〕 グローバル化する市民生活に不可欠な実践的学習能力とスキルおよびコミュニケーション能力を有する。
4. 〔思考・判断〕 課題発見・解決のための総合的思考力と判断力とともに、市民社会的思考（シヴィック・マインド）を身につけている。

〈カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施方針）〉

関西学院大学法学部は、ディプロマ・ポリシーに明記されている人材養成目標を達成するために、下記の重点項目を含むカリキュラムを編成し、これを実施する。

〈法律学科〉

1. 市民社会における自由な精神、人権や社会奉仕の重要性を主体的に深く理解するとともに、広い学際的、国際的な視野を深めることのできる科目
2. 法律学の専門的知識をコースごとに系統的に修得する科目
3. 複数の言語によるコミュニケーション能力を習得し、多文化理解を促すことを目的とする科目
4. 基礎的な学修技能を修得することができる科目
5. 以上の科目により習得した知識や能力を活用して課題発見や解決策を考察・討議する、主に少人数での双方向的な演習科目

〈政治学科〉

1. 市民社会における自由な精神、人権や社会奉仕の重要性を主体的に深く理解するとともに、広い学際的、国際的な視野を深めることのできる科目
2. 政治学の専門的知識をコースごとに系統的に修得する科目
3. 複数の言語によるコミュニケーション能力を習得し、多文化理解を促すことを目的とする科目
4. 基礎的な学修技能を修得することができる科目
5. 以上の科目により習得した知識や能力を活用して課題発見や解決策を考察・討議する、主に少人数での双方向的な演習科目

Ⅱ チャペルプログラム

「あなたのみ言葉はわが足のともしび、わが道の光です」(詩編119編105節)

法学部本館の一階ロビーには、この言葉がレリーフとして刻まれている。関西学院のスクール・モットーは“Mastery for Service”であり、教育をとおして神と全世界の人々への奉仕に寄与することをその崇高な理想としている。チャペルを始めとする本学のキリスト教諸行事は、教養教育や専門教育に並ぶ独自の一分野を形作っている。市民としての幅広いリベラル・アーツの養成、スペシャリストとしての法学や政治学の習熟とともに、世界を思索して生きる導入(イニシエーション)教育が備えられている。チャペルでのひとときは、そのような教育の三つの柱の一つであると言える。

もちろん信教の自由は日本国憲法の保障するところであって、何人も宗教上の儀式、行事に強制されてはならない。その意味では大学のチャペル・サービスはキリスト教会の礼拝ではない。むしろそれは、私たちが目標とする正義、愛、平和、共生、解放といった人類理想の今と将来を見据え、それに深く思いを至らせる機会である。チャペルの活動は学生諸君と教職員の自発的な営みであって、キリスト教徒、非キリスト教徒を問わず、すべての人々に開かれた対話の時である。新入生の諸君は以上のことがらをよく理解し、自分の精神と歴史世界を省察するチャレンジをそこで十分に受けてほしいものである。

チャペル・サービス

毎週：火曜・水曜・木曜 10：35～11：05 (第Ⅰ時限と第Ⅱ時限の間)
法学部チャペル (法学部本館1階) にて

チャペルでは出席をとりますので、学生証を持参してください。プログラムに関してはその都度「チャペル週報」に掲載します。その他の宗教活動、チャペルへの要望や提言は宗教主事(大宮教授)まで。

Ⅲ 法学部内規

I 授業履修内規

1 履修登録について

- イ 本学部学生は、履修登録を春学期および秋学期の所定の期日までに行わなければならない。なお、春学期および通年開講科目の履修登録は春学期に、秋学期開講科目の履修登録は秋学期に行うものとする。
- ロ 所定の期日までに履修登録を行わない者は、その試験を受け単位を修得することができない。
- ハ 言語教育科目、スタートアップ演習等クラス指定のある授業科目は、指定されたクラスで履修しなければならない。
- ニ 履修の中止は所定の科目について期間内に限り認める。

2 履修基準年度について

各学年度で履修できる授業科目は、法学部教育課程表でこれを定める。

3 単位数制限について

(2019年度以降入学生)

- イ 各学期において履修できる単位数は、次のとおりとする。
 - 第1学年度 24単位以内
 - 第2学年度 24単位以内
 - 第3学年度 24単位以内
 - 第4学年度 24単位以内なお、通年科目の単位数は、春学期・秋学期に二等分して計算する。
- ロ イに関わらず、司法特修コース所属の学生、およびMSプログラムを履修している学生は2年次以降、各学期28単位まで履修を認める。
- ハ イに関わらず、2年次終了時点で成績がGPA上位5%以内の学生は3年次以降各学期28単位まで履修を認める。
- ニ イに関わらず、本学の交換留学、長期留学又は認定留学制度により留学した学生は帰学後各学期28単位まで履修を認める。
- ホ イに関わらず、マルチプル・ディグリー制度による編入学生は各学期28単位まで履修を認める。
- ヘ イに関わらず、3年次編入学生で入学後最初の学期において、20単位以上修得かつGPA 2.00以上である場合、次学期以降は各学期28単位まで履修を認める。
- ト 学則第30条の教職等関連科目の教職に関する科目、学校図書館司書教諭課程関連科目、国際バカロレア教員養成プログラム関連科目および資格科目は上記単位数制限の対象外とする。資格科目は以下の科目とする。
 - 博物館概論、博物館経営論、博物館資料論、生涯学習概論、博物館情報メディア論、博物館実習、博物館資料保存論、博物館展示論、博物館教育論
- チ 上記ト以外に卒業単位に算入するが、履修単位数制限の対象外とする授業科目については、「法学部履修心得」でこれを定める。

(2018年度入学生)

- イ 各学期において履修できる単位数は、次のとおりとする。
 - 第1学年度 24単位以内
 - 第2学年度 24単位以内
 - 第3学年度 24単位以内
 - 第4学年度 24単位以内

なお、通年科目の単位数は、春学期・秋学期に二等分して計算する。

- ロ イに関わらず、司法特修コース所属の学生、およびMSプログラムを履修している学生は2年次以降、各学期28単位まで履修を認める。
- ハ イに関わらず、2年次終了時点で成績がGPA上位5%以内の学生は3年次以降各学期28単位まで履修を認める。
- ニ イに関わらず、本学の交換留学、長期留学又は認定留学制度により留学した学生は帰学後各学期28単位まで履修を認める。
- ホ イに関わらず、マルチプル・ディグリー制度による編入学生は各学期28単位まで履修を認める。
- ヘ イに関わらず、3年次編入学生で入学後最初の学期において、20単位以上修得かつGPA 2.00以上である場合、次学期以降は各学期28単位まで履修を認める。
- ト 学則第30条の教職等関連科目の教職に関する科目、学校図書館司書教諭課程関連科目および資格科目は上記単位数制限の対象外とする。資格科目は以下の科目とする。
博物館概論、博物館経営論、博物館資料論、生涯学習概論、博物館情報メディア論、博物館実習、博物館資料保存論、博物館展示論、博物館教育論
- チ 上記ト以外に卒業単位に算入するが、履修単位数制限の対象外とする授業科目については、「法学部履修心得」でこれを定める。

(2012～2017年度入学生)

- イ 各学期において履修できる単位数は、次のとおりとする。
 - 第1学年度 24単位以内
 - 第2学年度 24単位以内
 - 第3学年度 24単位以内
 - 第4学年度 24単位以内なお、通年科目の単位数は、春学期・秋学期に二等分して計算する。
- ロ イに関わらず、司法特修コース所属の学生、およびMSプログラムを履修している学生は2年次以降、各学期28単位まで履修を認める。
- ハ イに関わらず、2年次終了時点で成績がGPA上位5%以内の学生は3年次以降各学期28単位まで履修を認める。
- ニ イに関わらず、本学の交換留学、長期留学又は認定留学制度により留学した学生は帰学後各学期28単位まで履修を認める。
- ホ イに関わらず、マルチプル・ディグリー制度による編入学生は各学期28単位まで履修を認める。
- ヘ イに関わらず、3年次編入学生で入学後最初の学期において、20単位以上修得かつGPA 2.00以上である場合、次学期以降は各学期28単位まで履修を認める。
- ト 学則第24条のライフデザイン科目群のうち、キャリアゼミA・B・C、霞が関セミナー、海外インターンシップ、学則第30条の教職等関連科目の教職に関する科目、学校図書館司書教諭課程関連科目および資格科目は上記単位数制限の対象外とする。資格科目は以下の科目とする。
博物館概論、博物館経営論、博物館資料論、生涯学習概論、社会教育概論、博物館情報メディア論、博物館実習、博物館資料保存論、博物館展示論、博物館教育論、社会教育計画、社会教育実習、社会教育課題研究、社会教育特講Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ、社会体育、社会教育行政、職業指導
- チ 上記ト以外に卒業単位に算入するが、履修単位数制限の対象外とする授業科目については、「法学部履修心得」でこれを定める。

(2011年度以前入学生)

- イ 各学期において履修できる単位数は、次のとおりとする。

第1学年度 22単位以内

第2学年度 24単位以内

第3学年度 30単位以内

第4学年度 30単位以内

なお、通年科目の単位数は、春学期・秋学期に二等分して計算する。

- ロ 学則第24条のライフデザイン科目群のうち、キャリアゼミA・B・C、霞が関セミナー、海外インターンシップ、学則第30条の教職等関連科目の教職に関する科目、学校図書館司書教諭課程関連科目および資格科目は上記単位数制限の対象外とする。資格科目は以下の科目とする。

博物館概論、博物館学各論A、博物館学各論B、生涯学習概論、社会教育概論、視聴覚教育メディア論、博物館実習、社会教育計画、社会教育実習、社会教育課題研究、社会教育特講Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ、社会体育、社会教育行政、職業指導

- ハ 上記ロ以外に卒業単位に算入するが、履修単位数制限の対象外とする授業科目については、「法学部履修心得」でこれを定める。

4 卒業単位に算入されない授業科目について

以下の科目は単位を修得しても卒業単位には算入されない。

(2019年度以降入学生)

- イ 学則第30条の教職等関連科目の教職に関する科目、学校図書館司書教諭課程関連科目、国際バカロレア教員養成プログラム関連科目

- ロ 下記資格科目

博物館概論、博物館経営論、博物館資料論、生涯学習概論、博物館情報メディア論、博物館実習、博物館資料保存論、博物館展示論、博物館教育論

(2018年度入学生)

- イ 学則第30条の教職等関連科目の教職に関する科目、学校図書館司書教諭課程関連科目

- ロ 下記資格科目

博物館概論、博物館経営論、博物館資料論、生涯学習概論、博物館情報メディア論、博物館実習、博物館資料保存論、博物館展示論、博物館教育論

(2012～2017年度入学生)

- イ 学則第24条のライフデザイン科目群のうち、キャリアゼミA・B・C、霞が関セミナー、海外インターンシップ

- ロ 学則第30条の教職等関連科目の教職に関する科目、学校図書館司書教諭課程関連科目

- ハ 下記資格科目

博物館概論、博物館経営論、博物館資料論、生涯学習概論、社会教育概論、博物館情報メディア論、博物館実習、博物館資料保存論、博物館展示論、博物館教育論、社会教育計画、社会教育実習、社会教育課題研究、社会教育特講Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ、社会体育、社会教育行政、職業指導

(2008～2011年度入学生)

- イ 学則第24条のライフデザイン科目群のうち、キャリアゼミA・B・C、霞が関セミナー、海外インターンシップ

- ロ 学則第30条の教職等関連科目の教職に関する科目

5 重複履修について

すでに単位を修得した授業科目は再び履修することはできない。ただし、法学・政治学特講A・Bについては、科目名称の記号にかかわらず講義内容が異なる場合には重複して履修することができる。法学・政治学外書講読については、語種が異なる場合には重複して履修することができる。

6 他学部開講科目の履修について

本学部生は本学部において開講する授業科目を履修しなければならない。ただし、次の事項に該当する場合はこの限りではない。

- イ 本学部で開講していない授業科目については他学部開講科目を履修することができる。ただし、私法関連授業科目は履修できない。
- ロ 他学部で履修する授業科目の先修科目、履修基準年度および試験に関する規程等は、その授業科目の開講学部の規程が適用される。ただし、不正行為を行った学生に対する措置は本学部教授会の決定による。

7 先修条件について

イ 言語教育科目の先修条件は次のとおりとする。

- a 英語Ⅰ甲A・Bの単位を修得しなければ英語Ⅱ甲A・Bを履修することができない。また、英語Ⅰ乙A・Bの単位を修得しなければ英語Ⅱ乙A・Bを履修することができない。
- b 基礎英語Ⅰ甲A・Bの単位を修得しなければ基礎英語Ⅱ甲A・Bを履修することができない。また、基礎英語Ⅰ乙A・Bの単位を修得しなければ基礎英語Ⅱ乙A・Bを履修することができない。
- c 入門英語ⅠAを2単位修得しなければ入門英語ⅡAを履修することができない。また、入門英語ⅠBを2単位修得しなければ入門英語ⅡBを履修することができない。
- d 英語Ⅰ甲（A又はB）および英語Ⅰ乙（A又はB）の単位、スプリング・インテンシブ・イングリッシュの単位又は入門英語ⅠAおよびⅠBの単位を修得しなければインテンシブ・イングリッシュを履修することができない。
- e フランス語AⅠの単位を修得しなければフランス語AⅡを、フランス語AⅢの単位を修得しなければフランス語AⅣを履修することができない。フランス語BⅠの単位を修得しなければフランス語BⅡを、フランス語BⅢの単位を修得しなければフランス語BⅣを履修することができない。また、フランス語AⅡおよびフランス語BⅡの単位を修得しなければフランス語AⅢ・BⅢを履修することができない。
- f ドイツ語AⅠの単位を修得しなければドイツ語AⅡを、ドイツ語AⅢの単位を修得しなければドイツ語AⅣを履修することができない。ドイツ語BⅠの単位を修得しなければドイツ語BⅡを、ドイツ語BⅢの単位を修得しなければドイツ語BⅣを履修することができない。また、ドイツ語AⅡおよびドイツ語BⅡの単位を修得しなければドイツ語AⅢ・BⅢを履修することができない。
- g フランス語インテンシブ初級Ⅰの単位を修得しなければフランス語インテンシブ初級Ⅱを、ドイツ語インテンシブ初級Ⅰの単位を修得しなければドイツ語インテンシブ初級Ⅱを履修することができない。
- h 中国語Ⅰの単位を修得しなければ中国語Ⅱを、中国語Ⅱの単位を修得しなければ中国語Ⅲを、中国語Ⅲの単位を修得しなければ中国語Ⅳを履修することができない。
- i 朝鮮語Ⅰの単位を修得しなければ朝鮮語Ⅱを、朝鮮語Ⅱの単位を修得しなければ朝鮮語Ⅲを、朝鮮語Ⅲの単位を修得しなければ朝鮮語Ⅳを履修することができない。
- j スペイン語Ⅰの単位を修得しなければスペイン語Ⅱを、スペイン語Ⅱの単位を修得しなければスペイン語Ⅲを、スペイン語Ⅲの単位を修得しなければスペイン語Ⅳを履修することができない。
- k 日本語Ⅰの単位を修得しなければ日本語Ⅱを、日本語Ⅱの単位を修得しなければ日本語Ⅲを、日本語Ⅲの単位を修得しなければ日本語Ⅳを履修することができない。

ロ 専門科目群の先修条件は次のとおりとする。

- a 研究演習Ⅰを履修するためには2ヵ年以上在学し（休学期間は在学期間に算入しない）、次の①～④の授業科目の単位を修得しなければならない。

【2012年度以降入学生】

- ① 言語科目の必修科目から4単位。
- ② 言語科目の選択必修科目から4単位。
- ③ 専門科目群の授業科目のうち次の科目
 - i 専門導入科目6単位
ただし、政治学科生は政治学入門A又はB 2単位を含む。
 - ii スタートアップ演習2単位
 - iii 法律学科生は専門基幹科目の実定法科目4単位
- ④ 上記以外に履修基準年度が1年および2年の科目より法律学科生は22単位以上。政治学科生は26単位以上。

(第3学年度編入学生)

第3学年度編入学生については、2ヵ年以上在学したものとみなし、先修条件を以下のとおりとする。

- ① 言語科目の必修科目、選択必修科目から8単位。
- ② 専門科目群の授業科目のうち次の科目
 - i 専門導入科目6単位
ただし、政治学科生は政治学入門A又はB 2単位を含む。
 - ii スタートアップ演習2単位
 - iii 法律学科生は専門基幹科目の実定法科目4単位
- ③ 上記以外に履修基準年度が1年および2年の科目より法律学科生は22単位以上。政治学科生は26単位以上

法律学科生は②のii スタートアップ演習2単位およびiii 専門基幹科目の実定法科目4単位を、政治学科生は②のii スタートアップ演習2単位および②のiの政治学入門A又はB 2単位を、研究演習Iと並行履修することができるものとする。

(第4学年度編入学生)

第4学年度編入学生については、2ヵ年以上在学したものとみなし、②のi 専門導入科目6単位およびiii 専門基幹科目の実定法科目4単位を、専門科目群の授業科目（スタートアップ演習を除く）8単位とする。

【2011年度以前入学生】

- ① 言語科目の必修科目から4単位。
- ② 言語科目の選択必修科目から4単位。
- ③ 専門科目群の授業科目のうち次の科目
 - i 専門基礎科目6単位
ただし、政治学科生は政治学入門A又はB 2単位を含む。
 - ii 法律学科生は法学基礎演習4単位。
政治学科生は政治学基礎演習4単位。
 - iii 法律学科生は共通専門科目の法律学科の実定法科目4単位
- ④ 上記以外に履修基準年度が1年および2年の科目より法律学科生は20単位以上。政治学科生は24単位以上。

(外国人留学生入学試験を受けて入学した者)

外国人留学生入学試験を受けて入学した者については、①および②を、日本語I・II 4単位および法学部教育課程表(学則別表)に定める選択必修科目のうち4単位以上とする。

(第3学年度編入学生)

第3学年度編入学生については、2ヵ年以上在学したものとみなし、法律学科生は③のii およびiiiを、政治学科生は③のii および政治学入門A又はB 2単位を、研究演習Iと並行履修することができるものとする。

(第4学年度編入学生)

第4学年度編入学生については、2ヵ年以上在学したものとみなし、③のiおよびiiiを、専門科目群の授業科目(基礎演習を除く)8単位とする。

b 研究演習Ⅰの単位を修得しなければ研究演習Ⅱを履修することができない。

8 欠席回数制限について

言語教育科目のうち、英語Ⅰ・Ⅱ、基礎英語Ⅰ・Ⅱ、フランス語AⅠ・AⅡ・AⅢ・AⅣ・BⅠ・BⅡ・BⅢ・BⅣ、ドイツ語AⅠ・AⅡ・AⅢ・AⅣ・BⅠ・BⅡ・BⅢ・BⅣ、中国語Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳの授業欠席回数の限度は各学期5回までとし、6回以上欠席した場合、不合格となる。スペイン語Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳについては週2時限の授業のうちどちらか一方の時限を4回以上欠席した場合、日本語Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳについては8回以上欠席した場合、不合格となり、その後の授業に出席することができない。また、朝鮮語Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳについては、週2時限の授業のうちどちらか一方の時限を4回以上欠席した場合、減点となる。

9 その他

イ 言語教育科目のうち選択必修科目は入学手続き時の選択に従い、途中での変更は認めない。

ロ (2012年度以降入学生) 研究演習Ⅰの履修登録をした年度以降は専門導入科目の履修登録をすることができない。

(2011年度以前入学生) 研究演習Ⅰの履修登録をした年度以降は専門基礎科目の履修登録をすることができない。

ハ その他の履修に関する事項は「法学部履修心得」による。

Ⅱ 試験内規

1 試験について

イ 試験は定期試験、追試験、代替試験とし、そのほかに随時行うことがある。

ロ 定期試験は各学期末に実施する。

ハ 追試験は、次の事由により定期試験を受けられなかった者に対し一定期間に実施する。ただし、追試験を受験するためには、所定の期日内に証明書、診断書又はその事由を説明する書面等を添えて追試験願を提出し、本学部の許可を得なければならない。

a 二親等以内の親族の死亡

b 本人の病気

c 試験当日の事故

d 裁判員制度により、候補者として裁判員等選任手続に参加する場合及び裁判員・補充裁判員として職に従事する場合

e 公共交通機関の遅延及び運行停止等の事由

f その他やむを得ない事由により受験不可能と認められた場合

なお、原則として試験の評点は20%減じる。ただし、以下の場合には100%の評点とする。

aの事由による場合

bの事由のうち「学校において予防すべき感染症」に罹患または罹患した疑いがあり、「学校保健安全法」「学校保健安全法施行規則」に基づき学長の指示により登校停止となった場合

dの事由による場合

eの事由による場合

ニ 代替試験は、自然災害又は公共交通機関の運行停止等の事由により定期試験又は追試験を受けられなかった者に対し一定期間に実施する。ただし、代替試験を受験するためには、所定の期日内に証明書またはその事由を説明する書面等を添えて代替試験願を提出し、本学部および大学の許可を得なければならない。なお、代替試験の評点は減じない。ただし、追試験

の代替試験の評点は追試験に準ずる。

- ホ 試験において不正行為を行った者は、当該試験期間の全科目を0点とする。
- ヘ 成績調査について
学業成績について疑義ある場合は、一定期間内に所定の手続により調査を願い出ることができる。

Ⅲ 聴講生・科目等履修生内規

1 聴講生

- イ 本学部の特定の授業科目について聴講を希望する者がある場合、教授会の議を経て聴講生として許可することができる。
- ロ 聴講生の出願および選考に関する事項は別に定める。
- ハ 検定料・受講料は別に定める。
- ニ 聴講生に聴講を許可する授業科目は別に定める。
- ホ 聴講生がその聴講した授業科目の試験を受け、合格した場合は証明書を発行することができる。ただし、単位の修得は認めない。

2 科目等履修生

- イ 本学部の特定の授業科目を履修し、単位の修得を希望する者がある場合、教授会の議を経て科目等履修生として許可することができる。
- ロ 科目等履修生の出願および選考に関する事項は別に定める。
- ハ 検定料・受講料は別に定める。
- ニ 科目等履修生に履修を許可する授業科目は別に定める。
- ホ 科目等履修生がその履修した授業科目の試験を受け、合格した場合は単位を与える。

Ⅳ 転科内規

- 1 転科は、各学科の学生数を勘案し、受け入れ可能な場合に限りこれを認めることがある。
- 2 他学科の第3学年度に転科を希望する場合、転科試験を行い、教授会の議を経てこれを認める。ただし、現在の所属学科における研究演習Ⅰの先修条件を満たさなければならない。
- 3 転科は、第2学年度から第3学年度へ進級する場合のみ可能とする。
- 4 転科試験は、別に定める日程（編入学試験と同一日）で実施する。
- 5 試験科目は、別に定める科目（編入学試験と同一問題）とする。
- 6 転科を認められた者は、次年度の4月から認められた学科の所属となる。
- 7 転科を認められなかった者は、現在の所属学科にとどまることができる。
- 8 転科を認められた者は、転科先の卒業条件に従う。

Ⅴ その他

1 学則の適用について

- イ 学則の適用は、原則として、入学年度の学則が適用される。ただし、学則改正が全学年度に適用される場合はこの限りではない。移行措置が講じられた場合は「法学部履修心得」による。
- ロ 編入学生については、入学を許可された学年の学生に適用される学則を適用する。
- ハ 再入学生については、原則として再入学を許可された学年の学生に適用される学則を適用する。

2 学科により選択可能なコースについて

(2012年度以降入学生)

- イ 法律学科生が選択可能なコースは、司法特修コース、司法コース、企業法務コース、公共政策コース、国際法政コースとする。
- ロ 政治学科生が選択可能なコースは、公共政策コース、国際法政コース、政治システムコースとする。

(2008年度～2011年度入学生)

- イ 法律学科生が選択可能なコースは、司法コース、ビジネス法務コース、公共政策コース、国際関係コース、地域政策コースとする。
- ロ 政治学科生が選択可能なコースは、公共政策コース、国際関係コース、政治システムコース、地域政策コースとする。

3 司法特修コースについて

- イ 司法特修コースの定員は40名とし、法律学科1年生を対象に募集を行い、1年次秋学期終了時点の成績に基づいて選考を行う。
- ロ 司法特修コース内に、法曹養成連携プログラムを置き、所定の手続により登録を可能とする。なお、本プログラムを修了した者には法科大学院特別選抜入学試験による法科大学院への進学を認める。
- ハ 法曹養成連携プログラムを修了するためには、原則として3年次終了時点で、次の要件をすべて満たさなければならない。
 - a 別に定める法曹養成連携プログラムに基づき、必修科目50単位を修得すること。
 - b 別に定める法曹養成連携プログラムに基づき、選択必修科目8単位以上を修得すること。
 - c a、bの必修科目および選択必修科目のGPAが2.50以上であること。
 - d 本法学部内規V（その他）第7条に規定される本学法学部の早期卒業の要件を満たしていること。

4 第4学年度編入学について

学則第46条第3項に規定される第4学年度への編入学については、2004年度以降入学生のマルチプル・ディグリー制度適用者とする。

5 単位認定について

- イ 学則第19条に規定される授業科目の単位は、別に定める基準により、本学部において修得した単位とみなして認定する。国内協定大学において修得した授業科目は国内協定大学科目（専門科目群または基礎科目群）として認定するものとする。
- ロ 学則第20条に規定される授業科目の単位は、別に定める基準により、本学部において修得した単位とみなして認定する。交換留学、長期留学又は認定留学によって修得した授業科目は外国大学科目（専門科目群または基礎科目群）、外国語研修プログラムによって修得した授業科目は外国大学科目（基礎科目群）として認定するものとする。
- ハ 学則第21条に規定される単位認定については次のとおりとする。
 - a ①第3学年度編入学生については、出身校で修得した授業科目の単位を別に定める基準により、本学部において修得した単位とみなして認定する。
 - ②第4学年度編入学生の基礎科目群の単位については、卒業に必要なキリスト教科目および言語科目の単位を含めて50単位を修得したものとして一括認定する。
 - ③第4学年度編入学生の卒業に必要なスタートアップ演習の単位については、修得したものとして一括認定する。
 - ④編入学前に修得した本学部開講の専門教育科目に関しては個別認定する。なお、出身学部で修得した専門教育科目については本学部の専門教育科目に個別認定することもある。
 - ⑤編入学前に出身学部において修得した、教職等関連科目に関しては個別認定することもある。

ある。

b 編入学生以外の者については、第3学年度編入学生に準じて単位認定を行う。

ニ 単位認定について疑義ある場合は、学業成績について疑義ある場合に準ずる。ただし、調査を願い出ることができる期間は単位認定の結果発表日から14日間とする。

6 交換留学者、長期留学者又は認定留学者の卒業時期について

第4学年度生で、本学の交換留学、長期留学又は認定留学制度により留学し、留学中に卒業要件を満たした場合の卒業時期は、帰学後の9月以降とする。また、留学中に修得した単位の認定により卒業要件を満たした場合の卒業時期も、帰学後の9月以降とする。

ただし、単位認定が10月以降となった場合の卒業時期は翌年3月以降とする。

7 在学期間が3年以上4年未満での卒業について

次の要件をすべて満たした場合、学則第7条第2項に規定する卒業を認めることができる。

イ 本学部に3年以上在学し（休学期間は在学期間に算入しない）、卒業に必要な単位をすべて修得すること。

ロ 卒業に必要な単位に含むことのできる科目の平均点が80点以上またはGPAが2.50以上であること。

ハ 本学大学院法学研究科の前期課程一般入学試験、前期課程特別入学制度入学試験または本学専門職大学院司法研究科の入学試験または本学専門職大学院経営戦略研究科の入学試験またはマルチプル・ディグリー制度による本学他学部の編入学試験に合格すること。

春学期

時間割プラン作成用紙（本人控）

		月	火	水	木	金
I	春 通年	科目名				
		担当者	単位			
II	春 通年					
III	春 通年					
IV	春 通年					
V	春 通年					

集中講義				

春 _____ 単位

- ・ 通年科目の単位数は各学期 2 分の 1 で計算します。（通年 4 単位：春 2 単位、秋 2 単位と計算）
- ・ 集中講義科目は開講学期の単位数に算入します。

秋学期

時間割プラン作成用紙 (本人控)

		月	火	水	木	金
I	秋	科目名				
		担当者	単位			
II	秋					
III	秋					
IV	秋					
V	秋					

集中講義				

秋 _____ 単位

- ・ 通年科目の単位数は各学期 2 分の 1 で計算します。(通年 4 単位：春 2 単位、秋 2 単位と計算)
- ・ 集中講義科目は開講学期の単位数に算入します。

